

◆ 杉並区 ◆  
中小企業の景況

令和3年度第3四半期  
(令和3年10~12月)



杉並区産業振興センター

目 次

都内中小企業の景況（令和3年10月～12月期）	1
杉並区内中小企業の景況（令和3年10月～12月期）	2
杉並区内各業種別業況の動きと来期の予想	2
業種別業況の動き（実績）と来期の予想（東京都・杉並区の比較）	4
・ 製造業	6
・ 卸売業	9
・ 小売業	12
・ サービス業	16
・ 建設業	20
・ 不動産業	23
経営者の声	26
日銀短観	28
杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向	29
特別調査「2022年（令和4年）の経営見通しについて」	31
中小企業景況調査 比較表	34
中小企業景況調査 転記表	38

調査方法・対象と回収状況

- 1 調査機関 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部業務課
- 2 調査方法 信用金庫営業店から企業へ直接面接調査
- 3 調査時期 令和3年10～12月期を対象に令和3年12月上旬に実施
- 4 実施状況 128事業所

※新型コロナウイルス感染拡大にともない、調査にご協力いただけない事業所が多数生じていることから、「調査対象事業所数」及び「未集計事業所数」は把握不能となっております。

[回答事業所数の規模別内訳]

単位：事業所数（％）

	有効回答 事業所数	4人以下	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50～ 99人	100～ 199人	200～ 300人
製 造 業	10	3	3	2	0	1	0	1	0	0
卸 売 業	13	8	1	1	2	1	0	0	0	0
小 売 業	30	17	11	2	0	0	0	0	0	0
サ ー ビ ス 業	31	14	6	3	2	3	0	2	1	0
建 設 業	26	7	8	4	4	1	2	0	0	0
不 動 産 業	18	11	3	2	0	1	1	0	0	0
業 種 計	128	60 (46.9)	32 (25.0)	14 (10.9)	8 (6.3)	7 (5.5)	3 (2.3)	3 (2.3)	1 (0.8)	0 (0.0)

判断表 業種別定点指標値

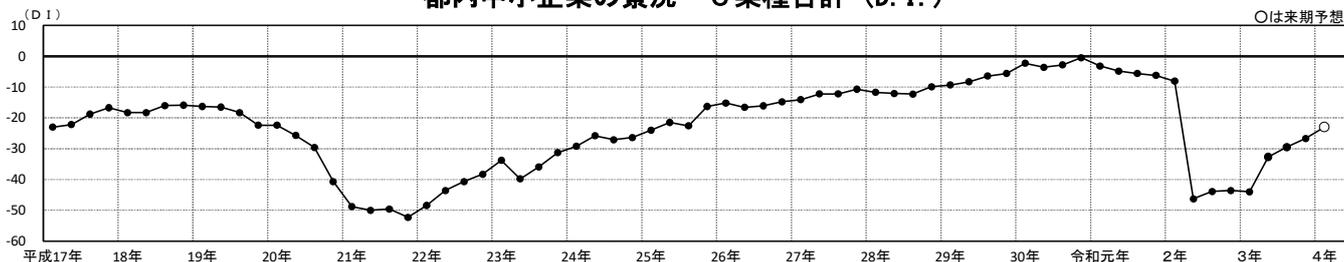
	大きく上昇 A	上 昇 B	やや上昇 C	横ばい D	やや下降 E	下 降 F	大きく下降 G
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

好調 ← → 不調

# 都内中小企業の景況（令和3年10月～12月期）

## 3期連続の改善で持ち直しの動きを維持

都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は新型コロナ感染者数が減少し落ち着きを見せる中、小売業や対面型サービスなど個人消費関連の活動が持ち直しつつあることから、全体で△26.7(前期は△29.5)と前期に比べ2.8ポイント改善し、3期連続で回復の動きとなった。

来期は、新たな変異株の動向が懸念材料とされるも、更なる社会経済活動の活発化を期待し、回復傾向が続くことを見込んでいます。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-31.5	-28.6	2.9	-23.5	5.1
卸売業	-33.0	-29.6	3.4	-24.0	5.6
小売業	-41.7	-37.2	4.5	-32.8	4.4
サービス業	-31.9	-28.6	3.3	-24.5	4.1
建設業	-11.0	-11.4	-0.4	-10.6	0.8
不動産業	-9.4	-9.5	-0.1	-13.6	-4.1
総合	-29.5	-26.7	2.8	-23.0	3.7

※前期(令和3年7～9月) 来期(令和4年1～3月)

### <製造業>

新型コロナ感染状況が落ち着きを見せるなか、ゴム製品や電気機械を中心に需要が回復しており、業況は3期連続で改善した。売上額・受注残・収益の減少幅も縮小した。価格面では販売価格は下降が落ち着きを見せたものの、原材料価格は世界的な価格高騰に伴い更に上昇を強めた。資金繰りは前期同様の厳しさで、原材料在庫は前期並の不足感が続いている。

来期の業況は引き続き改善が期待できると予想している。売上額・受注残・収益においても減少幅が縮小するとみている。価格面では販売価格はわずかに好転し、原材料価格は今期並に推移すると予想している。

### <卸売業>

業況は鉱物・金属材料、化学製品において改善がみられるなど、水面下ながら4期連続で改善した。売上額・収益においても悪化幅を縮小した。価格面では仕入価格は原材料価格高騰の煽りを受け一段と上昇し、その影響から販売価格についても上昇した。資金繰りはわずかながら厳しさが和らいだ。

来期の業況は引き続き改善が続くと予想しており、売上額・収益の減少も縮小させるとみている。価格面では販売価格の上昇は落ち着きを見せ、仕入価格は今期並の上昇傾向で推移すると予想している。

### <小売業>

新型コロナによる行動制限が緩和され、消費意欲が活性化されたことで飲食料品や飲食等の個人消費が上向き、回復が遅れていた業況は改善の動きとなった。売上額・収益においても大きく持ち直してきている。価格面では販売価格は低下が落ち着き、仕入価格は物価高騰や物流混乱に起因する供給不足による原材料不足の影響から引き続き上昇傾向を強めている。

来期は売上額・収益の減少幅が縮小すると予想している。価格面では販売価格はわずかに厳しさが和らぎ、仕入価格は今期並の高騰が続くとみている。業況は客足の戻りの期待とともに引き続き改善が期待できるとみているが、変異株の影響次第では再び沈んでしまう恐れも強まっている。

### <サービス業>

緊急事態宣言の解除による外出機会の増加が追い風となり、対面型サービス等の個人消費関連(洗濯・理容・美容・娯楽等)の活動が活発になったことから、業況は3期連続で改善した。売上額・収益についても悪化を弱めた。価格面では料金価格の下降が落ち着き、材料価格は上昇傾向をさらに強めた。資金繰りは前期同様の厳しさが続いている。営業再開に必要な人出が足りず不安感が強まった。

来期の業況は新規感染者数の減少で対面サービスの持ち直しと更なる需要の掘り起こしを期待し引き続き上向くとみている。売上額・収益においても改善を期待している。価格面では料金価格、材料価格ともに変動なく推移するとみている。

### <建設業>

業況は建築資材の値上げ等により前期並の厳しさで推移した。売上額・受注残・施工高ではわずかな改善がみられたものの、収益は業況同様に足踏み状態となった。価格面ではウッドショックによる材料不足等の影響から材料価格は一段と上昇を強め、請負価格は上昇に転じた。人手は不足感が強まった。

売上額・受注残・施工高・収益はわずかに改善が見られるものの、来期の業況は今期並の足踏み状態が続くと予想している。価格面では請負価格は変動なく推移し、材料価格は今期並の高騰が続くと予想している。

### <不動産業>

ゆるやかな改善が続いていた業況は前期並の水準で推移したが、売上額・収益は減少度を強めた。価格面では仕入価格は建築資材や人件費等の高騰を受け更に上昇し、販売価格についても上昇した。

来期の業況は再び厳しさを増すと予想している。売上額・収益は今期並の減少・減益で推移するとみている。価格面では販売価格・仕入価格ともに落ち着きを取戻すとみている。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

### [注]

ディフュージョン インデックス

○D. I (Diffusion Index)の略

D. I (ディーアイ)は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D. I. (季節調整済)

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

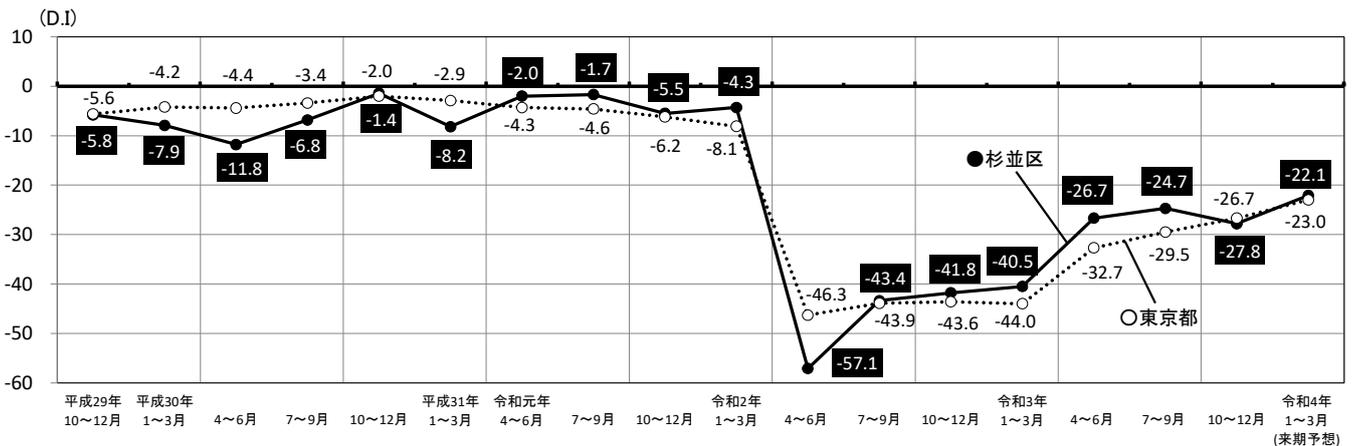
傾向値は、季節変動の大きな業種(例えば小売業)ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

## 杉並区内中小企業の景況（令和3年10月～12月期）

業況判断D.I.（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-27.8と前期（令和3年7月～9月）の-24.7に比べ3.1ポイント下降した。

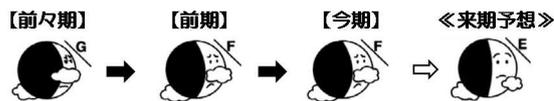
業種別に見ると、不動産業は厳しさがかなり和らぎ、建設業は悪化傾向が幾分改善した。製造業と小売業は前期並の悪化幅で推移したが、サービス業は再び悪化傾向を大きく強め、卸売業は厳しさが大幅に増した。

来期（令和4年1月～3月）の見込みについては、調査時期が12月上旬で1日あたりのコロナ感染者数が20人以下で落ち着いていたこともあり、6業種総合では5.7ポイント回復の-22.1の予想をしている。業種別に見ると、製造業、サービス業、卸売業は大幅に持ち直し、小売業も厳しさが和らぎ、建設業は今期並の悪化水準で推移すると予想している。不動産業は悪化幅が拡大すると見込まれている。



## 杉並区内各業種別業況の動きと来期の予想

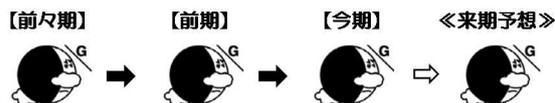
### 製造業



業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額は前期同様の減少幅で推移したが、受注残は減少傾向が大幅に改善し、収益も持ち直してわずかに増勢に転じた。販売価格は下降傾向が一服し、原材料価格は下降に転じて好感が出た。原材料在庫は不足感がなくなり適正範囲となった。

来期の見通しについて、業況は大幅に持ち直すと見込まれている。売上額は極端に改善して増加に転じ、収益も増加幅が極端に拡大すると予想しているが、受注残は減少傾向が幾分強まると見ている。

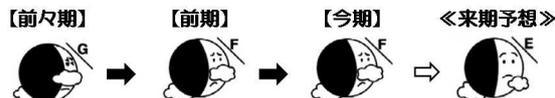
### 卸売業



業況は厳しさが大幅に増した。売上額は減少傾向が大きく和らいだが、収益は前期同様の減益幅が続いた。販売価格は下降から上昇に転じたが、仕入価格はさらに上昇し厳しさが増した。在庫数量は過剰感がかなり強まった。

来期の見通しについて、業況は厳しい状況は続くものの悪化傾向が多少弱まると見込まれている。売上額は幾分改善し、収益は大幅に持ち直すと予想されている。

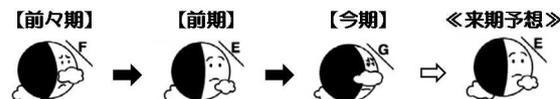
## 小 売 業



業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額と収益はともに減少・減益傾向が幾分弱まった。販売価格は下降に転じて厳しい状況となったが、仕入価格は上昇が若干弱まった。在庫数量は大幅に減少して品薄に転じた。

来期の見通しについて、業況は悪化傾向が幾分弱まると見込まれている。売上額は減少幅がわずかに拡大するが、収益は今期並の減益幅で推移すると予想されている。

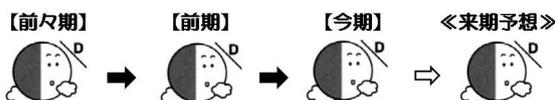
## サービス業



業況は再び悪化傾向を大きく強めた。売上額は前期同様の減少幅で推移し、収益は減益傾向が大きく強まった。料金価格はほぼ横這いで推移したが、材料価格は大幅に上昇し厳しさが増した。

来期の見通しについて、業況は大きく持ち直すと予想しており、売上額と収益も減少・減益幅が大幅に縮小すると見込まれている。

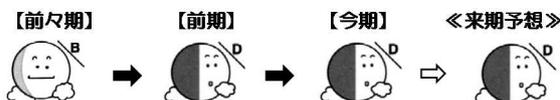
## 建設業



業況は悪化傾向が幾分改善した。売上額は前期同様の減少幅で推移したが、受注残、施工高、収益は減少・減益傾向が大幅に改善された。請負価格は大幅に持ち直し好転したが、材料価格は更に上昇し厳しさが大きく増した。在庫数量は前期並の品薄感で推移した。

来期の見通しについて、業況は今期並の水準で推移すると予想している。売上額と受注残は大幅に改善し、施工高は大きく持ち直して増加に転じると予想している。収益は減益傾向が一服すると見込まれている。

## 不動産業

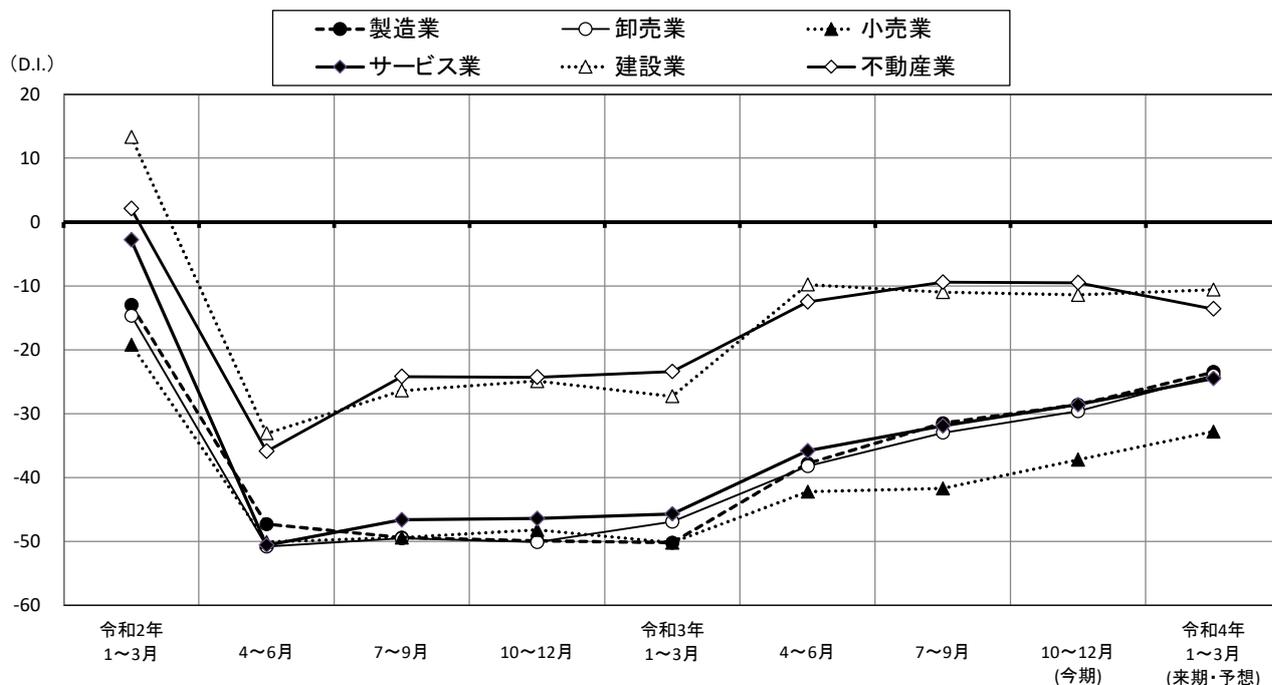


業況は厳しさがかなり和らいだ。売上額と収益は減少・減益傾向が大きく改善された。販売価格は下降から大きく上昇に転じたが、仕入価格は大幅に上昇し厳しさが増した。在庫数量は不足感が大幅に改善され適正水準となった。

来期の見通しについて、業況は悪化傾向を再び強めると見ている。売上額と収益は今期同様に減少・減益傾向の改善が続くと予想している。

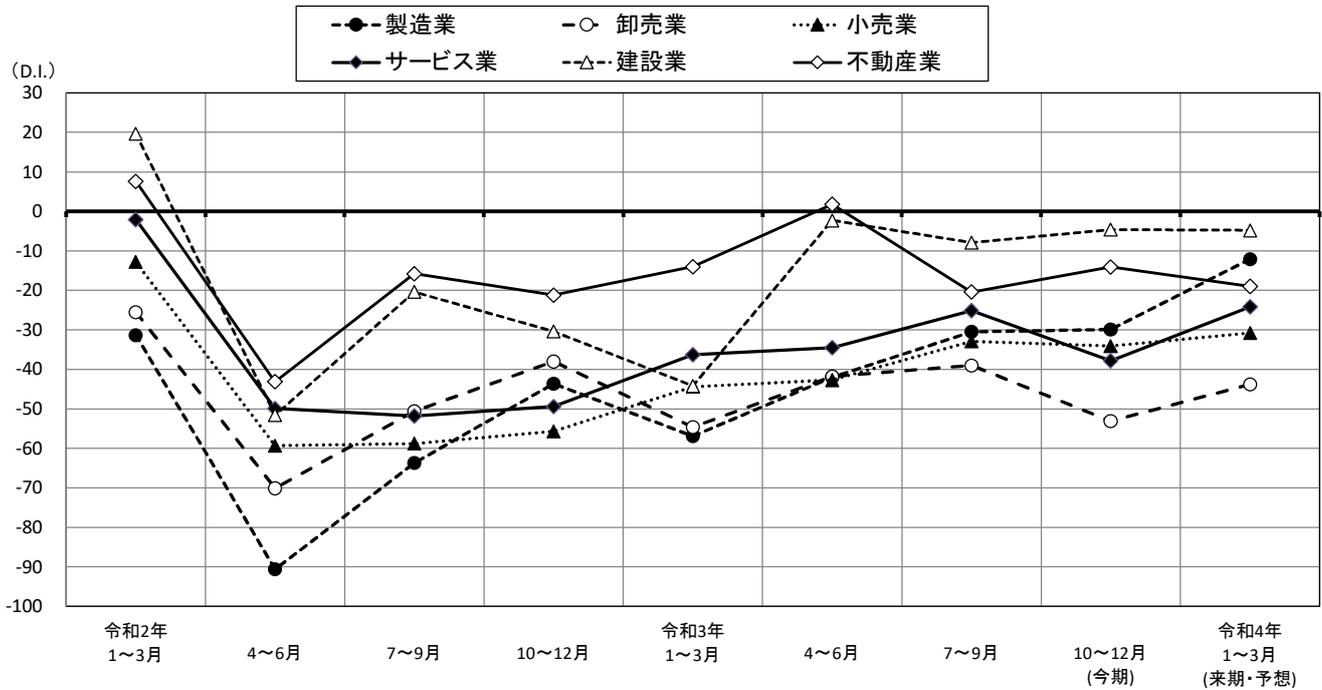
業種別業況の動き(実績)と来期の予想(東京都・杉並区の比較)

東京都



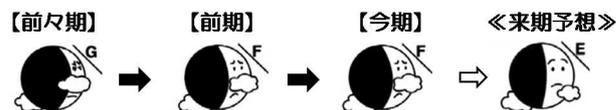
	令和2年 1~3月	令和2年 4~6月	令和2年 7~9月	令和2年 10~12月	令和3年 1~3月	令和3年 4~6月	令和3年 7~9月	令和3年 10~12月 (今期)	前期からの増減	令和4年 1~3月 (来期予想)	今期からの増減
製造業	-13.0	-47.3	-49.4	-49.9	-50.2	-37.8	-31.5	-28.6	2.9	-23.5	5.1
卸売業	-14.7	-50.8	-49.5	-50.1	-46.9	-38.2	-33.0	-29.6	3.4	-24.0	5.6
小売業	-19.2	-50.1	-49.4	-48.2	-50.2	-42.2	-41.7	-37.2	4.5	-32.8	4.4
サービス業	-2.8	-50.6	-46.6	-46.4	-45.7	-35.8	-31.9	-28.6	3.3	-24.5	4.1
建設業	13.3	-33.1	-26.4	-24.9	-27.3	-9.8	-11.0	-11.4	-0.4	-10.6	0.8
不動産業	2.1	-35.9	-24.2	-24.3	-23.4	-12.5	-9.4	-9.5	-0.1	-13.6	-4.1
総合	-8.1	-46.3	-43.9	-43.6	-44.0	-32.7	-29.5	-26.7	2.8	-23.0	3.7

# 杉並区



	令和2年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和3年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月 (今期)	前期から の増減	令和4年 1~3月 (来期予想)	今期から の増減
製 造 業	-31.3	-90.6	-63.7	-43.6	-56.9	-42.0	-30.5	-29.9	0.6	-12.1	17.8
卸 売 業	-25.5	-70.1	-50.6	-38.0	-54.6	-41.8	-39.0	-53.1	-14.1	-43.8	9.3
小 売 業	-12.8	-59.3	-58.8	-55.7	-44.4	-42.7	-32.9	-34.1	-1.2	-30.8	3.3
サ ー ビ ス 業	-2.1	-49.9	-51.8	-49.4	-36.3	-34.5	-25.1	-37.8	-12.7	-24.2	13.6
建 設 業	19.7	-51.6	-20.4	-30.4	-44.2	-2.3	-7.9	-4.6	3.3	-4.8	-0.2
不 動 産 業	7.6	-43.1	-15.8	-21.2	-14.0	1.8	-20.4	-14.1	6.3	-19.0	-4.9
総 合	-4.3	-57.1	-43.4	-41.8	-40.5	-16.7	-24.7	-27.8	-3.1	-22.1	5.7

# 製 造 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 42.0 \rightarrow \Delta 30.5 \rightarrow \Delta 29.9$ ) は前期並の悪化幅で推移した。

## 売上額・収益・受注残

売上額 ( $\Delta 32.1 \rightarrow \Delta 22.0 \rightarrow \Delta 21.9$ ) は前期同様の減少幅で推移したが、受注残 ( $\Delta 42.5 \rightarrow \Delta 22.5 \rightarrow \Delta 8.5$ ) は減少傾向が大幅に改善し、収益 ( $\Delta 34.4 \rightarrow \Delta 2.7 \rightarrow 1.6$ ) も持ち直してわずかに増勢に転じた。

## 価格・原材料在庫動向

販売価格 ( $\Delta 8.6 \rightarrow \Delta 9.7 \rightarrow \Delta 2.6$ ) は下降傾向が一服し、原材料価格 ( $2.5 \rightarrow 3.7 \rightarrow \Delta 9.3$ ) は下降に転じて良好感が出た。原材料在庫 ( $1.1 \rightarrow \Delta 2.2 \rightarrow 1.5$ ) は不足感がなくなり適正範囲となった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $6.8 \rightarrow 26.7 \rightarrow \Delta 1.9$ ) は極端に下降し窮屈感が現れ、借入難易度 ( $20.0 \rightarrow 0.0 \rightarrow 0.0$ ) は前期同様の水準で推移した。

設備投資を「実施した」企業 ( $9.1\% \rightarrow 10.0\% \rightarrow 0.0\%$ ) は前期から10.0ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(50.0%) が今期も最多となり、以下「利幅の縮小」、「同業者間の競争の激化」(各40.0%)、「大手企業との競争の激化」、「原材料高」(各20.0%) の順であった。

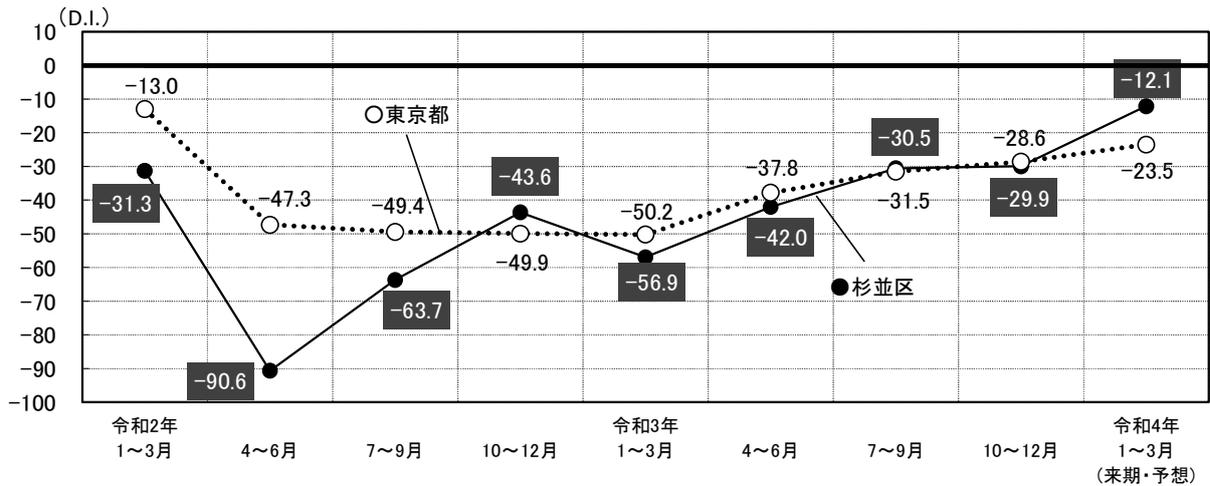
重点経営施策では、「販路を広げる」(90.0%) が今期も最多となった。以下「経費を節減する」(70.0%)、「情報力を強化する」(20.0%)、「人材を確保する」、「教育訓練を強化する」、「提携先を見つける」、「工場・機械を増設・移転する」(各10.0%) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

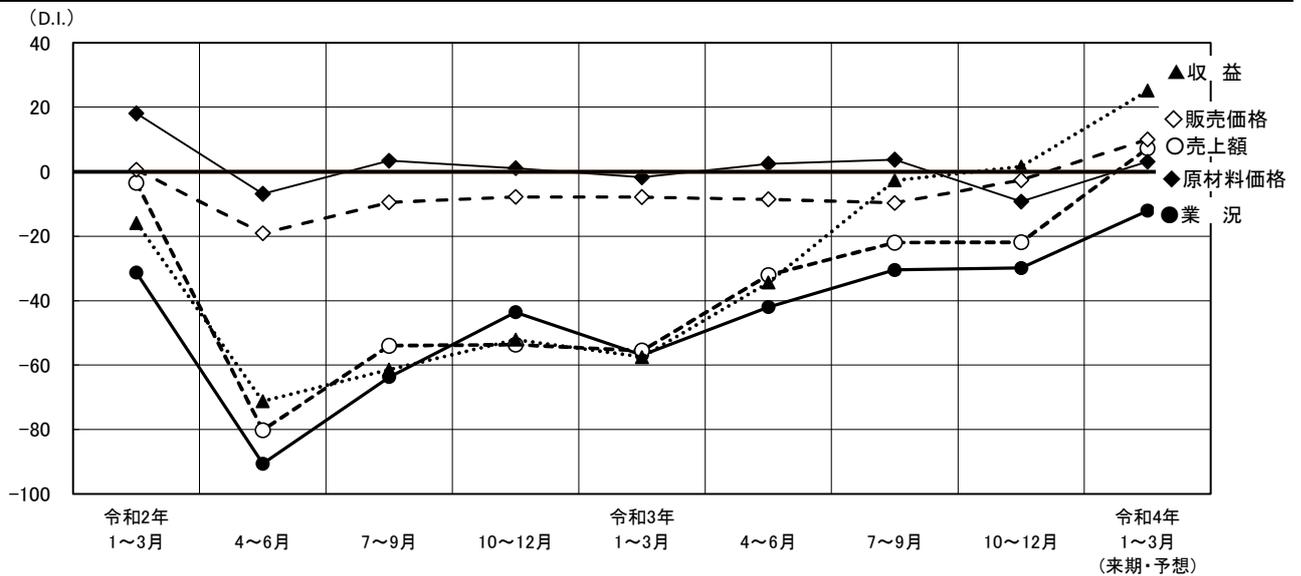
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 12.1$  予想) は大幅に持ち直すと見込まれている。売上額 (7.3 予想) は極端に改善し増加に転じ、収益 (25.1 予想) も増加幅が極端に拡大すると予想しているが、受注残 ( $\Delta 12.5$  予想) は減少傾向が幾分強まると見ている。

価格面では、販売価格 (10.0 予想) は下降から上昇に転じるが、原材料価格 (3.1 予想) は再び上昇し厳しい状況になると予想している。

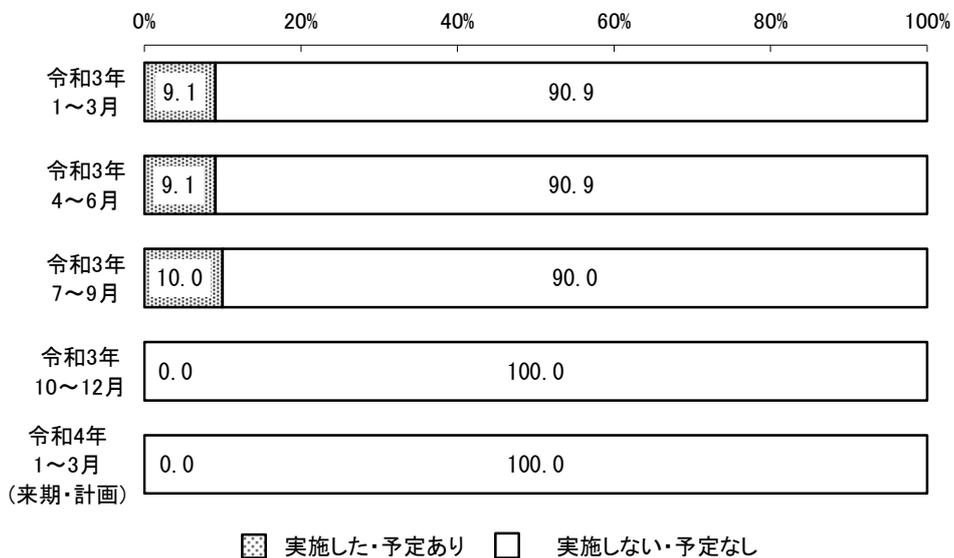
## 【製造業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予想

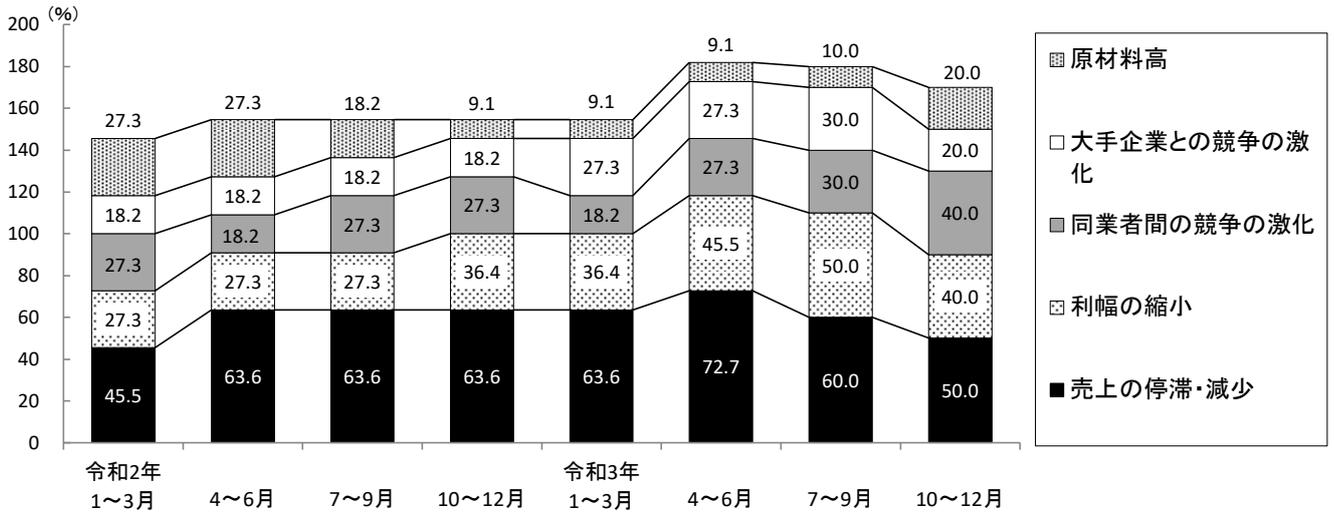


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

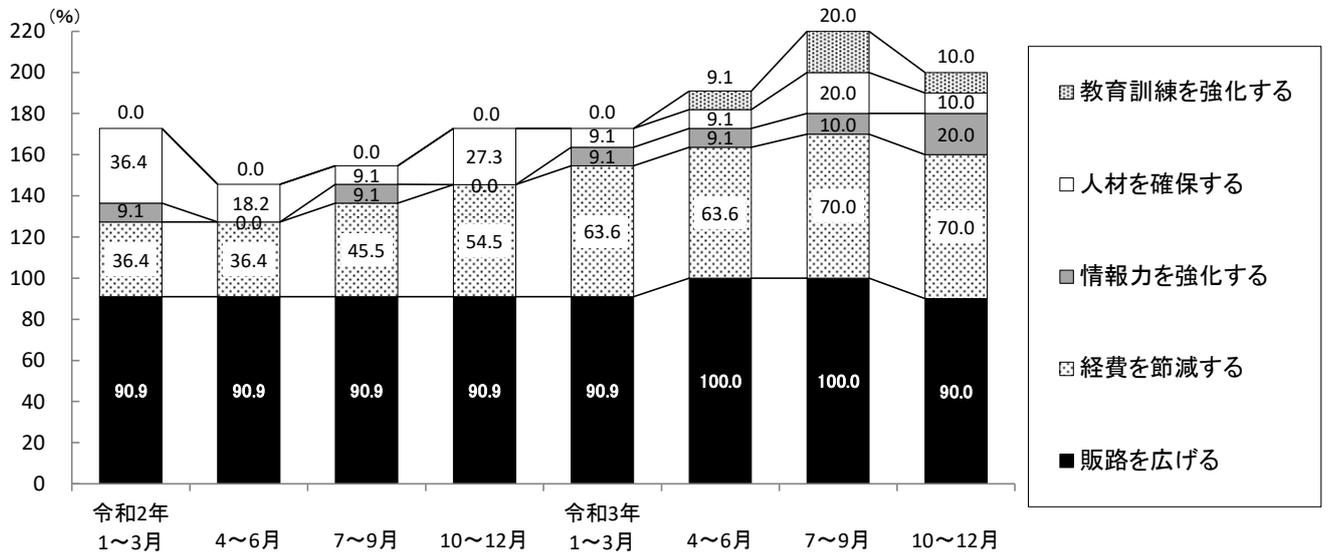
(複数回答)



令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	72.7%	売上の停滞・減少	60.0%	売上の停滞・減少	50.0%
利幅の縮小	36.4%	利幅の縮小	45.5%	利幅の縮小	50.0%	利幅の縮小	40.0%
大手企業との競争の激化	27.3%	大手企業との競争の激化	27.3%	大手企業との競争の激化	30.0%	同業者間の競争の激化	
同業者間の競争の激化	18.2%	同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化		大手企業との競争の激化	
原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	9.1%	原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	9.1%	原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 人手不足	10.0%	原材料高	20.0%

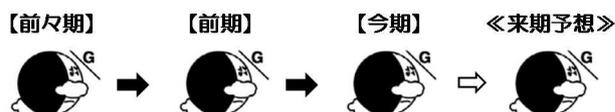
## 重点経営施策

(複数回答)



令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
販路を広げる	90.9%	販路を広げる	100.0%	販路を広げる	100.0%	販路を広げる	90.0%
経費を節減する	63.6%	経費を節減する	63.6%	経費を節減する	70.0%	経費を節減する	70.0%
提携先を見つける	27.3%	提携先を見つける	18.2%	人材を確保する 教育訓練を強化する	20.0%	情報力を強化する	20.0%
人材を確保する 工場・機械を増設・移転する 新製品・技術を開発する 情報力を強化する	9.1%	人材を確保する 工場・機械を増設・移転する 新製品・技術を開発する 情報力を強化する 教育訓練を強化する	9.1%	提携先を見つける 工場・機械を増設・移転する 新製品・技術を開発する 情報力を強化する	10.0%	人材を確保する 教育訓練を強化する 提携先を見つける 工場・機械を増設・移転する	10.0%

# 卸 売 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 41.8 \rightarrow \Delta 39.0 \rightarrow \Delta 53.1$ ) は厳しさが大幅に増した。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 35.0 \rightarrow \Delta 32.0 \rightarrow \Delta 23.3$ ) は減少傾向が大きく和らいたが、収益 ( $\Delta 40.1 \rightarrow \Delta 29.8 \rightarrow \Delta 29.5$ ) は前期同様の減益幅が続いた。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 7.3 \rightarrow \Delta 0.7 \rightarrow 1.8$ ) は下降から上昇に転じたが、仕入価格 ( $15.2 \rightarrow 21.6 \rightarrow 33.2$ ) はさらに上昇し厳しさが増した。

在庫数量 ( $1.7 \rightarrow 8.0 \rightarrow 14.1$ ) は過剰感がかなり強まった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 13.3 \rightarrow \Delta 30.2 \rightarrow \Delta 31.8$ ) は前期並の苦しい状況が続いたが、借入難易度 ( $\Delta 21.5 \rightarrow \Delta 25.0 \rightarrow \Delta 18.2$ ) は厳しさがかなり和らいた。

設備投資を「実施した」企業 ( $21.4\% \rightarrow 7.7\% \rightarrow 7.7\%$ ) は前期同様の割合で推移した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(61.5%) が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(23.1%)、「利幅の縮小」、「取引先の減少」、「人手不足」(各15.4%) の順であった。

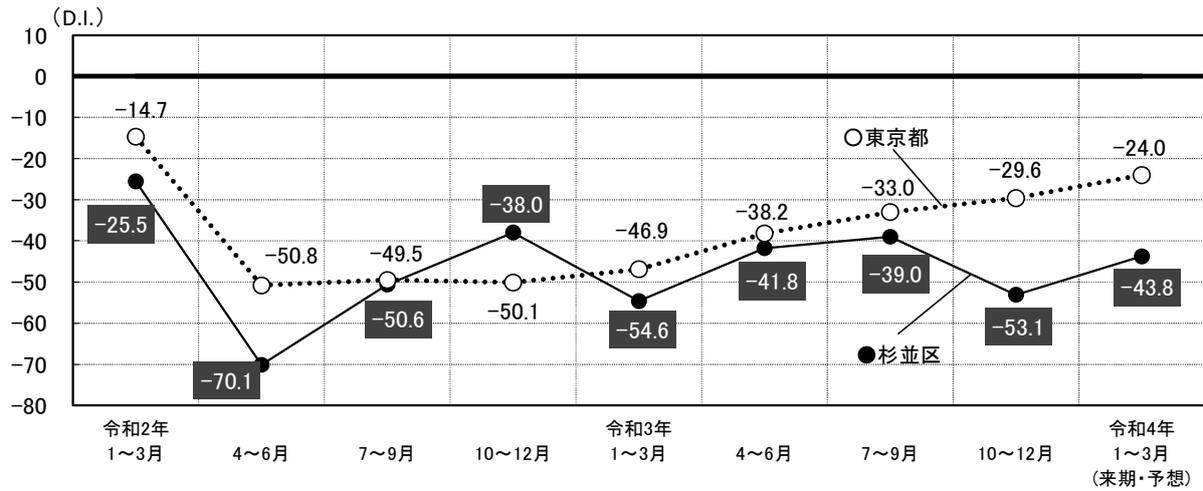
重点経営施策では、「販路を広げる」(69.2%) が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」(38.5%)、「情報力を強化する」(30.8%)、「人材を確保する」(15.4%)、「流通経路の見直しをする」、「労働条件を改善する」、「取引先を支援する」、「提携先を見つける」、「品揃えを充実する」、「パート化を図る」(以上6項目各7.7%) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

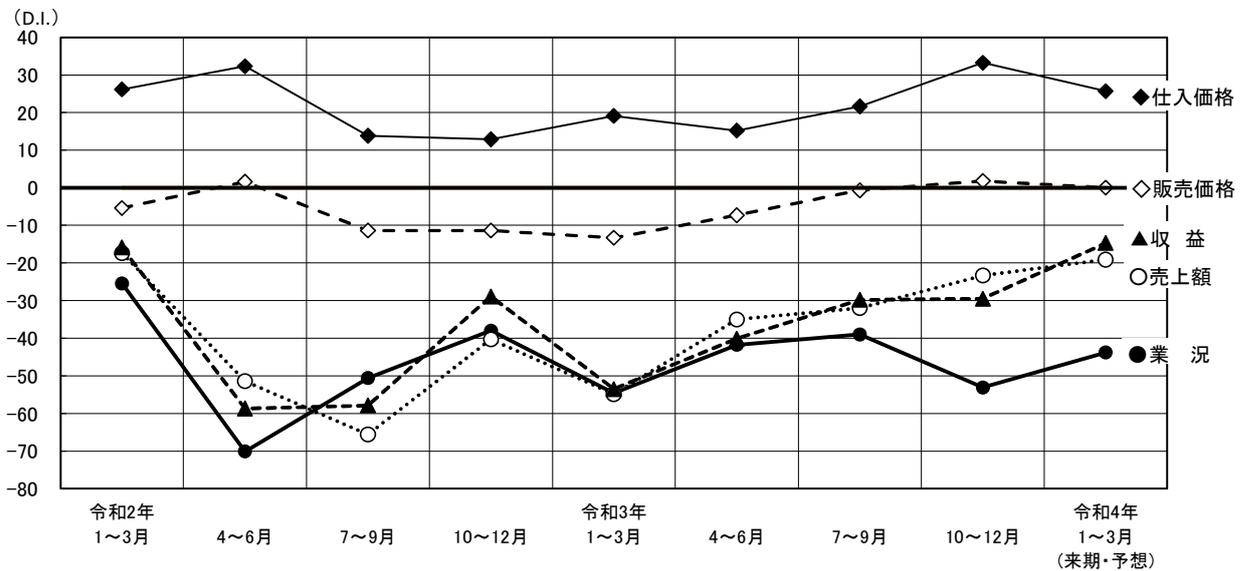
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 43.8$  予想) は厳しい状況は続くものの悪化傾向が多少弱まると見込まれている。売上額 ( $\Delta 19.1$  予想) は幾分改善し、収益 ( $\Delta 14.7$  予想) は大幅に持ち直すと予想されている。

価格面では、販売価格 (0.0 予想) はほぼ横ばいで推移し、仕入価格 (25.7 予想) は上昇傾向が大幅に弱まると見込まれている。

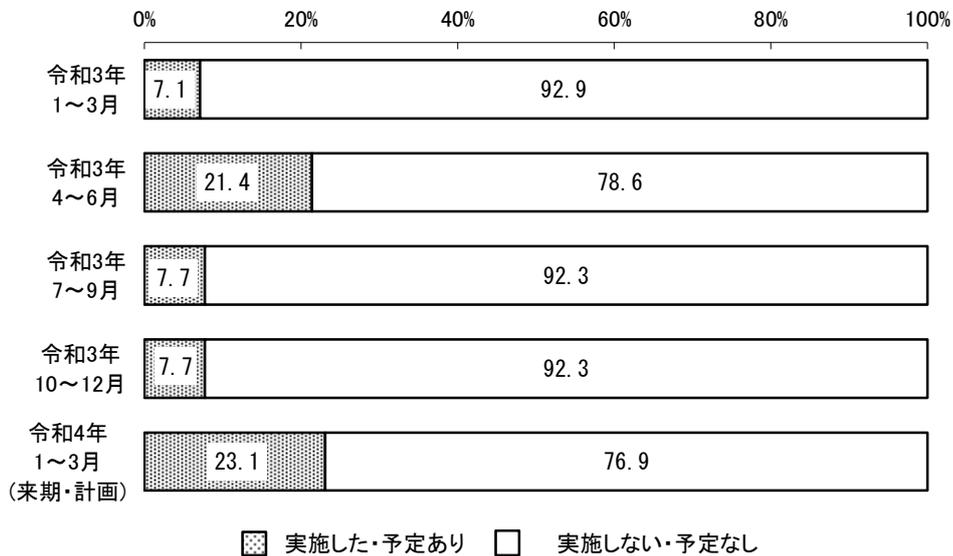
## 【卸売業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想

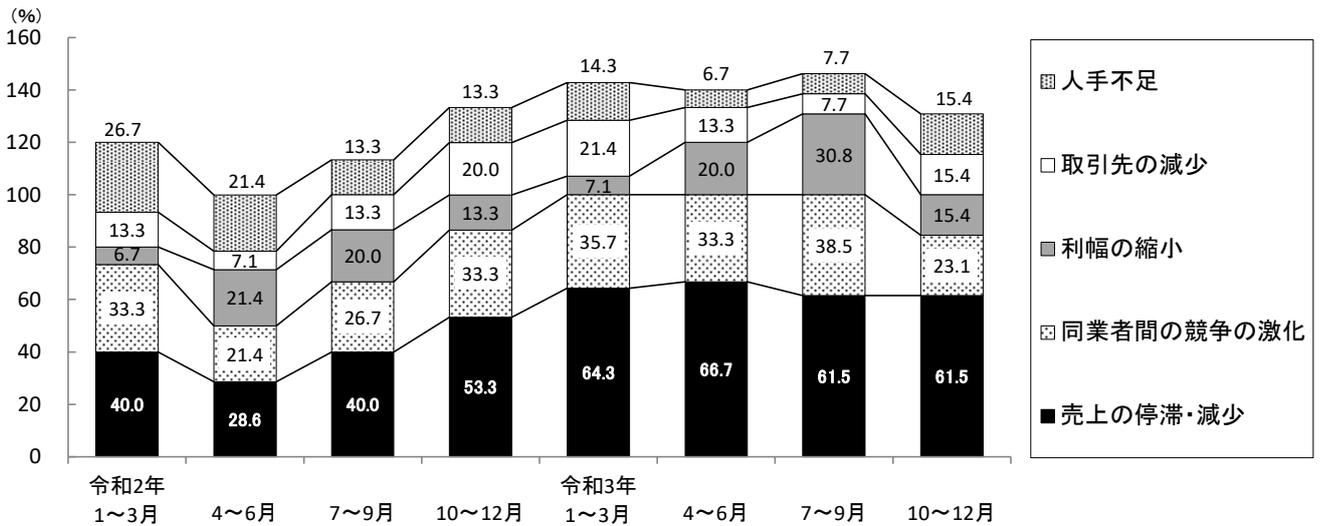


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

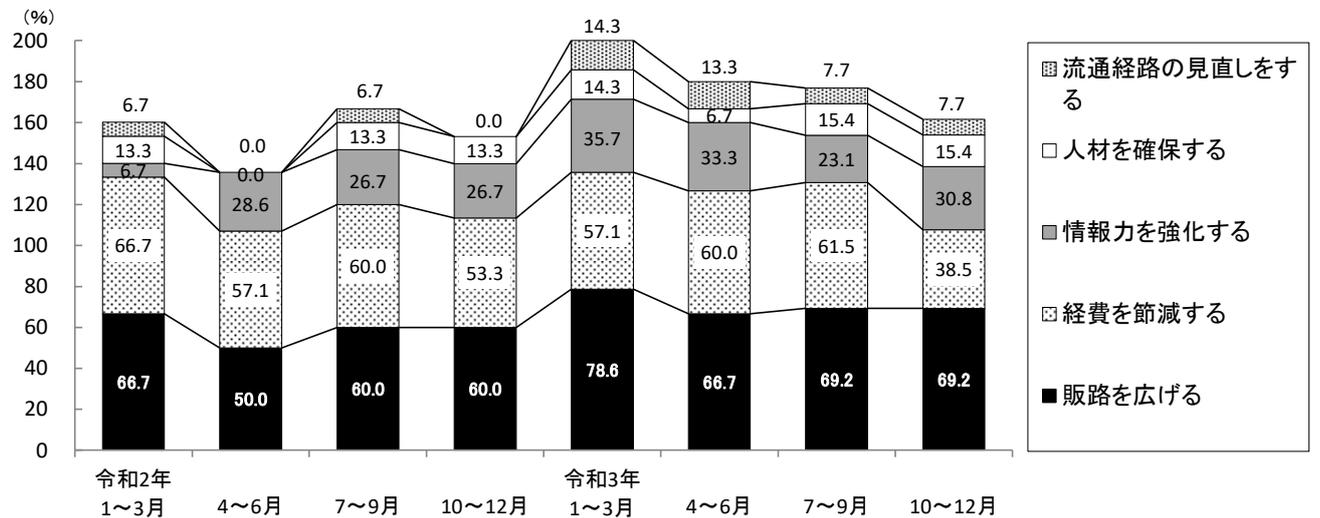


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期	令和3年4~6月期	令和3年7~9月期	令和3年10~12月期
売上の停滞・減少 64.3%	売上の停滞・減少 66.7%	売上の停滞・減少 61.5%	売上の停滞・減少 61.5%
同業者間の競争の激化 35.7%	同業者間の競争の激化 33.3%	同業者間の競争の激化 38.5%	同業者間の競争の激化 23.1%
取引先の減少 21.4%	利幅の縮小 20.0%	利幅の縮小 30.8%	利幅の縮小 15.4%
人手不足 為替レートの変動 仕入先からの値上げ要請 14.3%	取引先の減少 為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退 13.3%	仕入先からの値上げ要請 15.4%	取引先の減少 15.4%
		取引先の減少/為替レートの変動/大手企業・工場の縮小・撤退/人手不足/流通経路の変化による競争の激化/天候の不順/店舗の狭小・老朽化/小口注文・多頻度配送の増加/人件費の増加 7.7%	人手不足 7.7%

## 重点経営施策

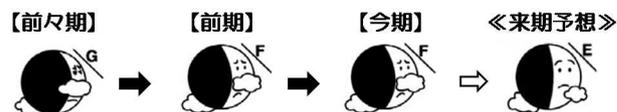
(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期	令和3年4~6月期	令和3年7~9月期	令和3年10~12月期
販路を広げる 78.6%	販路を広げる 66.7%	販路を広げる 69.2%	販路を広げる 69.2%
経費を節減する 57.1%	経費を節減する 60.0%	経費を節減する 61.5%	経費を節減する 38.5%
情報力を強化する 35.7%	情報力を強化する 33.3%	情報力を強化する 23.1%	情報力を強化する 30.8%
流通経路の見直しをする 人材を確保する 流通経路の見直しをする 機械化を推進する 14.3%	流通経路の見直しをする 13.3%	人材を確保する 15.4%	人材を確保する 15.4%
	人材を確保する/品揃えを充実する/労働条件を改善する/教育訓練を強化する/取引先を支援する/提携先を見つける/新しい事業を始める 6.7%	流通経路の見直しをする/労働条件を改善する/取引先を支援する/機械化を推進する/提携先を見つける 7.7%	流通経路の見直しをする/労働条件を改善する/取引先を支援する/提携先を見つける/品揃えを充実する/パート化を図る 7.7%

# 小 売 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 42.7 \rightarrow \Delta 32.9 \rightarrow \Delta 34.1$ ) は前期並の悪化幅で推移した。

中分類業種別で見ると、「飲食店」( $\Delta 75.3 \rightarrow \Delta 62.9 \rightarrow \Delta 58.1$ ) は深刻な状況は続くものの徐々に改善してきており、「飲食料品」( $\Delta 24.2 \rightarrow \Delta 8.4 \rightarrow \Delta 11.5$ ) は悪化幅が幾分拡大し、「衣服、呉服、身の回り品」( $\Delta 6.0 \rightarrow \Delta 36.6 \rightarrow \Delta 39.1$ ) は厳しさがやや増した。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 35.9 \rightarrow \Delta 29.3 \rightarrow \Delta 22.1$ ) と収益 ( $\Delta 40.2 \rightarrow \Delta 29.8 \rightarrow \Delta 26.6$ ) はともに減少・減益傾向が幾分弱まった。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $0.0 \rightarrow 3.2 \rightarrow \Delta 8.0$ ) は下降に転じて厳しい状況となったが、仕入価格 ( $7.0 \rightarrow 14.9 \rightarrow 9.0$ ) は上昇が若干弱まった。

在庫数量 ( $18.0 \rightarrow 10.4 \rightarrow \Delta 4.8$ ) は大幅に減少して品薄に転じた。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 36.0 \rightarrow \Delta 33.6 \rightarrow \Delta 21.6$ ) は窮屈感がかなり緩和され、借入難易度 ( $\Delta 3.9 \rightarrow \Delta 12.5 \rightarrow 4.1$ ) は大幅に改善し容易な状況になった。

設備投資を「実施した」企業 ( $6.1\% \rightarrow 6.5\% \rightarrow 3.3\%$ ) は前期から3.2ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」( $50.0\%$ ) が今期も最多となり、以下、「商店街の集客力の低下」( $33.3\%$ )、「同業者間の競争の激化」、「人手不足」(各 $23.3\%$ )、「大型店との競争の激化」( $20.0\%$ ) の順であった。

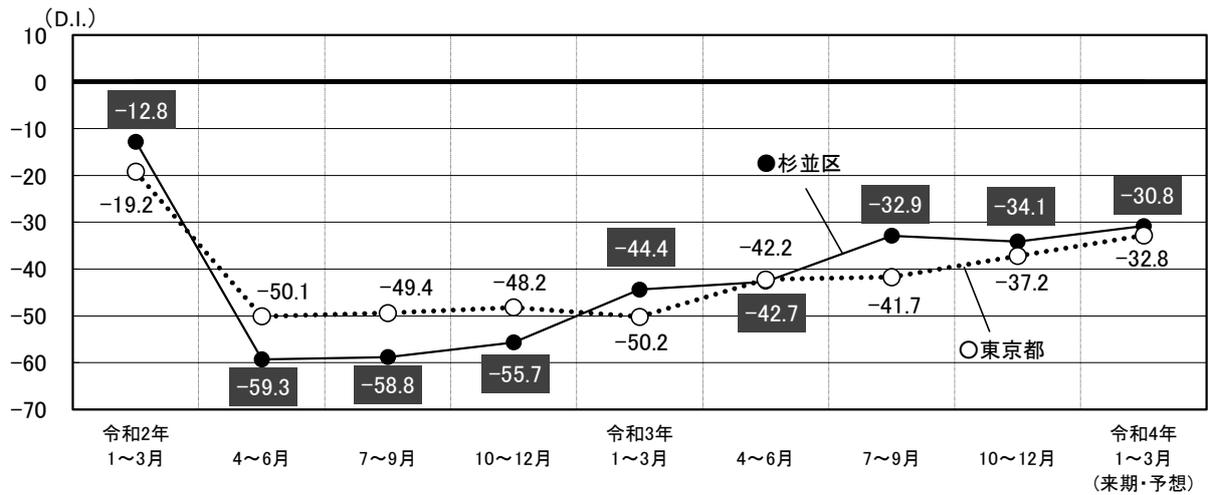
重点経営施策では、「経費を節減する」( $36.7\%$ ) が今期も最多となった。以下、「宣伝・広告を強化する」、「商店街事業を活性化させる」(各 $33.3\%$ )、「人材を確保する」( $23.3\%$ )、「品揃えを改善する」( $10.0\%$ ) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

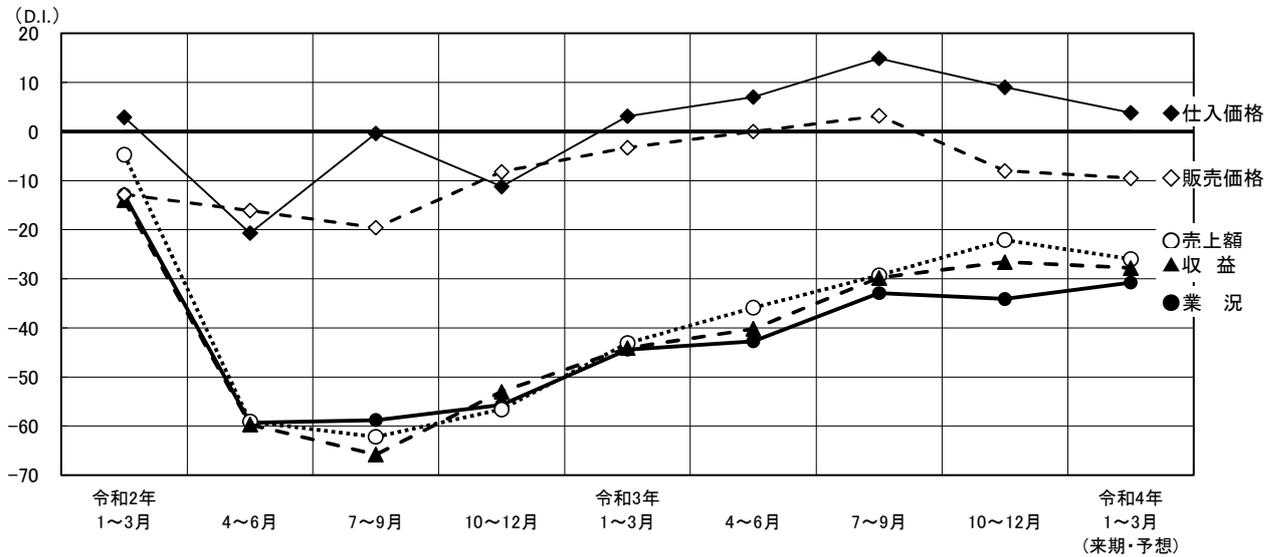
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 30.8$  予想) は悪化傾向が幾分弱まると見込まれている。売上額 ( $\Delta 26.0$  予想) は減少幅がわずかに拡大するが、収益 ( $\Delta 27.8$  予想) は今期並の減益幅で推移すると予想されている。

価格面では、販売価格 ( $\Delta 9.5$  予想) は今期並の下降水準で推移するが、仕入価格 ( $3.8$  予想) は幾分下降して落ち着きを見せると予想している。

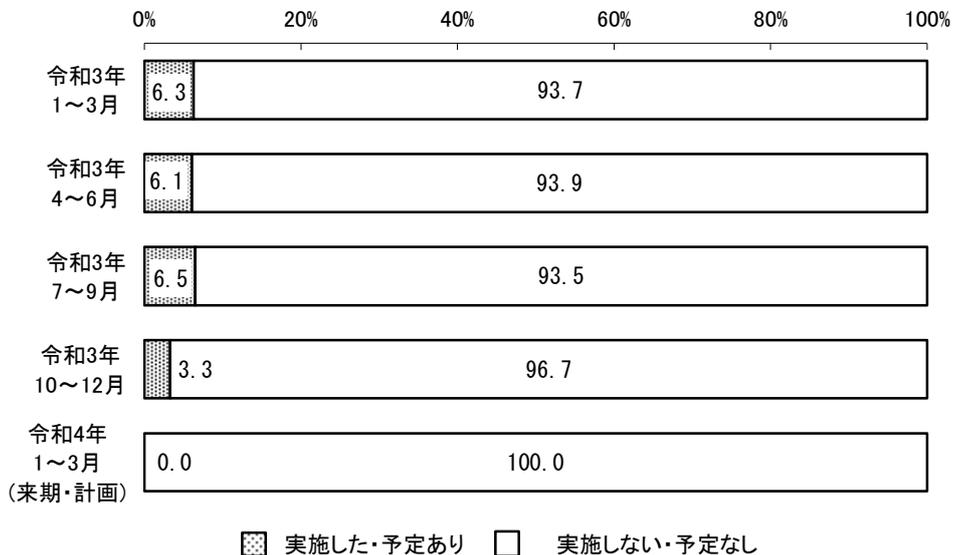
【小売業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想

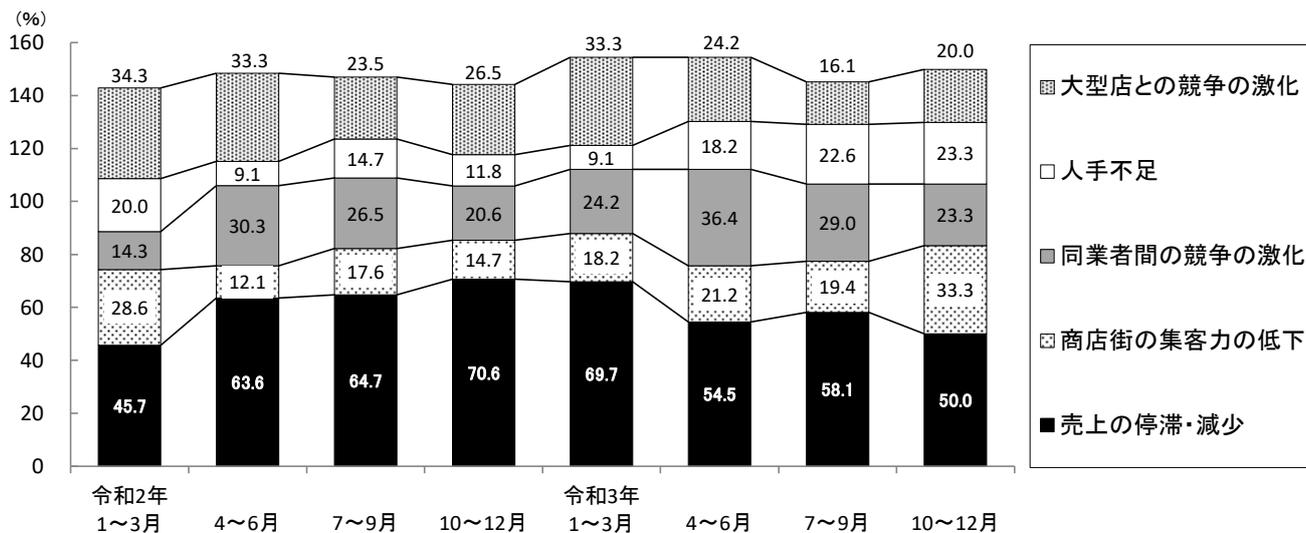


設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

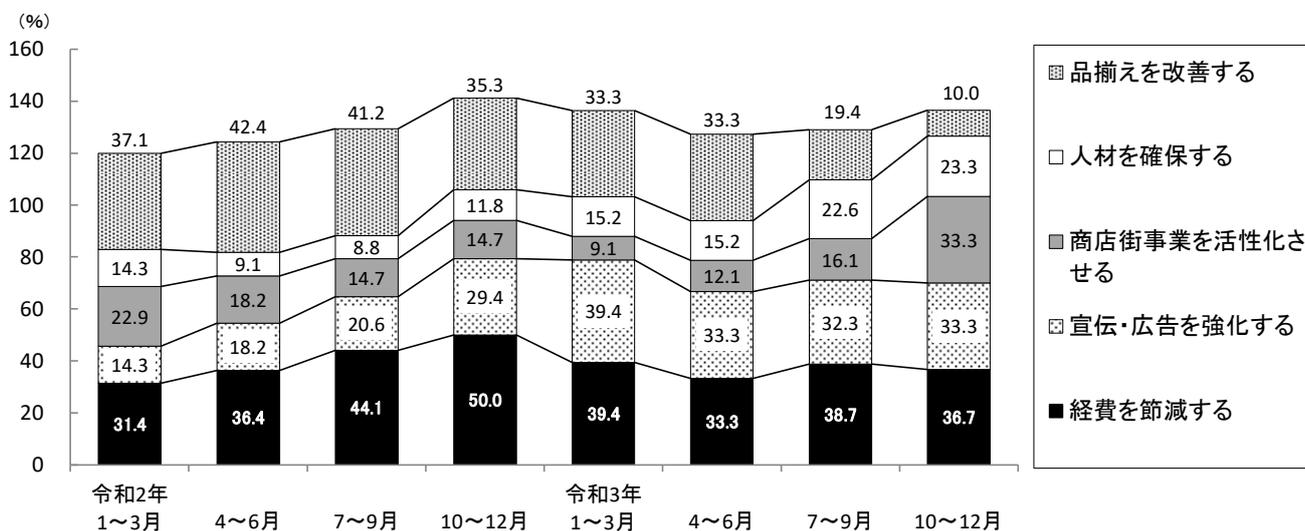


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
売上停滞・減少	69.7%	売上停滞・減少	54.5%	売上停滞・減少	58.1%	売上停滞・減少	50.0%
大型店との競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	36.4%	同業者間の競争の激化	29.0%	商店街の集客力の低下	33.3%
同業者間の競争の激化	24.2%	大型店との競争の激化	24.2%	人手不足	22.6%	同業者間の競争の激化 人手不足	23.3%
商店街の集客力の低下	18.2%	商店街の集客力の低下	21.2%	商店街の集客力の低下 店舗の狭小・老朽化	19.4%	大型店との競争の激化	20.0%
利幅の縮小	15.2%	人手不足	18.2%				

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
経費を節減する 宣伝・広報を強化する	39.4%	経費を節減する 宣伝・広告を強化する 品揃えを改善する	33.3%	経費を節減する 宣伝・広告を強化する	38.7%	経費を節減する 宣伝・広告を強化する 商店街事業を活性化させる	36.7%
品揃えを改善する	33.3%			人材を確保する	22.6%		
売れ筋商品を取り扱う	21.2%	人材を確保する	15.2%	品揃えを改善する	19.4%	人材を確保する	23.3%
人材を確保する	15.2%	売れ筋商品を取り扱う 商店街事業を活性化させる	12.1%	商店街事業を活性化させる	16.1%	品揃えを改善する	10.0%

## 中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ●衣服、呉服、身の回り品●

業況（△6.0→△36.6→△39.1）は悪化傾向が幾分強まった。売上額（△9.3→△35.3→△36.5）は前期同様の減少幅で推移し、収益（△7.6→△38.7→△35.5）は減益幅がやや縮小した。販売価格（△11.3→△1.8→△17.4）は大幅に下降して厳しさが増したが、仕入価格（4.0→1.1→△17.4）は上昇から下降に大きく転じて好感が強まった。在庫数量（△15.8→△2.0→△18.4）は再び不足感が大きく強まった。

来期の見通しについて、業況（△38.0 予想）は今期同様の厳しさが続くと予想している。売上額（△34.6 予想）と収益（△31.0 予想）も減少・減益傾向が幾分弱まると予想している。販売価格（△17.3 予想）は今期並の水準で推移するが、仕入価格（△0.1 予想）は好感が大幅に弱まると見ている。在庫数量（△5.6 予想）は不足感がかなり改善すると予想している。

### ●飲食料品●

業況（△24.2→△8.4→△11.5）は悪化幅が多少拡大した。売上額（△29.4→△20.3→△19.6）は前期並の減少幅で推移し、収益（△30.1→△29.2→△31.7）は減益幅がやや拡大した。価格面では、販売価格（△2.7→△0.8→△2.7）はほぼ変動なく推移したが、仕入価格（6.5→18.3→2.9）は上昇が大きく弱まり着きを見せた。在庫数量（20.1→9.2→△8.8）は過剰から品薄に大きく転じた。

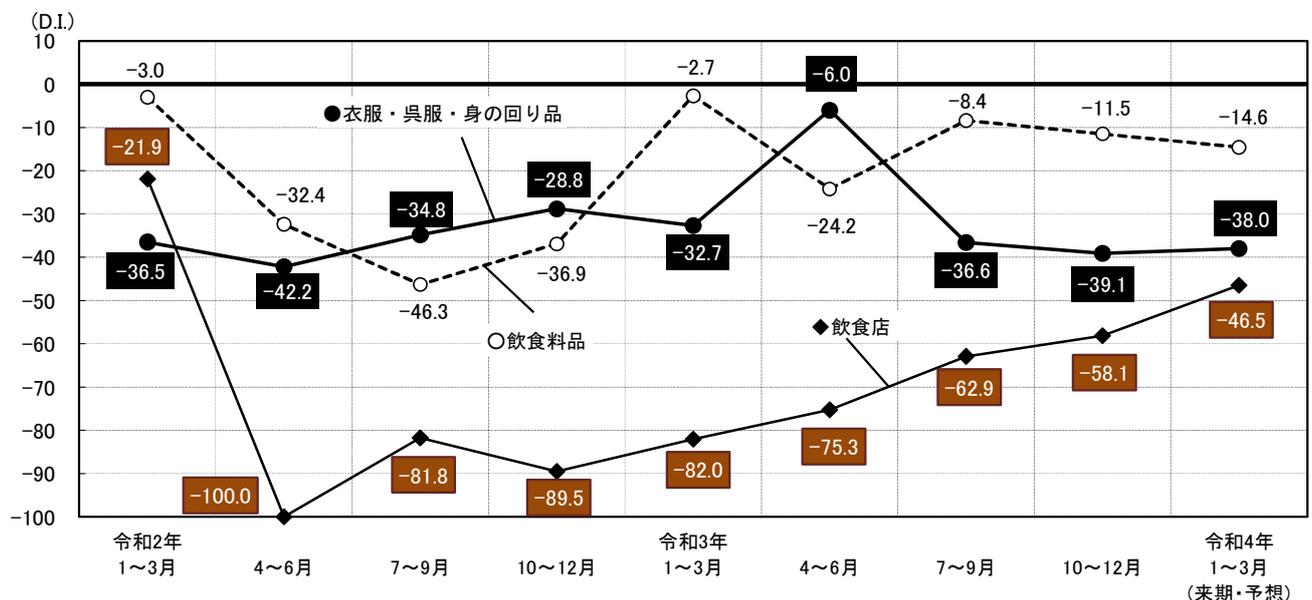
来期の見通しについて、業況（△14.6 予想）は厳しさが多少強まると見込まれており、売上額（△26.3 予想）と収益（△40.0 予想）も減少・減益傾向が大幅に強まると予想している。販売価格（△14.0 予想）は下降がかなり強まり、仕入価格（△14.0 予想）は大幅に下降し好感が強まると見込まれている。在庫数量（△10.2 予想）は今期並の品薄感が続くと予想している。

### ●飲食店●

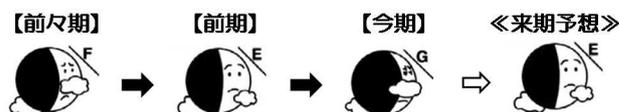
業況（△75.3→△62.9→△58.1）は前期同様の厳しさが続いたが、売上額（△61.9→△61.2→△46.3）と収益（△63.4→△52.3→△39.8）は厳しい状況ながら減少・減益傾向が大幅に弱まった。販売価格（12.0→7.5→△10.4）は上昇から下降に大きく転じ、仕入価格（10.9→19.0→28.8）はさらに上昇して厳しさが増した。在庫数量（34.1→12.6→△14.4）は過多から不足へ極端に転じた。

来期の見通しについて、業況（△46.5 予想）は厳しい状況ではあるがかなり改善すると見ており、売上額（△40.5 予想）と収益（△35.1 予想）も減少・減益傾向が多少弱まると見ている。販売価格（△5.2 予想）は下降幅が幾分縮小するが、仕入価格（27.1 予想）は今期並の上昇幅で推移すると予想している。在庫数量（△2.2 予想）は不足感が大幅に改善されると予想している。

【小売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予想



# サービス業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 34.5 \rightarrow \Delta 25.1 \rightarrow \Delta 37.8$ ) は再び悪化傾向を大きく強めた。

中分類業種別で見ると、「自動車整備業、駐車場業」( $\Delta 49.5 \rightarrow 8.3 \rightarrow \Delta 32.3$ ) は再び悪化に転じて厳しさが極端に強まった。「洗濯、理容、美容業」( $\Delta 26.8 \rightarrow \Delta 36.8 \rightarrow \Delta 37.7$ ) は前期同様の悪化幅で推移した。

## 売上額・収益

売上額 ( $\Delta 34.8 \rightarrow \Delta 20.9 \rightarrow \Delta 22.8$ ) は前期同様の減少幅で推移し、収益 ( $\Delta 36.2 \rightarrow \Delta 20.2 \rightarrow \Delta 29.5$ ) は減益傾向が大きく強まった。

## 料金・材料価格動向

料金価格 ( $\Delta 2.0 \rightarrow 0.3 \rightarrow \Delta 0.4$ ) はほぼ横這いで推移したが、材料価格 ( $7.3 \rightarrow 1.9 \rightarrow 12.3$ ) は大幅に上昇し厳しさが増した。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 10.5 \rightarrow \Delta 8.1 \rightarrow \Delta 20.5$ ) は窮屈感が大幅に強まったが、借入難易度 ( $15.4 \rightarrow 8.0 \rightarrow 8.3$ ) は前期並の容易な状況が続いた。

設備投資を「実施した」企業 ( $15.6\% \rightarrow 12.9\% \rightarrow 13.3\%$ ) は前期から0.4ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(51.6%) が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(29.0%)、「人手不足」(16.1%)、「利幅の縮小」、「人件費の増加」(各12.9%) の順であった。

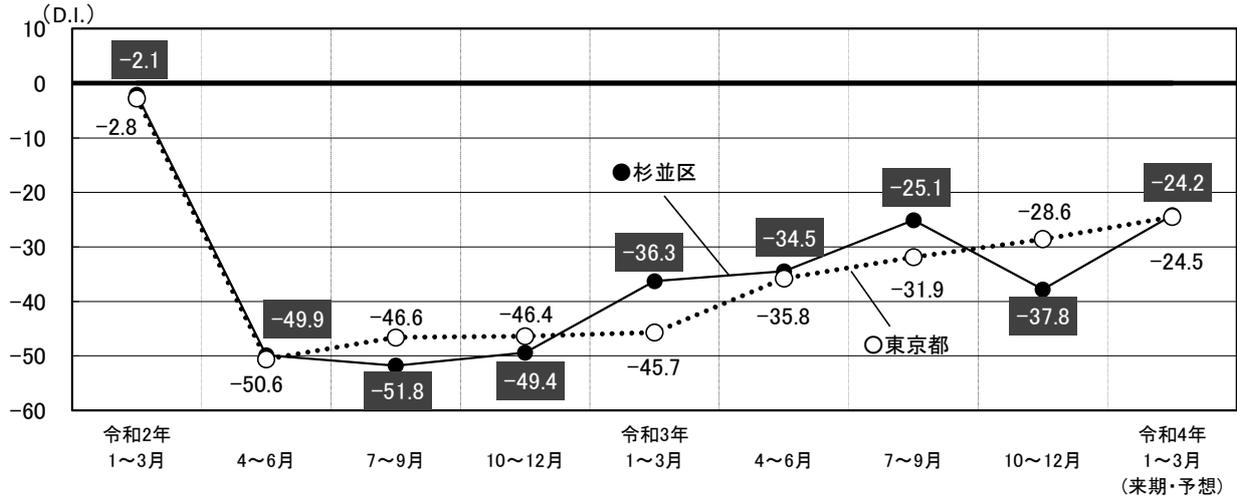
重点経営施策では、「経費を節減する」と「販路を広げる」(各51.6%) がともに今期も最多となった。以下、「宣伝・広告を強化する」(22.6%)、「技術力を強化する」、「人材を確保する」(各12.9%) の順であった。

## 来期の見通し

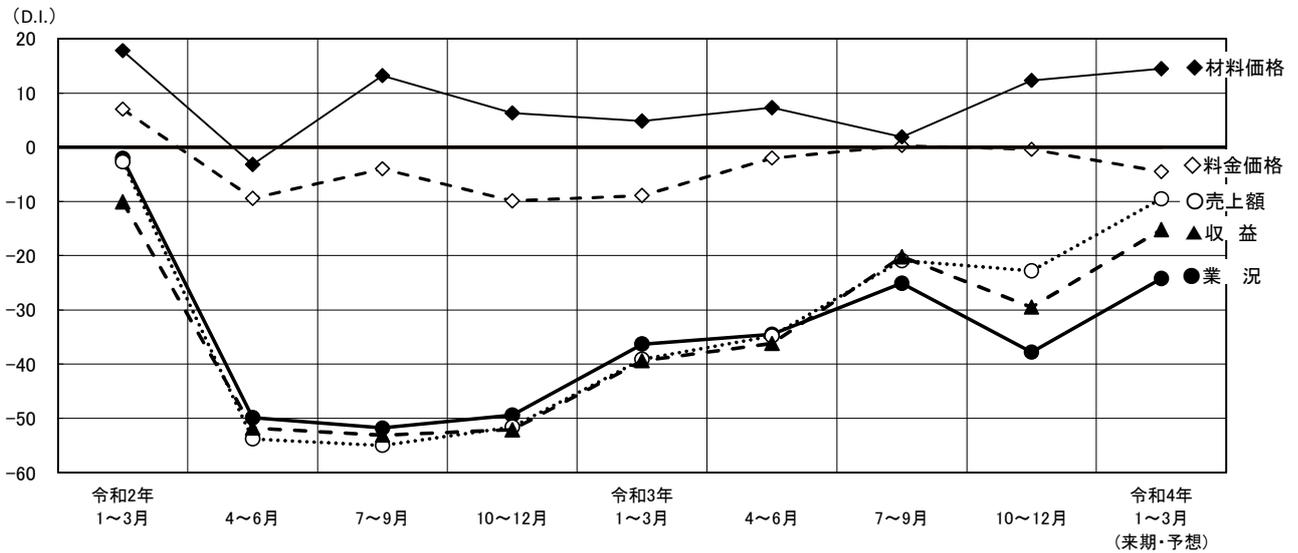
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 24.2$  予想) は大きく持ち直すと予想しており、売上額 ( $\Delta 9.5$  予想) と収益 ( $\Delta 15.2$  予想) も減少・減益幅が大幅に縮小すると見込まれている。

価格面では、料金価格 ( $\Delta 4.5$  予想) は下降幅がわずかに拡大し、材料価格 (14.5 予想) は上昇が幾分強まると予想している。

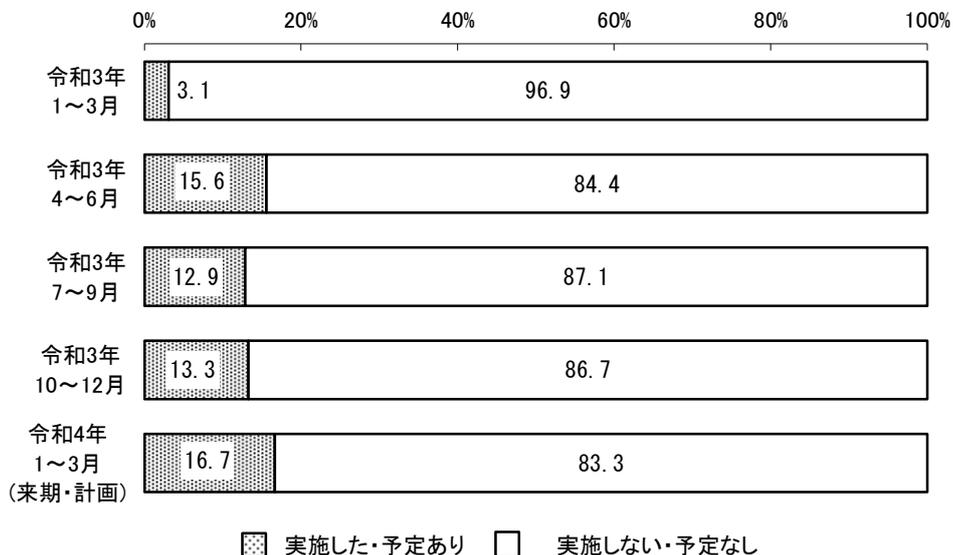
## 【サービス業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予想

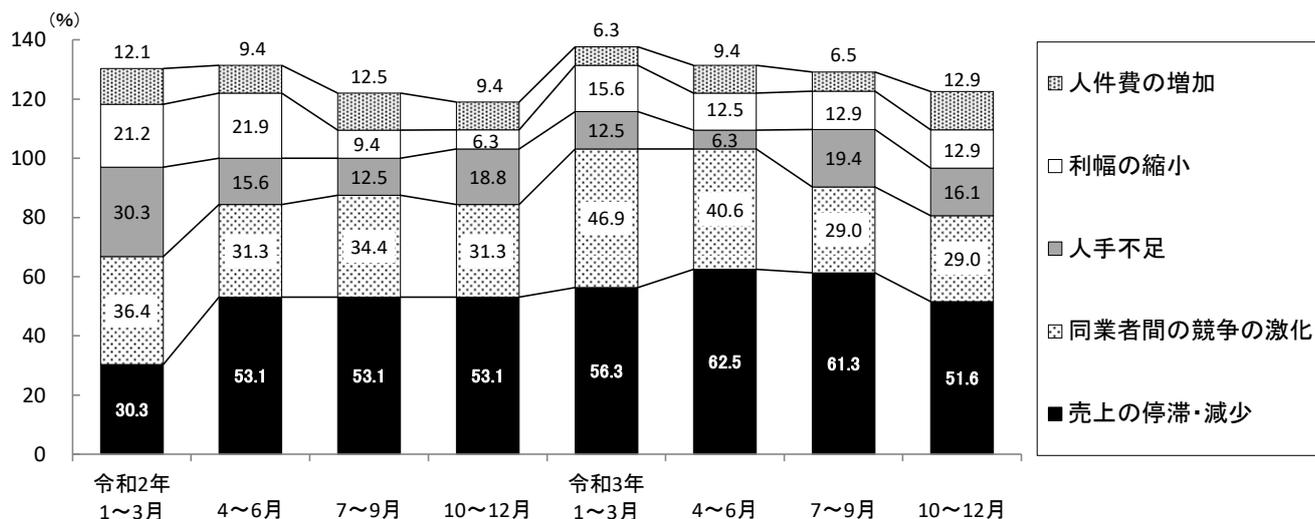


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

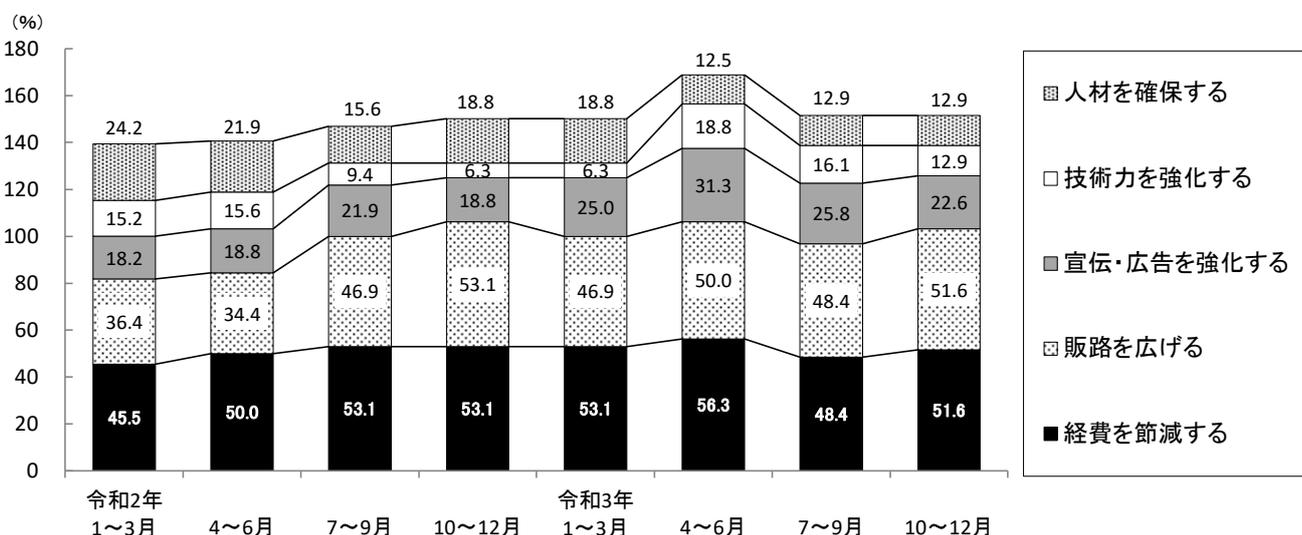


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
売上の停滞・減少	56.3%	売上の停滞・減少	62.5%	売上の停滞・減少	61.3%	売上の停滞・減少	51.6%
同業者間の競争の激化	46.9%	同業者間の競争の激化	40.6%	同業者間の競争の激化	29.0%	同業者間の競争の激化	29.0%
利幅の縮小	15.6%	利幅の縮小	12.5%	人手不足	19.4%	人手不足	16.1%
人手不足	12.5%	人件費の増加 材料価格の上昇 取引先の減少	9.4%	利幅の縮小	12.9%	利幅の縮小	12.9%
大企業との競争の激化	9.4%			人件費の増加／材料価格の上昇／取引先の減少／料金の値下げ要請	6.5%	人件費の増加	12.9%

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
経費を節減する	53.1%	経費を節減する	56.3%	経費を節減する 販路を広げる	48.4%	経費を節減する 販路を広げる	51.6%
販路を広げる	46.9%	販路を広げる	50.0%	宣伝・広告を強化する	25.8%	宣伝・広告を強化する	22.6%
宣伝・広告を強化する	25.0%	宣伝・広告を強化する	31.3%	技術力を強化する	16.1%	技術力を強化する	12.9%
人材を確保する	18.8%	技術力を強化する	18.8%	技術力を強化する	12.9%	技術力を強化する	12.9%
技術力を強化する／新しい事業を始める／教育訓練を強化する／提携先を見つける	6.3%	人材を確保する	12.5%	人材を確保する	12.9%	人材を確保する	12.9%

## 中分類種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ●洗濯、理容、美容業●

業況（△26.8→△36.8→△37.7）は前期並の悪化幅で推移した。売上額（△30.3→△39.3→△18.0）は極端に持ち直し、収益（△23.3→△34.8→△29.7）も減益幅がやや縮小した。料金価格（1.6→△10.1→△11.0）は前期並の下降水準が続き、材料価格（3.5→△10.2→11.2）は極端に上昇し厳しい状況に転じた。

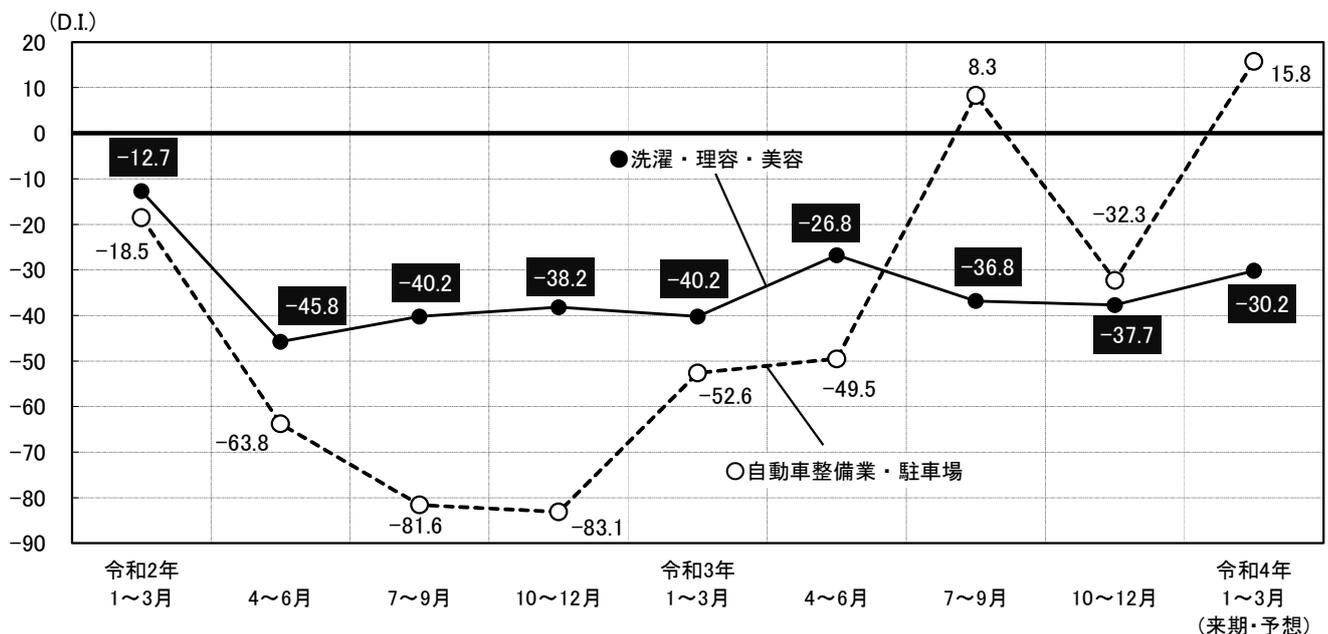
来期の見通しについて、業況（△30.2 予想）は厳しさがかなり和らぐと予想している。売上額（△24.5 予想）は減少傾向がかなり強まり、収益（△32.0 予想）も減益幅が幾分拡大すると見込まれている。料金価格（△11.7 予想）は今期並の水準で推移するが、材料価格（14.5 予想）は若干上昇すると予想している。

### ●自動車整備業、駐車場業●

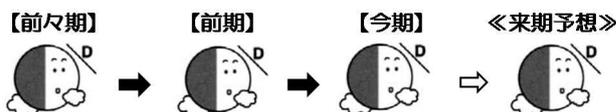
業況（△49.5→8.3→△32.3）は再び水面下に大きく落込んだ。売上額（△47.4→33.6→△10.7）と収益（△47.1→29.4→△7.1）も増加から減少に極端に落込んだ。料金価格（△12.2→△1.7→△1.7）は横這いで推移し、材料価格（21.4→△3.1→0.0）は好感感がなくなった。

来期の見通しについて、業況（15.8 予想）は再びプラスに大きく転じると予想しており、売上額（14.7 予想）と収益（17.9 予想）も減少から増加に極端に転じると見込まれている。料金価格（△12.4 予想）は下降傾向を大きく強め、材料価格（15.0 予想）も大幅に上昇し厳しさが強まると予想している。

【サービス業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予想



# 建設業



注：コメント中の ( ) 内の D.I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 2.3 \rightarrow \Delta 7.9 \rightarrow \Delta 4.6$ ) は悪化傾向が幾分改善した。

## 売上額・受注残・施工高・収益

売上額 ( $\Delta 0.8 \rightarrow \Delta 14.9 \rightarrow \Delta 13.4$ ) は前期同様の減少幅で推移したが、受注残 ( $1.8 \rightarrow \Delta 18.4 \rightarrow \Delta 10.6$ )、施工高 ( $6.2 \rightarrow \Delta 18.3 \rightarrow \Delta 2.4$ )、収益 ( $\Delta 2.5 \rightarrow \Delta 14.2 \rightarrow \Delta 7.3$ ) は減少・減益傾向が大幅に改善された。

## 請負価格・材料価格・在庫

請負価格 ( $\Delta 0.4 \rightarrow \Delta 8.0 \rightarrow 8.1$ ) は大幅に持ち直し好転したが、材料価格 ( $0.3 \rightarrow 26.6 \rightarrow 44.0$ ) は更に上昇し厳しさが大きく増した。

在庫数量 ( $\Delta 2.9 \rightarrow \Delta 6.1 \rightarrow \Delta 6.1$ ) は前期並の品薄感で推移した。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $8.5 \rightarrow 1.5 \rightarrow \Delta 7.7$ ) は下降して窮屈感が現れ、借入難易度 ( $12.0 \rightarrow 4.0 \rightarrow 0.0$ ) も容易さがなくなった。

設備投資を「実施した」企業 ( $19.2\% \rightarrow 19.2\% \rightarrow 24.0\%$ ) は前期から4.8ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」(50.0%) が今期は最多となった。以下、「人手不足」(34.6%)、「売上の停滞・減少」(30.8%)、「同業者間の競争の激化」(23.1%)、「利幅の縮小」、「大手企業との競争の激化」(各15.4%) の順であった。

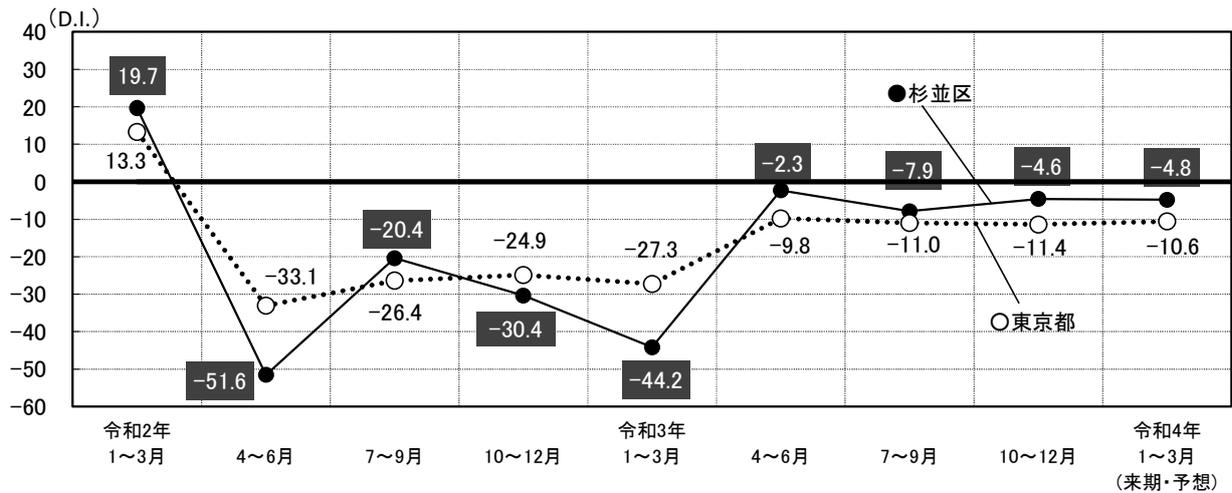
重点経営施策では、「経費を節減する」(50.0%) が今期も最多となった。以下、「技術力を高める」(38.5%)、「人材を確保する」(34.6%)、「販路を広げる」(30.8%)、「情報力を強化する」(23.1%) の順であった。

## 来期の見通し

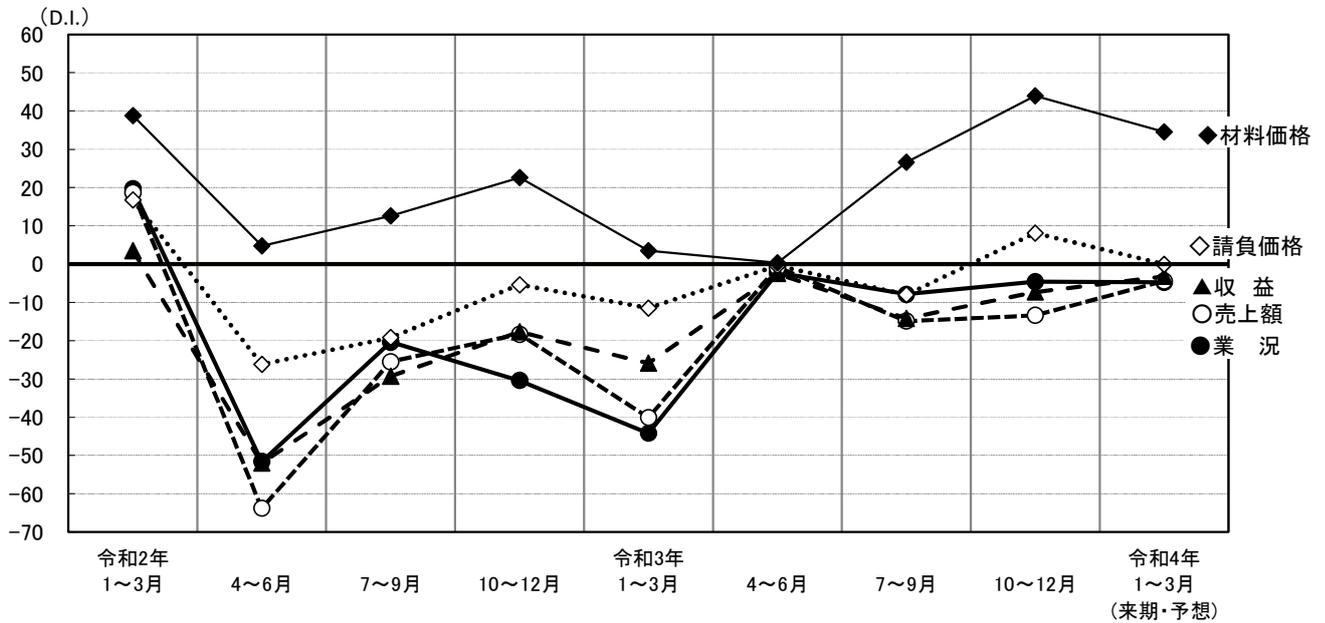
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 4.8$  予想) は今期並の水準で推移すると予想している。売上額 ( $\Delta 4.4$  予想) と受注残 ( $\Delta 2.1$  予想) は大幅に改善し、施工高 (9.3 予想) は大きく持ち直して増加に転じると予想している。収益 ( $\Delta 3.2$  予想) は減益傾向が一服すると見込まれている。

価格面では、請負価格 ( $\Delta 0.1$  予想) は大幅に低下してわずかに下降に転じ、材料価格 (34.5 予想) は厳しい状況は続くものの上昇がかなり弱まると予想している。

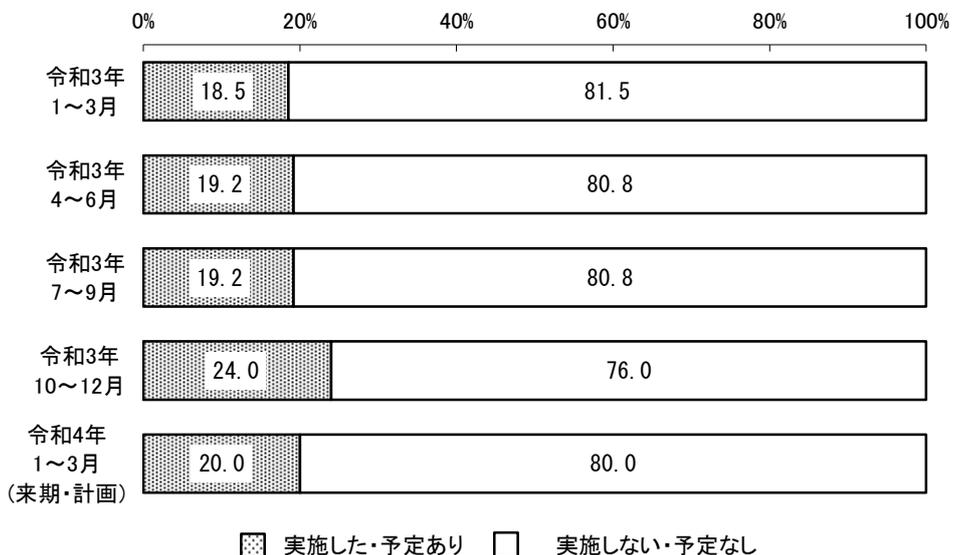
### 【建設業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



### 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予想

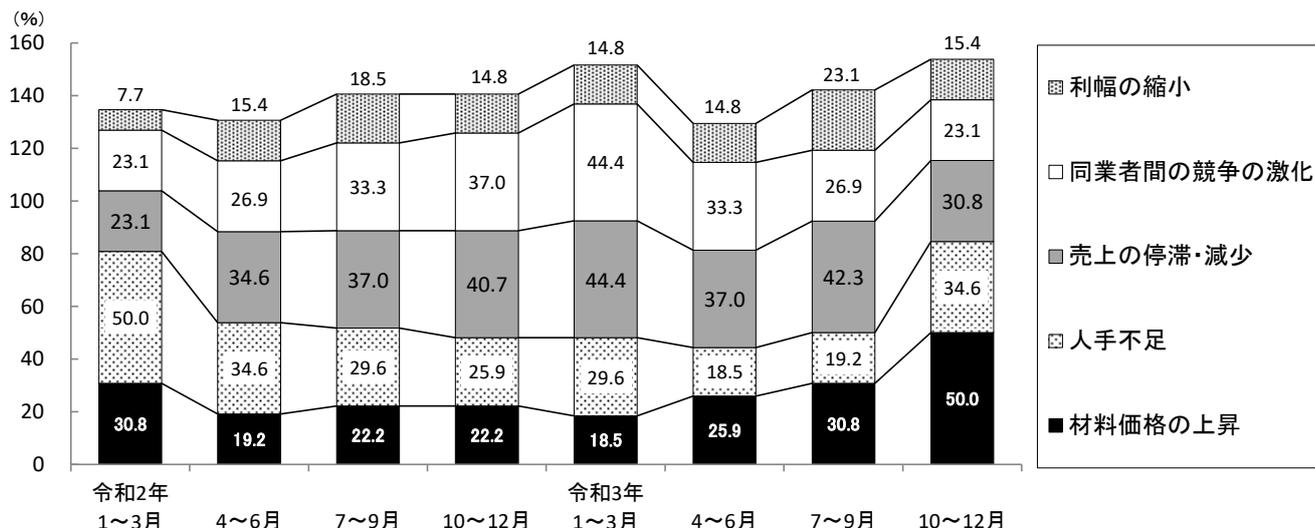


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

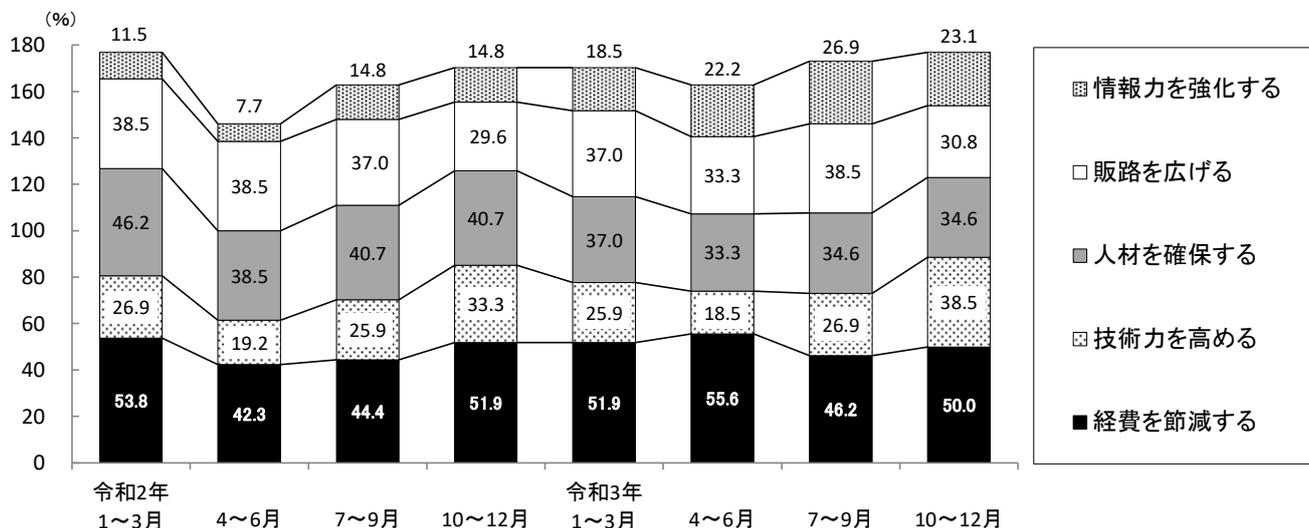


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化	44.4%	売上の停滞・減少	37.0%	売上の停滞・減少	42.3%	材料価格の上昇	50.0%
人手不足	29.6%	同業者間の競争の激化	33.3%	材料価格の上昇	30.8%	人手不足	34.6%
人件費の増加	22.2%	材料価格の上昇	25.9%	同業者間の競争の激化	26.9%	売上の停滞・減少	30.8%
材料価格の上昇	18.5%	人手不足 人件費の増加 大手企業との競争の激化	18.5%	利幅の縮小	23.1%	同業者間との競争の激化	23.1%
				人手不足	19.2%	利幅の縮小 大手企業との競争の激化	15.4%

## 重点経営施策

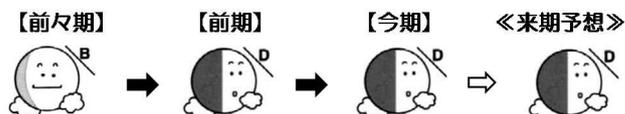
(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
経費を節減する	51.9%	経費を節減する	55.6%	経費を節減する	46.2%	経費を節減する	50.0%
人材を確保する 販路を広げる	37.0%	人材を確保する 販路を広げる	33.3%	販路を広げる	38.5%	技術力を高める	38.5%
技術力を高める	25.9%	情報力を強化する	22.2%	人材を確保する	34.6%	人材を確保する	34.6%
新しい工法を導入する	22.2%	技術力を高める	18.5%	情報力を強化する 技術力を高める	26.9%	販路を広げる	30.8%
						情報力を強化する	23.1%

# 不動産業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 (1.8→△20.4→△14.1) は厳しさがかなり和らいだ。

## 売上額 ・ 収益

売上額 (△28.1→△37.2→△25.8) と収益 (△30.7→△27.0→△16.2) は減少・減益傾向が大きく改善された。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 (△1.6→△0.3→7.8) は下降から大きく上昇に転じたが、仕入価格 (16.7→9.7→19.4) は大幅に上昇し厳しさが増した。

在庫数量 (△21.3→△8.9→2.0) は不足感が大幅に改善され適正水準となった。

## 資金繰り ・ 借入難易度

資金繰り (△1.5→0.7→△1.6) は容易さが無くなり、わずかに厳しい状況となった。借入難易度 (25.0→18.8→14.3) は容易さが幾分後退した。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」(44.4%) が今期も引き続き最多となった。以下、「商品物件の不足」(33.3%)、「売上の停滞・減少」(27.8%)、「利幅の縮小」、「商品物件の高騰」(各16.7%) の順であった。

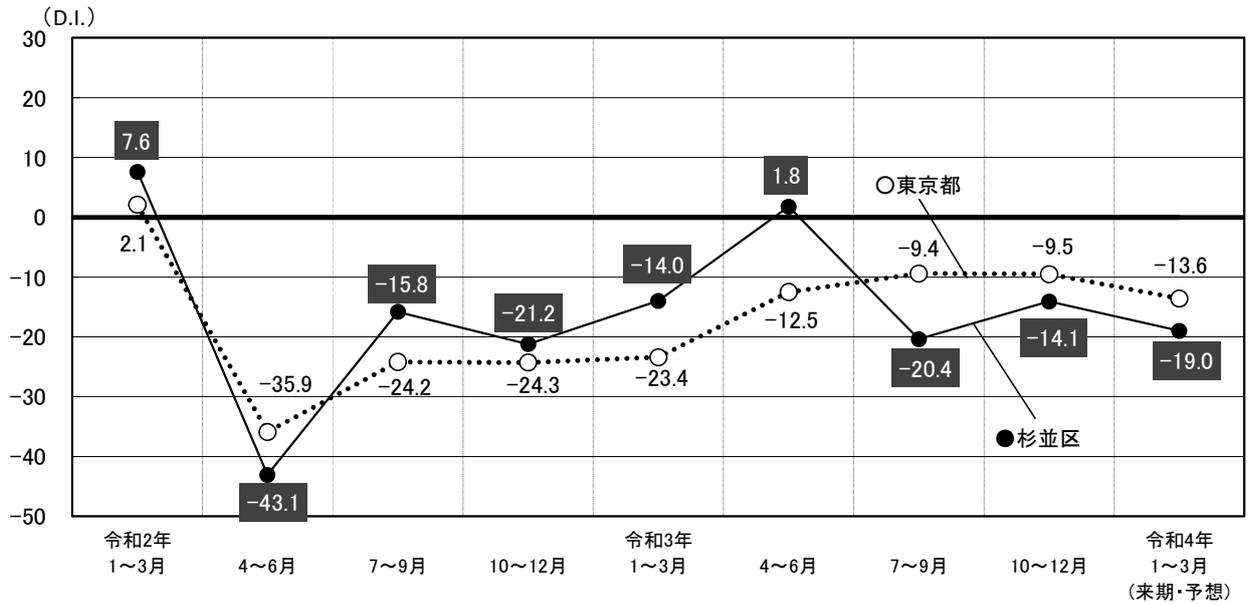
重点経営施策では、「情報力を強化する」(50.0%) が今期も最多となった。以下、「宣伝・広告を強化する」(44.4%)、「経費を節減する」(33.3%)、「不動産の有効活用を図る」、「販路を広げる」(各27.8%) の順であった。

## 来期の見通し

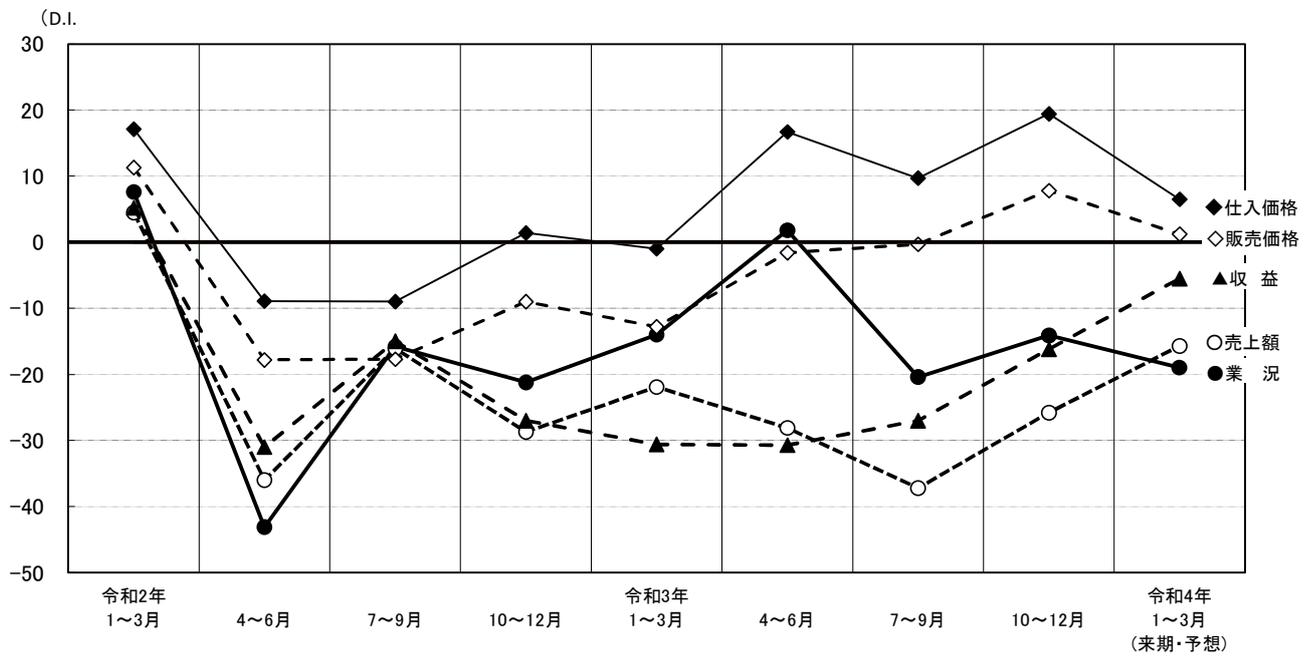
来期の見通しについて、業況 (△19.0 予想) は悪化傾向を再び強めると見ている。売上額 (△15.7 予想) と収益 (△5.5 予想) は今期同様に減少・減益傾向の改善が続くと予想している。

価格面では、販売価格 (1.2 予想) は上昇傾向が大幅に弱まるが、仕入価格 (6.5 予想) は上昇傾向が大きく弱まり、厳しさが和らぐと予想している。

【不動産業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想

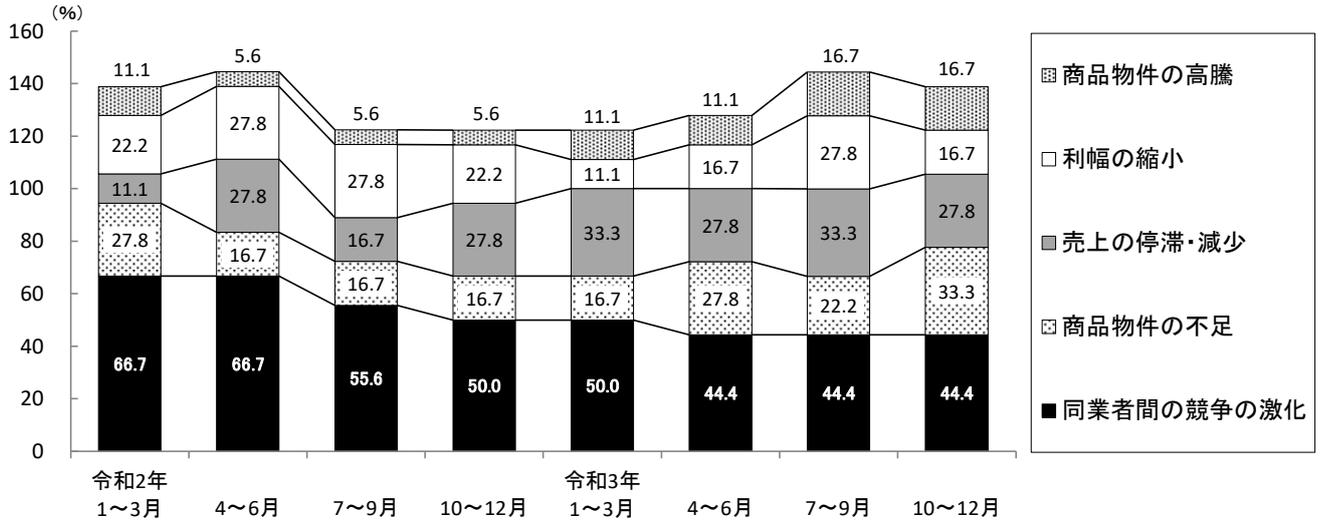


業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想



## 経営上の問題点

(複数回答)

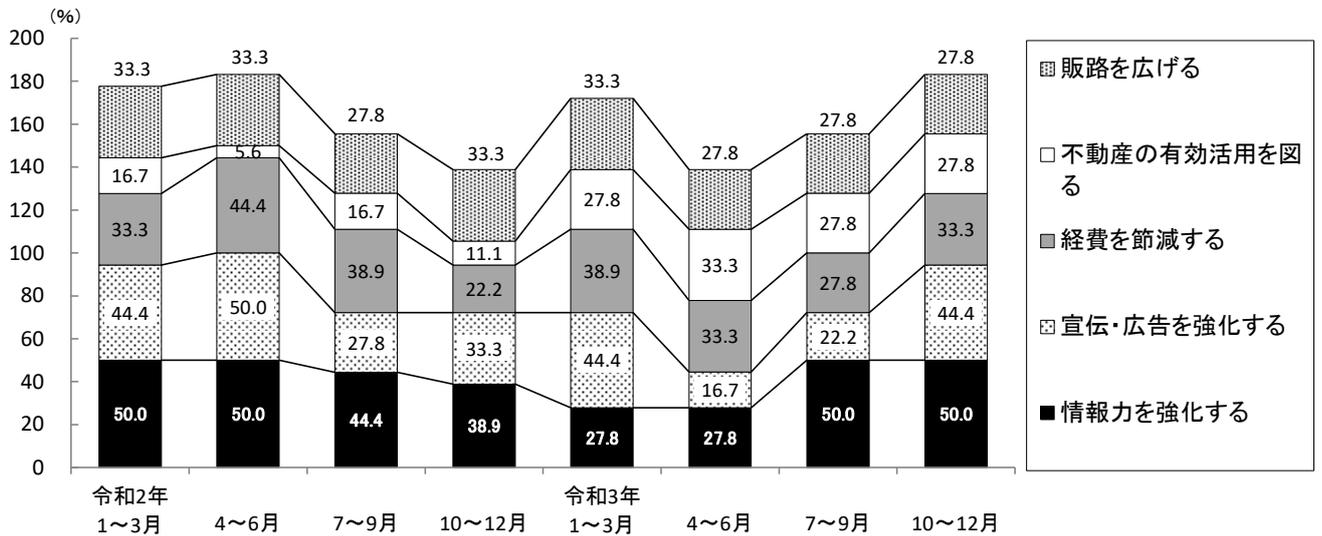


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
同業者間の競争の激化	50.0%	同業者間の競争の激化	44.4%	同業者間の競争の激化	44.4%	同業者間の競争の激化	44.4%
売上の停滞・減少	33.3%	売上の停滞・減少 商品物件の不足	27.8%	売上の停滞・減少	33.3%	商品物件の不足	33.3%
商品物件の不足 大手企業との競争の激化	16.7%	利幅の縮小	16.7%	利幅の縮小	27.8%	売上の停滞・減少	27.8%
利幅の縮小 人件費の増加 商品物件の高騰	11.1%	人件費の増加 商品物件の高騰	11.1%	商品物件の高騰	16.7%	利幅の縮小 商品物件の高騰	16.7%

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年1~3月期		令和3年4~6月期		令和3年7~9月期		令和3年10~12月期	
宣伝・広告を強化する	44.4%	経費を節減する 不動産の有効活用を図る	33.3%	情報力を強化する	50.0%	情報力を強化する	50.0%
経費を節減する	38.9%	販路を広げる 情報力を強化する	27.8%	経費を節減する 不動産の有効活用を図る 販路を広げる	27.8%	宣伝・広告を強化する	44.4%
販路を広げる	33.3%	宣伝・広告を強化する 人材を確保する	16.7%	宣伝・広告を強化する	22.2%	経費を節減する	33.3%
情報力を強化する 不動産の有効活用を図る	27.8%					不動産の有効活用を図る 販路を広げる	27.8%

## 製造業

- ・繊維製品（主に医療系のコルセットやサポーター、義足等に使用するマジックテープ）の製造卸売業を営んでいる。コロナ禍により、一般消費者向けのサポーターの需要が大きく減少し売上が低下している。

（繊維製品製造）

- ・学校や病院の建設時に使用する耐震クッションや高層ビルの鉄骨に使用する耐火素材を企画開発し、外注工場にて製造をして販売先に卸している。コロナ禍により、建設工事の延期等が続いたため売上が減少している。

（建設用耐震、耐火製品の開発・製造）

- ・アニメーション制作を行っている。ワクチン接種を受けたことによって従業員の体調不良があり納期スケジュールが延びて新規受注の機会喪失を招いたため、売上が減少した。

（アニメーション制作）

## 卸売業

- ・平成 25 年から建材の製造・販売業（大手仕入先から建築廃材を仕入れ、当社にて加工して建築業者に販売する業態）を営んでいる。コロナ禍の影響で、建築工事が減り、仕入先からの廃材の供給が減ったことから、廃材の加工・販売が、落ち込んでいる。仕入先からの廃材を当社にて貯蔵し、販売先に安定供給したい。

（建材卸売業）

- ・生コンクリートなど建築用資材の卸売業を営んでいる。コロナ禍の影響で建設業の需要が縮小しているなか、オリンピックの一年延期により公共工事の市況回復も遅れ、売上が減少している。売上の本格的回復にはまだ時間が掛かる見通しである。

（建設資材卸売業）

- ・タイヤの卸小売業を営んでいる。コロナ禍の影響で、自動車修理工場などの法人用と個人用の販売がともに低迷し、売上が低下した。

（タイヤ卸小売）

- ・婦人物をメインとした衣類の卸売業を営んでいる。コロナ禍の影響によりビジネスのボリュームが縮小すると共に動きもスローになっており、資金確保の必要が生じている。

（衣類卸売業）

## 小売業

- ・昭和27年から、米販売店を営んでいる。コロナ禍の影響で、取引先の飲食店向けの米販売が大きく落ち込んでおり、当社の売上も大きく落ち込んでいる。仕入れなどの運転資金の確保が必要となっている。

（米販売店）

- ・酒類販売業を営んでいる。コロナ禍により、販売先である飲食店・居酒屋等の受注が減少し、売上が減少した。緊急事態宣言解除後時短営業等の解除となり、飲食店・居酒屋で酒類提供も可能となり、そのための仕入れ費用等が必要になった。

（酒類販売業）

- ・小売業（宝飾品販売）を営んでいる。コロナ禍の影響により、パーティー用等の高価宝飾品の売上が減っている。現在、売れるのは、日常使いできる低価格帯の商品であるため、店内の商品構成を変え、低価格帯商品を増やすこととした。新たに、低価格帯商品を仕入れるための資金が必要となっている。

（宝飾品販売）

- ・主にイベント向けに婦人服の販売を行っているが、コロナ禍の影響、各種イベントの中止が相次ぎ、売上が大きく減少している。

（婦人服販売）

- ・自動車販売業を営んでいる。主にオークション場や地元の地域団体での繋がりを通じて一般車やトラックの買取と販売を行っている。今回の申込は、仕入れのための運転資金である。コロナ禍の影響により、地元の商工会議所や法人会の集まりが無くなってしまい営業機会が大きく減少したため、売上が低下している。

（自動車販売）

- ・アパレルの輸出入業を通販で営んでいる。コロナ禍の影響で、海外での生産ができないため仕入れができず、売り上げの減少が続いた。今後徐々に景気が回復してきており、仕入れ商品をはじめ、店舗運営のための運転資金が必要となった。

（アパレル業）

- ・イベント用品及び寝具販売の小売業を営んでいる。コロナ禍の拡大により、高円寺阿波踊りがなくなり、売上の70%を占める阿波踊り関連用品が販売できなくなり、売上が減少した。

（イベント用品、寝具販売）

## サービス業

- 平成30年から音楽興業・スクール業を営んでいる。コロナ禍に伴う緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等の発出により、コーラス大会や合唱祭が中止になり、興業料・指導料が減少したため、売上が減少している。

(音楽興業、スクール)

- 建築設計士事務所を営んでいる。コロナ禍の影響により、対面営業が減少し、県境越境も制限され、全国の取引先を相手にする当社にはダメージが大きかった。またオフィス需要の減少も売上減少の打撃を受けた。

(設計事務所)

- ヨガ教室を営んでいる。コロナ禍の影響で、人数を減らして教室を開催している上に、緊急事態宣言で外出自粛により教室に来られる生徒数が減少しており、売上が大きく落ち込んでいる。

(ヨガ教室)

- 犬や猫を対象とした動物病院を営んでいる。コロナ禍に伴う緊急事態宣言の影響で、ペットホテルにペットを預ける人や、ペットの予防接種をする人が減り、売上が減少している。3つの拠点で24時間体制を敷いているので、従業員も多く、人件費の負担が重くなっている。

(動物病院)

## 建設業

- ユニットバスやトイレ、キッチンなどの水回りの住宅設備の販売と施工事業を営んでいる。コロナ禍の影響で、外の人間を自宅に入れたくないという顧客心理が働き、売上の7割を占める住宅やマンションなどの個人向け受注が減少し、加えて飲食店など店舗のメンテナンス受注も無くなってしまった。また、ウォッシュレットなどの流通が滞り、工期の予測が立たない状態も厳しい。この状況を打開するために、製品の仕入れルートを新たに開拓する予定である。冬場に向けて回復が期待できる受注に備えて、仕入れと外注費確保のため、融資を申込みことにした。

(住宅設備工事業)

- オフィスや賃貸物件の内装業を営んでいる。原状回復工事の仕事が多く、主な顧客は、不動産管理会社や不動産会社である。コロナ禍の影響で、工事の遅延やキャンセルが相次ぎ、今年に入ってから、海外からの建材・木材の輸入の停滞や高騰に見舞われ利益が下がり、業績が悪化してしまった。

(内装工事業)

## 不動産業

- ビルを3棟所有し、独身向けのワンルームマンションの賃貸業を営んでいる。昨年からのコロナ禍で、主たる賃借人である独身の若い人達が仕事やアルバイトを無くすなどして、退去が相次いだ。以前は3棟とも満室であったものが、常時4~5部屋空いている状況が続き、売上減少となっている。今後はコロナも収まり、空き部屋も埋まると期待できるが、その間の運転資金が必用なため、融資を申請することにした。

(不動産賃貸業)

- 不動産賃貸業を営んでいる。コロナ禍の影響により、店頭に来店客が減り、さらにテナント料の値下げ要求に応じたため、売上が低下している。

(不動産賃貸業)

- 物件を買い取りリフォームする不動産売買業や、不動産賃貸・仲介業を営んでいる。新型コロナウイルスの影響が始まった2020年から物件の買付が滞り、加えて、顧客の内覧が激減し、不動産売買業が大きな打撃を受けた。しかし、今年後半に入ってから不動産売買の動きは出てきており、当社でも買い取った物件のリフォームをする必要が出てきた。リフォームの外注費を確保するため、融資を申請することにした。

(不動産業)

- 不動産売買仲介業を営んでいる。主に投資用のワンルームマンションの売買仲介や賃貸物件の管理等を行っている。今回の申し込みは、人件費、外注費のための運転資金である。新型コロナウイルス感染症の影響で、物件購入者の減少、管理物件の空室率の上昇により売上が減少している。

(不動産売買仲介業)

# 日 銀 短 観

## [調査対象企業数]

(2021年12月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,859社	5,469社	9,328社	99.3%
うち大企業	982社	884社	1,866社	98.7%
中堅企業	1,005社	1,612社	2,617社	99.2%
中小企業	1,872社	2,973社	4,845社	99.6%

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

		2020年度			2021年度		
			上期	下期		上期	下期
米ドル円 (円/ドル)	2020年6月調査	106.82	107.04	106.61	106.71	106.70	106.71
	2021年9月調査	—	—	—	107.64	107.64	107.64
	2021年12月調査	—	—	—	109.09	108.82	109.35
ユーロ円 (円/1-0)	2020年6月調査	122.58	121.25	123.90	125.27	125.28	125.26
	2021年9月調査	—	—	—	126.50	126.67	126.33
	2021年12月調査	—	—	—	127.71	127.93	127.49

## [業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	18	14	18	0	13	-5
非製造業	2	3	9	7	8	-1
全産業	10	9	14	4	11	-3
中堅企業						
製造業	6	3	6	0	5	-1
非製造業	-6	-7	1	7	0	-1
全産業	-1	-4	3	4	2	-1
中小企業						
製造業	-3	-4	-1	2	-1	0
非製造業	-10	-13	-4	6	-6	-2
全産業	-8	-10	-3	5	-4	-1
全規模合計						
製造業	5	2	6	1	4	-2
非製造業	-7	-8	0	7	-2	-2
全産業	-2	-5	2	4	0	-2

## [売上・収益計画]

(前年度比・%)

		2020年度		2021年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	-7.8	—	10.1	2.3
	国内	-7.2	—	6.9	1.2
	輸出	-9.0	—	17.0	4.5
	非製造業	-9.0	—	0.3	-0.1
	全産業	-8.5	—	4.4	1.0
中堅企業	製造業	-6.4	—	7.6	0.5
	非製造業	-6.9	—	1.7	-0.8
	全産業	-6.8	—	3.2	-0.5
中小企業	製造業	-7.7	—	5.9	0.4
	非製造業	-7.0	—	2.6	0.9
	全産業	-7.2	—	3.3	0.8
全規模合計	製造業	-7.6	—	8.9	1.7
	非製造業	-7.9	—	1.3	0.1
	全産業	-7.8	—	3.8	0.6

(注) 修正率は、前回調査との対比。

## [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業		2021年9月調査		2021年12月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・ サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-17	-16	-12	5	-13	-1
	うち素材業種	-18	-17	-13	5	-15	-2
	加工業種	-16	-16	-10	6	-11	-1
海外での製商品 需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-7	-6	-3	4	-5	-2
	うち素材業種	-9	-7	-6	3	-8	-2
	加工業種	-6	-6	0	6	-2	-2
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	11		9	-2		
	うち素材業種	10		9	-1		
	加工業種	11		8	-3		
製商品流通在庫 水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	7		2	-5		
	うち素材業種	9		5	-4		
	加工業種	5		1	-4		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	9	14	16	7	22	6
	うち素材業種	19	24	26	7	29	3
	加工業種	2	7	8	6	17	9
	非製造業	1	3	6	5	10	4
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	50	51	60	10	61	1
	うち素材業種	53	50	62	9	59	-3
	加工業種	48	50	60	12	62	2
	非製造業	29	31	39	10	41	2

# 杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向

出典：(株)東京商工リサーチ調べ

## 1. 企業倒産動向

### [倒産概況]

(負債総額単位：百万円) (対比率は伸び率)

		令和2年	令和3年	令和3年		
		10~12月	7~9月	10~12月	前期比	前年同期比
杉並区	件数	11	3	3	0.0%	-72.7%
	負債総額	1,000	189	630	233.3%	-37.0%
東京都全体	件数	351	263	257	-2.3%	-26.8%
	負債総額	43,488	61,225	87,633	43.1%	101.5%

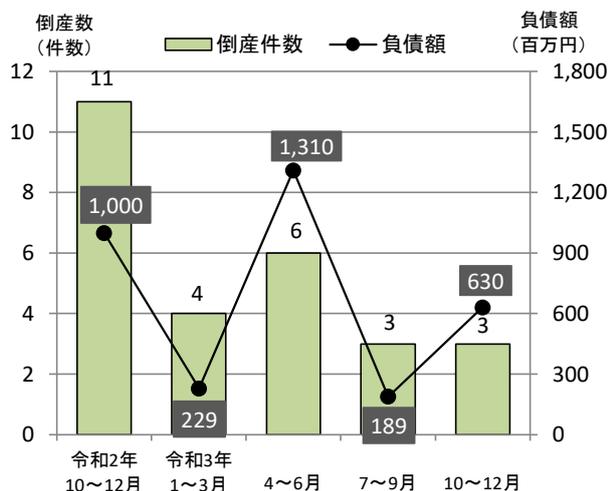
### [業種別倒産概況]

(単位：件) (対比率は伸び率)

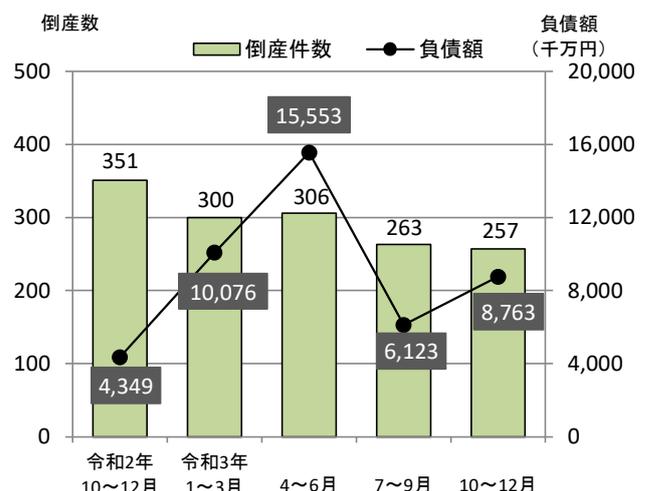
		令和2年	令和3年	令和3年		
		10~12月	7~9月	10~12月	前期比	前年同期比
杉並区	製造業	0	0	0	-	-
	卸売業	0	0	0	-	-
	小売業	1	0	0	-	-100.0%
	サービス業	2	3	0	-100.0%	-100.0%
	建設業	1	0	2	-	100.0%
	不動産業	0	0	0	-	-
	情報通信業・運輸業	2	0	0	-	-100.0%
	宿泊業、飲食サービス業	2	0	1	-	-50.0%
	その他	3	0	0	-	-100.0%
	合計		11	3	3	0.0%
東京都全体	製造業	18	19	26	36.8%	44.4%
	卸売業	53	52	45	-13.5%	-15.1%
	小売業	37	28	31	10.7%	-16.2%
	サービス業	92	58	54	-6.9%	-41.3%
	建設業	38	24	30	25.0%	-21.1%
	不動産業	18	15	16	6.7%	-11.1%
	情報通信業・運輸業	33	41	25	-39.0%	-24.2%
	宿泊業、飲食サービス業	40	14	19	35.7%	-52.5%
	その他	22	12	11	-8.3%	-50.0%
	合計		351	263	257	-2.3%

### [倒産件数と負債額の推移]

#### 《杉並区》



#### 《東京都全体》



## 2. 休廃業・解散動向

### [休廃業概況]

	(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(前期比)	(件数) (構成比)	
	令和3年 7～9月		令和3年 10～12月		前期比	令和3年 1～12月	
杉並区	51	2.4	61	2.5	19.6%	227	2.3
東京都全体	2,093	100.0	2,417	100.0	15.5%	9,829	100.0

### [業種別休廃業概況]

	(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(前期比)	(件数) (構成比)		
	令和3年 7～9月		令和3年 10～12月		前期比	令和3年 1～12月		
杉並区	製造業	4	7.8	9	14.8	125.0%	20	8.8
	卸売業	3	5.9	3	4.9	0.0%	17	7.5
	小売業	3	5.9	9	14.8	200.0%	21	9.3
	サービス業	13	25.5	13	21.3	0.0%	67	29.5
	建設業	5	9.8	6	9.8	20.0%	26	11.5
	不動産業	10	19.6	6	9.8	-40.0%	25	11.0
	情報通信・運輸・郵便業	7	13.7	8	13.1	14.3%	23	10.1
	宿泊業・飲食サービス業	3	5.9	2	3.3	-33.3%	14	6.2
	その他	3	5.9	5	8.2	66.7%	14	6.2
	合計	51	100.0	61	100.0	19.6%	227	100.0
東京都全体	製造業	224	10.7	261	10.8	16.5%	1,063	10.8
	卸売業	179	8.6	215	8.9	20.1%	897	9.1
	小売業	165	7.9	197	8.2	19.4%	789	8.0
	サービス業	605	28.9	630	26.1	4.1%	2,755	28.0
	建設業	139	6.6	166	6.9	19.4%	712	7.2
	不動産業	208	9.9	248	10.3	19.2%	924	9.4
	情報通信・運輸・郵便業	257	12.3	305	12.6	18.7%	1,190	12.1
	宿泊業・飲食サービス業	79	3.8	105	4.3	32.9%	447	4.5
	その他	237	11.3	290	12.0	22.4%	1,052	10.7
	合計	2,093	100.0	2,417	100.0	15.5%	9,829	100.0

### 1. 企業倒産動向

令和3年10月～12月期の倒産件数は257件と前期比2.3%減、杉並区内は前期同様3件であった。

業種別に見ると、上位2業種は前期同様に“サービス業”(54件：21.0%)が最も多く、次いで“卸売業”(45件：17.5%)、“小売業”(31件：12.1%)、“建設業”(30件：11.7%)などとなっている。また、前期に対する増減で見ると、“製造業”(36.8%増)、“宿泊業、飲食サービス業”(35.7%増)、“建設業”(25.0%増)、“小売業”(10.7%増)で10%以上増加したが、“情報通信業・運輸業”(39.0%減)、“卸売業”(13.5%減)で10%以上の減少となった。杉並区内では、前期は“サービス業”の3件であったが、今期は“建設業”が2件、“宿泊業、飲食サービス業”が1件であった。

持続化給付金などの政府支援に加え、各金融機関による無利子・無担保融資、既存融資のモラトリアム対応などの資金繰り支援対策が続いていることで、倒産件数は低い水準で推移している。

### 2. 休廃業・解散動向

令和3年10月～12月期の休廃業・解散件数は2,417件で前期比15.5%の増加となった。杉並区内は61件で前期比19.6%の増加となった。

業種別に見ると、“サービス業”が630件(26.1%)で今期も最も多く、次いで“情報通信・運輸・郵便業”(305件：12.6%)であった。杉並区内でも、“サービス業”が13件(21.3%)で前期同様最も多く、次いで“製造業”(9件・14.8%)であった。

令和3年(1月から12月)の累計で見ると、“サービス業”が2,755件(28.0%)で全体の3割近くを占めている。次いで“情報通信・運輸・郵便業”(1,190件：12.1%)、“製造業”(1,063件：10.8%)となっている。

本報告書をまとめている令和4年1月現在、オミクロン株の急拡大によって内外の先行き不確実性が強まっており、日本銀行では、新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラムを期限である令和4年3月末に終了・縮小した場合のリスクが高まっているとの判断から、中小企業向けに対して期限を令和4年9月末まで延長することを決めた。しかし、コロナ禍の収束は見えていないわけではなく、中小企業の試練はむしろこれからとの見方もある。

注1. 本調査は、主に杉並区の状況について記載しており、グラフでは杉並区と東京都全体の比較をしています。  
 注2. 単数回答の質問の場合、小数点2位で四捨五入しているため、値の合計が100%にならないことがあります。

① 2022年の日本の景気見通し	『良い』21.8% 前年より16.0ポイント増加 『悪い』47.6% 前年より34.1ポイント減少
② 2022年の自社の景況見通し	『良い』10.2% 前年より3.6ポイント増加 『悪い』29.7% 前年より36.7ポイント減少
③ 自社の売上額の対前年比伸び率	『増加』30.0% 前年より16.2ポイント増加 『悪い』14.2% 前年より43.4ポイント減少
④ 自社の業況が上向く転換点	『短期』49.2% 前年より18.4ポイント増加 『長期』18.8% 前年より14.3ポイント減少
⑤ 原材料・仕入価格上昇への対応策等	「価格に転嫁できている・仕入価格は上がらず」23.6% 『上昇分を価格に転嫁できていない』76.4% 「経費の削減」37.8% 「特に対応はしていない」23.6%

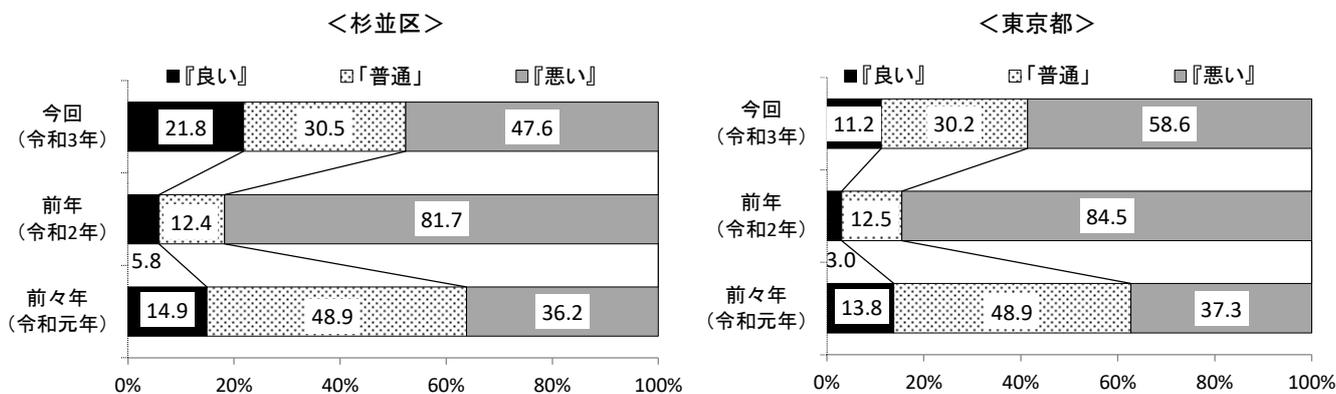
問1. 2022年の日本の景気見通しについて

杉並区内の中小企業を対象に令和4年の経営見通しについて調査した。「非常に良い」「良い」「やや良い」を合わせた『良い』と回答した企業は21.8%となり、前年調査(5.8%)より16.0ポイント増加し、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」を合わせた『悪い』は47.6%となり、前年調査(81.7%)より34.1ポイント減少した。また、「普通」は30.5%(前年調査は12.4%)であった。

業種別に見ると、『良い』とした業種は「小売業」が36.7%で最も高く、次いで「サービス業」(22.6%)、「不動産業」(22.3%)と続き、「卸売業」では0.0%であった。一方、『悪い』は「卸売業」が76.9%で突出して高く、他の業種はすべて4割台であった。

なお、東京都全体との比較では、『良い』とした企業は、東京都全体(11.2%)より本区が10.6ポイント高く、『悪い』とした企業は東京都全体(58.6%)より本区が11.0ポイント低くなっている。

図表1 2022年の日本の景気見通しについて



※回答により 100%にならないこともあります。

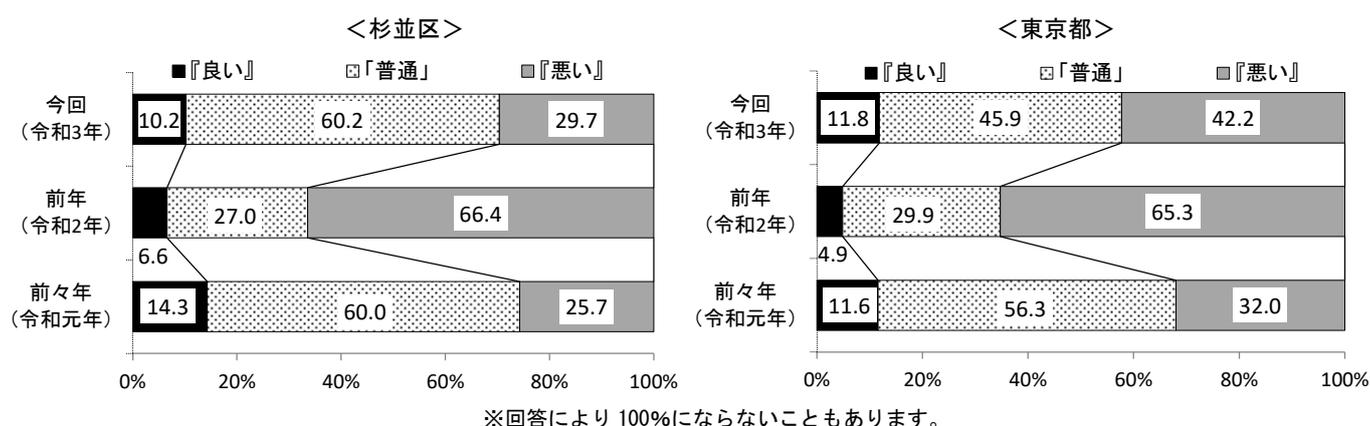
## 問2. 2022年の自社の業況見通しについて

自社の業況見通しについては、「非常に良い」「良い」「やや良い」を合わせて『良い』と回答した企業は10.2%となり、前年調査(6.6%)より3.6ポイント増加し、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」を合わせた『悪い』は29.7%となり、前年調査(66.4%)より36.7ポイント減少した。また、「普通」は60.2%(前年調査は27.0%)であった。

業種別に見ると、『良い』とする業種は「建設業」(19.2%)が最も高く、次いで「小売業」(13.3%)であり、「卸売業」は0.0%であった。一方、『悪い』は「卸売業」が38.5%で最も高く、「不動産業」(22.3%)と「建設業」(23.1%)で2割強と低い割合であった。

なお、東京都全体との比較では、『良い』とした企業は、東京都全体(11.8%)とほぼ同様の割合であったが、『悪い』とした企業は東京都全体(42.2%)より本区が12.5ポイント低くなっている。

図表2 2022年の自社の業況見通しについて



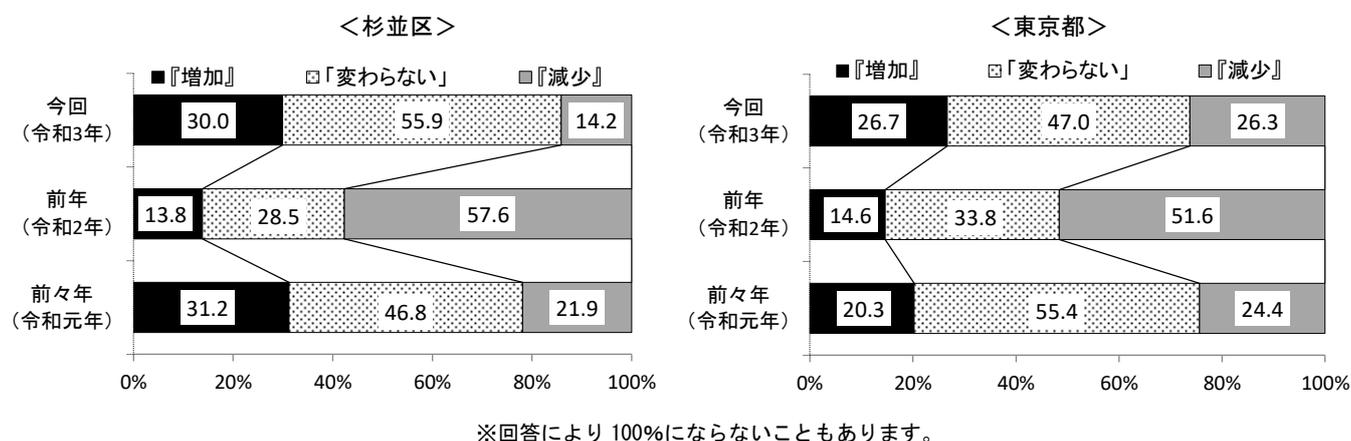
## 問3. 2022年の自社の売上額対前年比伸び率について

売上の『増加』を予想している企業は30.0%であり、前年調査(13.8%)より16.2ポイント増加し、『減少』を予想している企業は14.2%で、前年調査(57.6%)より43.4ポイント減少した。また、「変わらない」と予想している企業は55.9%で最も多く、前年調査(28.5%)より27.4ポイント増加した。

業種別に見ると、『増加』を予想している業種は「卸売業」が38.5%で最も高く、次いで「小売業」(33.3%)となり、「建設業」が11.5%で最も低い割合であった。一方、『減少』を予想している企業は「建設業」が69.2%と突出して高く、他の業種はすべて2割台前半以下の割合であった。

なお、東京都全体との比較では、『増加』を予想している企業は、東京都全体(26.7%)より本区が3.3ポイント高く、『減少』を予想している企業は東京都全体(26.3%)より本区が12.1ポイント低くなっている。

図表3 2022年の自社の売上額対前年比伸び率について



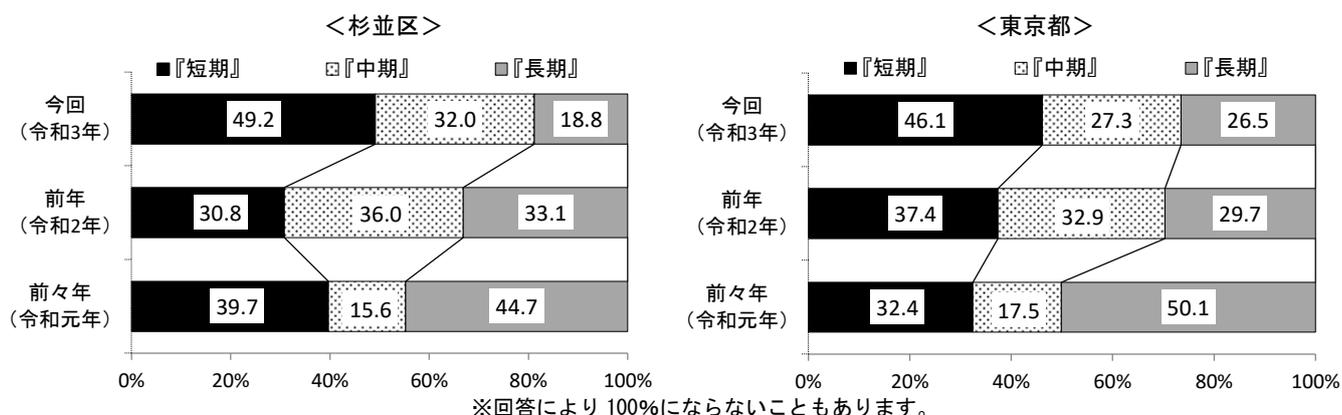
#### 問4. 自社の業況が上向く転換点の見通し

自社の業況が『短期』（「既に上向いている」「6か月以内」「1年後」の和）で上向くと予想する企業は49.2%で、前年調査（30.8%）に比べて18.4ポイント増加している。『中期』（「2年後」「3年後」の和）とする企業は32.0%で、前年調査（36.0%）に比べて4.0ポイント減少している。『長期』（「3年後」「業況改善の見通しは立たない」の和）とする企業は18.8%で、前年調査（33.1%）と比べて14.3ポイントの減少となった。

業種別に見ると、『短期』で上向くと見る割合が高い業種は、「製造業」が60.0%で最も高く、次いで「小売業」（56.7%）であった。『中期』と予想する業種は、「不動産業」（44.5%）が最も高く、『長期』と予想する業種は、「小売業」（23.3%）と「サービス業」（22.6%）が他の業種に比べて高い割合であった。

なお、東京都全体との比較では、『短期』で上向くと見る割合は、東京都全体（46.1%）より本区が3.1ポイント高く、『長期』を予想している企業は東京都全体（26.5%）より本区が7.7ポイント低くなった。

図表4 自社の業況が上向く転換点の見通し



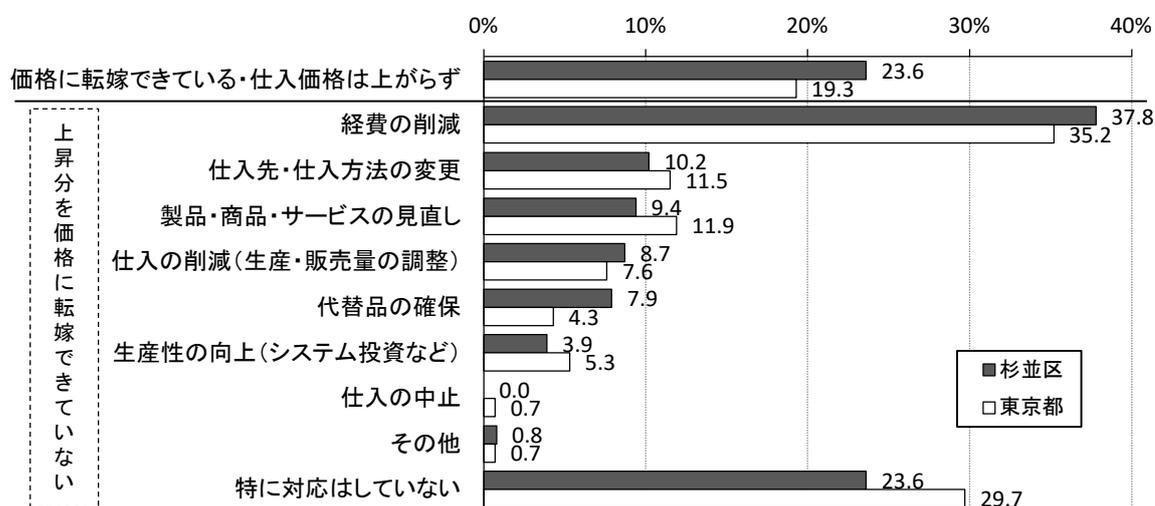
#### 問5. 仕入(調達)価格上昇への対応について

最後に、様々な分野で原材料・仕入れ価格が上昇しているが、この価格上昇分の販売価格への転嫁状況と、転嫁できない場合の対応等について最大3項目まで伺った。

その結果、『上昇分を販売価格に転嫁できていない』（76.4%）で全体の4分の3強を占め、「価格に転嫁できている・仕入価格は上がらず」（23.6%）が全体の4分の1弱であった。上昇分を販売価格に転嫁できていない際に取りられている対応策としては「経費の削減」が37.8%で最も高く、次いで「仕入先・仕入方法の変更」（10.2%）、「製品・商品・サービスの見直し」（9.4%）、「仕入の削減（生産・販売量の調整）」（8.7%）と続き、「特に対応はしていない」は23.6%であった。

業種別では、『上昇分を販売価格に転嫁できていない』は「小売業」（89.7%）が約9割で最も高く、次いで「サービス業」（77.4%）、「卸売業」（76.9%）と続いた。

図表5 仕入(調達)価格上昇への対応について



# 中小企業景況調査 比較表

(令和3年10月～12月期)

## 製造業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-30	-29
売上額		-22	-20
受注残		-9	-19
収益		2	-21
販売価格		-3	-1
原材料価格		-9	28
原材料在庫		2	-3
資金繰り		-2	-16
雇用	残業時間	-20	-8
	人手	0	-9
同期比	売上額	10	-13
	収益	20	-17
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	50	46
	② 利幅の縮小	40	13
	③ 同業者間の競争の激化	40	21
	④ 原材料高	20	24
	⑤ 大手企業との競争の激化	20	7
重点経営施策	① 販路を広げる	90	56
	② 経費を節減する	70	42
	③ 情報力を強化する	20	15
	④ 工場・機械を増設・移転する	10	4
	⑤ 教育訓練を強化する	10	3
借入の難易度		0	-3

### [来期の景況見通し]

業況		-12	-24
売上額		7	-15
受注残		-13	-14
収益		25	-16
販売価格		10	1
原材料価格		3	27
原材料在庫		2	-4
資金繰り		-9	-15
雇用	残業時間	-10	-7
	人手	0	-9

## 卸売業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-53	-30
売上額		-23	-14
収益		-30	-18
販売価格		2	7
仕入価格		33	28
在庫		14	3
資金繰り		-32	-11
雇用	残業時間	0	-4
	人手	-8	-7
同期比	売上額	-15	-8
	収益	8	-14
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	62	46
	② 同業者間の競争の激化	23	27
	③ 取引先の減少	15	9
	④ 利幅の縮小	15	22
	⑤ 人手不足	15	8
重点経営施策	① 販路を広げる	69	62
	② 経費を節減する	39	44
	③ 情報力を強化する	31	20
	④ 人材を確保する	15	9
	⑤ 労働条件を改善する	8	2
借入の難易度		-18	-1

### [来期の景況見通し]

業況		-44	-24
売上額		-19	-12
収益		-15	-15
販売価格		0	6
仕入価格		26	27
在庫		7	0
資金繰り		-30	-11
雇用	残業時間	0	-2
	人手	-8	-7

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 小売業

## [今期の景況]

	全体		家具・建具 ・じゅう器		飲食店		飲食料品		衣服、呉服 身の回り品		
	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	
業況	-34	-37	-	-59	-58	-57	-12	-33	-39	-52	
売上額	-22	-27	-	-38	-46	-38	-20	-26	-37	-37	
収益	-27	-28	-	-36	-40	-37	-32	-27	-36	-36	
販売価格	-8	-2	-	-2	-10	-6	-3	-2	-17	-12	
仕入価格	9	11	-	12	29	20	3	11	-17	-1	
在庫	-5	0	-	-5	-14	-3	-9	1	-18	4	
資金繰り	-22	-20	-	-24	-42	-25	-3	-20	-6	-32	
雇用	残業時間	0	-6	0	3	-10	-15	0	-5	0	-8
	人手	-13	-7	0	0	0	-4	-25	-9	-33	-4
同期比	売上額	-7	-21	0	-40	-30	-24	25	-22	-33	-32
	収益	-10	-23	0	-34	-30	-25	13	-22	-33	-30
経営上の 問題点	販売価格	-3	1	0	0	-10	-6	13	0	-17	-8
	① 売上の停滞・減少	50	47	-	47	60	59	25	47	83	64
	② 商店街の集客力の低下	33	15	-	8	40	16	13	15	67	21
	③ 同業者間の競争の激化	23	20	-	18	-	18	38	21	17	16
	④ 人手不足	23	9	-	5	10	11	38	9	33	6
⑤ 大型店との競争の激化	20	22	-	32	-	10	50	27	17	17	
重点経営 施策	① 経費を節減する	37	41	-	29	40	49	38	44	17	30
	② 商店街事業を活性化させる	33	13	100	8	20	13	-	15	83	20
	③ 宣伝・広告を強化する	33	22	-	13	10	23	25	21	67	25
	④ 人材を確保する	23	7	-	3	20	10	38	8	33	4
	⑤ 品揃えを改善する	10	28	-	29	-	16	38	28	-	35
借入の難易度	4	-6	-100	7	11	-11	20	-8	0	-14	

## [来期の景況見通し]

業況	-31	-33	-	-63	-47	-44	-15	-31	-38	-43	
売上額	-26	-20	-	-51	-41	-21	-26	-22	-35	-24	
収益	-28	-22	-	-44	-35	-24	-40	-22	-31	-27	
販売価格	-10	0	-	0	-5	-2	-14	0	-17	-11	
仕入価格	4	10	-	12	27	18	-14	11	0	1	
在庫	-5	0	-	-8	-2	-3	-10	0	-6	4	
資金繰り	-17	-18	-	-24	-45	-23	-4	-19	-3	-27	
雇用	残業時間	0	-5	0	3	0	-10	0	-5	0	-10
	人手	-13	-7	0	0	0	-5	-25	-7	-33	-4

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# サービス業

## [今期の景況]

		全 体		洗濯、理容 美容業		自動車整備業 駐車場業	
		杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都
業況		-38	-29	-38	-45	-32	-27
売上額		-23	-20	-18	-36	-11	-15
収益		-30	-21	-30	-34	-7	-18
料金価格		0	-1	-11	-2	-2	-3
材料価格		12	14	11	11	0	15
資金繰り		-21	-14	-14	-24	-22	-13
雇 用	残業時間	-10	-9	-9	-10	0	-2
	人手	-13	-15	-18	-4	-33	-15
同 期 比	売上額	-26	-12	-27	-30	17	-9
	収益	-29	-14	-27	-30	17	-13
経 営 上 の 問 題 点	① 売上の停滞・減少	52	46	64	53	33	38
	② 同業者間の競争の激化	29	30	55	36	33	27
	③ 人手不足	16	19	18	7	33	17
	④ 人件費の増加	13	12	-	5	17	5
	⑤ 利幅の縮小	13	11	-	6	17	12
重 点 経 営 施 策	① 経費を節減する	52	39	64	41	33	35
	② 販路を広げる	52	41	46	26	17	43
	③ 宣伝・広告を強化する	23	20	27	32	17	12
	④ 人材を確保する	13	19	-	5	33	10
	⑤ 技術力を強化する	13	13	27	11	17	18
借入の難易度		8	-1	0	-9	-25	2

## [来期の景況見通し]

業況		-24	-25	-30	-38	16	-22
売上額		-10	-12	-25	-26	15	-11
収益		-15	-13	-32	-25	18	-14
料金価格		-5	0	-12	-2	-12	-2
材料価格		15	14	15	11	15	16
資金繰り		-12	-12	-8	-21	-14	-10
雇 用	残業時間	-7	-8	-9	-8	0	-3
	人手	-13	-15	-18	-4	-33	-14

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 建設業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-5	-11
売上額		-13	-10
受注残		-11	-8
施工高		-2	-7
収益		-7	-15
請負価格		8	1
材料価格		44	41
在庫		-6	-5
資金繰り		-8	-4
雇用	残業時間	-4	-3
	人手	-20	-24
同期比	売上額	-12	-5
	収益	-12	-11
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	50	37
	② 人手不足	35	32
	③ 売上の停滞・減少	31	31
	④ 同業者間の競争の激化	23	26
	⑤ 利幅の縮小	15	15
重点経営施策	① 経費を節減する	50	41
	② 技術力を高める	39	20
	③ 人材を確保する	35	35
	④ 販路を広げる	31	41
	⑤ 情報力を強化する	23	17
借入の難易度		0	6

### [来期の景況見通し]

業況		-5	-11
売上額		-4	-6
受注残		-2	-5
施工高		9	-3
収益		-3	-12
請負価格		0	1
材料価格		35	40
在庫		-10	-5
資金繰り		-1	-5
雇用	残業時間	0	-3
	人手	-28	-25

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 不動産業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-14	-10
売上額		-26	-11
収益		-16	-10
販売価格		8	9
仕入価格		19	23
在庫		2	-14
資金繰り		-2	-1
雇用	残業時間	-11	-7
	人手	-11	-6
同期比	売上額	-28	-7
	収益	-28	-7
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	44	32
	② 商品物件の不足	33	33
	③ 売上の停滞・減少	28	24
	④ 商品物件の高騰	17	21
	⑤ 利幅の縮小	17	14
重点経営施策	① 情報力を強化する	50	44
	② 宣伝・広告を強化する	44	23
	③ 経費を節減する	33	28
	④ 不動産の有効活用を図る	28	12
	⑤ 販路を広げる	28	30
借入の難易度		14	5

### [来期の景況見通し]

業況		-19	-14
売上額		-16	-13
収益		-6	-12
販売価格		1	6
仕入価格		7	18
在庫		4	-16
資金繰り		-2	-3
雇用	残業時間	-11	-6
	人手	-17	-6

# 中小企業景況調査 転記表

(令和3年10月～12月期)

製造業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年10月～12月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月～3月期
		1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期						
業 況	良	9.1	20.0	-	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	10.0		-
	普通	54.5	60.0	9.1	81.8	36.4	18.2	54.5	40.0	45.5	72.7	54.5	63.6	50.0	63.6	70.0	60.0		90.0
	悪い	36.4	20.0	90.9	9.1	63.6	72.7	45.5	60.0	54.5	27.3	45.5	36.4	40.0	36.4	30.0	30.0		10.0
	D・I	-27.3	0.0	-90.9	0.0	-63.6	-63.6	-45.5	-60.0	-54.5	-27.3	-45.5	-36.4	-30.0	-36.4	-30.0	-20.0		-10.0
	修正値	-31.3	3.6	-90.6	-2.8	-63.7	-62.5	-43.6	-59.6	-56.9	-28.1	-42.0	-39.7	-30.5	-31.0	-29.9	-17.1	0.6	-12.1
	傾向値	-3.8		-20.7		-40.9		-52.3		-60.2		-58.0		-48.1		-41.9			
売 上 額	増	18.2	30.0	-	18.2	9.1	9.1	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	10.0	10.0		20.0
	変	63.6	70.0	18.2	72.7	27.3	27.3	45.5	45.5	45.5	72.7	45.4	72.7	40.0	63.6	60.0	70.0		80.0
	減	18.2	-	81.8	9.1	63.6	63.6	54.5	54.5	54.5	27.3	45.5	27.3	40.0	36.4	30.0	20.0		-
	D・I	0.0	30.0	-81.8	9.1	-54.5	-54.5	-54.5	-54.5	-54.5	-27.3	-36.4	-27.3	-20.0	-36.4	-20.0	-10.0		20.0
	修正値	-3.5	26.1	-80.2	10.9	-54.0	-53.3	-53.7	-52.1	-55.5	-31.0	-32.1	-29.1	-22.0	-31.7	-21.9	-4.5	0.1	7.3
	傾向値	9.7		-3.8		-24.0		-39.8		-54.5		-55.7		-45.7		-37.0			
受 注 残	増	18.2	20.0	-	18.2	10.0	9.1	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	20.0	10.0		10.0
	変	72.7	80.0	18.2	72.7	30.0	27.3	36.4	50.0	36.4	54.5	36.4	63.6	40.0	54.5	50.0	60.0		70.0
	減	9.1	-	81.8	9.1	60.0	63.6	63.6	50.0	63.6	45.5	54.5	36.4	40.0	45.5	30.0	30.0		20.0
	D・I	9.1	20.0	-81.8	9.1	-50.0	-54.5	-63.6	-50.0	-63.6	-45.5	-45.4	-36.4	-20.0	-45.5	-10.0	-20.0		-10.0
	修正値	3.6	16.2	-80.4	9.8	-48.6	-54.9	-60.8	-45.6	-65.1	-45.7	-42.5	-38.3	-22.5	-43.2	-8.5	-15.2	14.0	-12.5
	傾向値	5.3		-5.9		-24.4		-38.6		-55.7		-60.2		-51.9		-41.5			
収 益	増	9.1	20.0	-	18.2	-	9.1	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	20.0	-		30.0
	変	72.7	60.0	27.3	63.6	36.4	36.4	45.5	45.5	45.5	63.6	45.4	72.7	60.0	72.7	60.0	90.0		70.0
	減	18.2	20.0	72.7	18.2	63.6	54.5	54.5	54.5	54.5	36.4	45.5	27.3	20.0	27.3	20.0	10.0		-
	D・I	-9.1	0.0	-72.7	0.0	-63.6	-45.4	-54.5	-54.5	-54.5	-36.4	-36.4	-27.3	0.0	-27.3	0.0	-10.0		30.0
	修正値	-15.9	1.9	-71.2	-4.6	-61.4	-46.9	-52.1	-49.8	-57.5	-34.5	-34.4	-32.9	-2.7	-27.1	1.6	-4.1	4.3	25.1
	傾向値	2.8		-9.5		-29.6		-44.3		-55.7		-56.8		-44.3		-29.5			
価 格 動 向	販売価格	0.0	0.0	-18.2	9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-18.2	-9.1	-9.1	-10.0	-9.1	0.0	-10.0		10.0
	修正値	0.6	0.0	-19.1	6.9	-9.5	-9.7	-7.8	-8.5	-7.9	-16.8	-8.6	-11.0	-9.7	-9.3	-2.6	-8.8	7.1	10.0
	傾向値	10.6		5.2		-2.4		-6.8		-10.2		-10.2		-9.2		-8.2			
	原材料価格	18.2	10.0	-9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	10.0		0.0
	修正値	18.1	13.4	-6.9	17.1	3.4	2.7	1.1	1.7	-1.8	-5.9	2.5	-3.5	3.7	1.2	-9.3	12.5	-13.0	3.1
	傾向値	24.8		19.4		11.0		4.6		0.0		-1.1		0.0		-1.3			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	0.0	0.0	-9.1	0.0	9.1	-9.1	-9.1	9.1	9.1	-9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	修正値	-0.3	-1.2	-9.3	0.8	6.0	-7.6	-9.0	5.1	7.6	-10.2	1.1	6.9	-2.2	1.1	1.5	-2.2	3.7	1.5
	資金繰り	-18.2	-20.0	-63.6	-9.1	-45.5	-54.5	-9.1	-45.5	0.0	-9.1	0.0	0.0	30.0	-9.1	0.0	20.0		-10.0
修正値	-22.1	-18.9	-59.7	-13.7	-44.2	-51.3	-13.7	-43.6	-8.8	-11.1	6.8	-10.4	26.7	-4.1	-1.9	20.1	-28.6	-9.2	
前 年 同 期 比	売上額	0.0		-90.9		-63.6		-72.7		-45.4		-27.3		-20.0		10.0			
	収益	-9.1		-81.8		-54.5		-72.7		-45.4		-18.2		20.0		20.0			
雇 用	残業時間	-9.1	10.0	-36.4	-9.1	-18.2	-18.2	-9.1	0.0	-27.3	-9.1	-27.3	-27.3	-20.0	-18.2	-20.0	-10.0		-10.0
	人手	-27.3	-20.0	-27.3	-27.3	-18.2	-27.3	-9.1	-18.2	0.0	-9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	36.4	30.0	27.3	27.3	27.3	63.6	36.4	36.4	27.3	18.2	27.3	27.3	30.0	9.1	30.0	30.0		10.0
	借入しない/借入の予定なし(%)	63.6	70.0	72.7	72.7	72.7	36.4	63.6	63.6	72.7	81.8	72.7	72.7	70.0	90.9	70.0	70.0		90.0
	借入難易度	0.0		11.1		20.0		11.1		20.0		20.0		0.0		0.0			
有効回答事業所数		11		11		11		11		11		11		10		10			

製造業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年10月~12月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月~3月期
		1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-10.0	-9.1	0.0	-18.2	-9.1	-18.2	-18.2	0.0	-18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0		11.1
	実施した・予定あり	18.2	12.5	18.2	20.0	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1	10.0	9.1	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	事業用土地・建物	50.0	100.0	50.0	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	-	100.0	-	-	-	-	-	-		-
	機械・設備の新・増設	50.0	-	50.0	50.0	33.3	50.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	機械・設備の更改	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	事務機器	-	-	-	-	33.3	-	50.0	33.3	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-		-
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	81.8	87.5	81.8	80.0	72.7	81.8	81.8	72.7	90.9	90.0	90.9	100.0	90.0	100.0	100.0	100.0		100.0
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	45.5	-	63.6	-	63.6	-	63.6	-	63.6	-	72.7	-	60.0	-	50.0	-	
人手不足		27.3	-	-	-	9.1	-	18.2	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-		-
大手企業との競争の激化		18.2	-	18.2	-	18.2	-	18.2	-	27.3	-	27.3	-	30.0	-	20.0	-		-
同業者間の競争の激化		27.3	-	18.2	-	27.3	-	27.3	-	18.2	-	27.3	-	30.0	-	40.0	-		-
親企業による選別の強化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
輸入製品との競争の激化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
合理化の不足		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-		-
利幅の縮小		27.3	-	27.3	-	27.3	-	36.4	-	36.4	-	45.5	-	50.0	-	40.0	-		-
原材料高		27.3	-	27.3	-	18.2	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	10.0	-	20.0	-		-
販売納入先からの値下げ要請		9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-		-
仕入先からの値上げ要請		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-		-
人件費の増加		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
人件費以外の経費増加		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
工場・機械の狭小・老朽化		9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	10.0	-	10.0	-		-
生産能力の不足		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
下請の確保難		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
代金回収の悪化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
地価の高騰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
天候の不順		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-		-
地場産業の衰退		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
大手企業・工場の縮小・撤退		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
為替レートの変動		9.1	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-		-
その他		9.1	-	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
問題なし		-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-		-
重点経営施策(%)		販路を広げる	90.9	-	90.9	-	90.9	-	90.9	-	90.9	-	100.0	-	100.0	-	90.0	-	
	経費を節減する	36.4	-	36.4	-	45.5	-	54.5	-	63.6	-	63.6	-	70.0	-	70.0	-		-
	情報力を強化する	9.1	-	-	-	9.1	-	-	-	9.1	-	9.1	-	10.0	-	20.0	-		-
	新製品・技術を開発する	9.1	-	9.1	-	18.2	-	-	-	9.1	-	9.1	-	10.0	-	-	-		-
	不採算部門を整理・縮小する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	提携先を見つける	18.2	-	18.2	-	18.2	-	18.2	-	27.3	-	18.2	-	10.0	-	10.0	-		-
	機械化を推進する	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	人材を確保する	36.4	-	18.2	-	9.1	-	27.3	-	9.1	-	9.1	-	20.0	-	10.0	-		-
	パート化を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	教育訓練を強化する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	10.0	-		-
	労働条件を改善する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	工場・機械を増設・移転する	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	10.0	-	10.0	-		-
	不動産の有効活用を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	その他	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	特になし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
有効回答事業所数	11		11		11		11		11		11		10		10				

卸売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年10月～12月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月～3月期
	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期				
業 況	良	6.7	-	-	-	-	6.7	-	7.1	-	6.7	7.1	7.7	-	7.7	7.7				
	普 通	60.0	53.3	28.6	46.7	46.7	28.6	46.6	46.7	28.6	50.0	40.0	35.7	46.1	46.7	30.8	38.5		53.8	
	悪	33.3	46.7	71.4	53.3	53.3	71.4	46.7	53.3	64.3	50.0	53.3	57.2	46.2	53.3	61.5	53.8		46.2	
	D・I	-26.6	-46.7	-71.4	-53.3	-53.3	-71.4	-40.0	-53.3	-57.2	-50.0	-46.6	-50.1	-38.5	-53.3	-53.8	-46.1		-46.2	
	修正値	<b>-25.5</b>	<b>-42.5</b>	<b>-70.1</b>	<b>-51.4</b>	<b>-50.6</b>	<b>-70.0</b>	<b>-38.0</b>	<b>-55.1</b>	<b>-54.6</b>	<b>-46.2</b>	<b>-41.8</b>	<b>-46.6</b>	<b>-39.0</b>	<b>-49.3</b>	<b>-53.1</b>	<b>-49.4</b>	<b>-14.1</b>	<b>-43.8</b>	
	傾向値	-26.5		-32.5		-42.6		-47.0		-51.7		-52.4		-47.4		-47.3				
売 上 額	増 加	13.3	13.3	14.3	6.7	6.7	7.1	6.7	-	7.1	-	6.7	14.3	7.7	6.7	15.4	7.7		7.7	
	変 ら ず	53.4	53.4	21.4	53.3	20.0	21.4	40.0	40.0	28.6	40.0	53.3	35.7	53.8	66.6	38.5	53.8		61.5	
	減 少	33.3	33.3	64.3	40.0	73.3	71.5	53.3	60.0	64.3	60.0	40.0	50.0	38.5	26.7	46.1	38.5		30.8	
	D・I	-20.0	-20.0	-50.0	-33.3	-66.6	-64.4	-46.6	-60.0	-57.2	-60.0	-33.3	-35.7	-30.8	-20.0	-30.7	-30.8		-23.1	
	修正値	<b>-17.4</b>	<b>-18.5</b>	<b>-51.4</b>	<b>-32.8</b>	<b>-65.6</b>	<b>-60.1</b>	<b>-40.3</b>	<b>-60.3</b>	<b>-54.9</b>	<b>-57.2</b>	<b>-35.0</b>	<b>-36.6</b>	<b>-32.0</b>	<b>-15.5</b>	<b>-23.3</b>	<b>-33.3</b>	<b>8.7</b>	<b>-19.1</b>	
	傾向値	-19.3		-24.2		-34.8		-43.3		-50.5		-53.0		-46.5		-40.0				
収 益	増 加	13.3	6.7	7.1	6.7	6.7	7.1	6.7	-	7.1	-	6.7	14.3	7.7	6.7	15.4	7.7		15.4	
	変 ら ず	53.4	60.0	28.6	53.3	26.7	21.4	53.3	33.3	28.6	53.3	46.6	35.7	53.8	60.0	38.5	53.8		53.8	
	減 少	33.3	33.3	64.3	40.0	66.6	71.5	40.0	66.7	64.3	46.7	46.7	50.0	38.5	33.3	46.1	38.5		30.8	
	D・I	-20.0	-26.6	-57.2	-33.3	-59.9	-64.4	-33.3	-66.7	-57.2	-46.7	-40.0	-35.7	-30.8	-26.6	-30.7	-30.8		-15.4	
	修正値	<b>-15.9</b>	<b>-22.2</b>	<b>-58.7</b>	<b>-34.2</b>	<b>-57.9</b>	<b>-61.6</b>	<b>-28.9</b>	<b>-65.8</b>	<b>-53.5</b>	<b>-42.9</b>	<b>-40.1</b>	<b>-37.0</b>	<b>-29.8</b>	<b>-23.3</b>	<b>-29.5</b>	<b>-30.8</b>	<b>0.3</b>	<b>-14.7</b>	
	傾向値	-26.5		-30.7		-39.0		-42.6		-47.3		-49.8		-44.0		-40.0				
価 格 動 向	販売価格	-6.6	-13.3	0.0	-6.6	-13.3	-7.2	-13.3	-13.3	-14.3	-13.3	-6.6	-21.5	0.0	-6.6	0.0	0.0		0.0	
	修正値	<b>-5.4</b>	<b>-12.4</b>	<b>1.6</b>	<b>-2.6</b>	<b>-11.4</b>	<b>-5.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-13.0</b>	<b>-13.3</b>	<b>-12.6</b>	<b>-7.3</b>	<b>-17.5</b>	<b>-0.7</b>	<b>-6.6</b>	<b>1.8</b>	<b>-1.0</b>	<b>2.5</b>	<b>0.0</b>	
	傾向値	-7.3		-6.5		-6.6		-8.3		-9.3		-11.1		-10.2		-6.9				
	仕入価格	26.7	6.6	35.7	33.3	6.6	28.6	6.6	20.0	21.4	0.0	20.0	7.1	15.4	26.7	30.8	15.4		23.1	
	修正値	<b>26.1</b>	<b>8.8</b>	<b>32.3</b>	<b>34.9</b>	<b>13.8</b>	<b>25.2</b>	<b>12.9</b>	<b>24.9</b>	<b>19.1</b>	<b>4.2</b>	<b>15.2</b>	<b>7.7</b>	<b>21.6</b>	<b>19.3</b>	<b>33.2</b>	<b>17.4</b>	<b>11.6</b>	<b>25.7</b>	
	傾向値	20.7		22.3		22.1		19.7		18.2		15.6		14.8		18.9				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	13.3	-6.7	7.1	6.6	-13.3	0.0	-13.3	-13.3	0.0	-20.0	6.7	7.1	7.7	6.7	7.7	7.7		0.0	
	修正値	<b>12.3</b>	<b>-3.9</b>	<b>6.7</b>	<b>7.8</b>	<b>-12.2</b>	<b>-2.2</b>	<b>-7.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-2.9</b>	<b>-15.8</b>	<b>1.7</b>	<b>4.3</b>	<b>8.0</b>	<b>1.5</b>	<b>14.1</b>	<b>8.4</b>	<b>6.1</b>	<b>6.5</b>	
	資金繰り	-13.4	-20.0	-50.1	-33.3	-40.0	-57.2	-26.6	-40.0	-21.4	-40.0	-13.3	-7.2	-30.8	-13.3	-30.8	-30.8		-30.8	
	修正値	<b>-6.6</b>	<b>-20.6</b>	<b>-48.6</b>	<b>-24.7</b>	<b>-40.7</b>	<b>-56.1</b>	<b>-28.2</b>	<b>-41.9</b>	<b>-19.1</b>	<b>-41.5</b>	<b>-13.3</b>	<b>-4.1</b>	<b>-30.2</b>	<b>-13.8</b>	<b>-31.8</b>	<b>-30.1</b>	<b>-1.6</b>	<b>-29.6</b>	
前 年 同 期 比	売上額	-13.3		-64.3		-59.9		-40.1		-57.2		-26.7		-15.4		-15.4				
	収 益	-26.6		-64.4		-59.9		-40.1		-57.2		-40.0		-23.1		7.7				
	販売価格	-6.6		-21.5		-13.3		-26.7		-7.1		-6.6		0.0		7.7				
雇 用	残業時間	13.3	0.0	-28.6	-6.7	-20.0	-21.4	-20.0	-20.0	-21.4	-6.6	-6.7	-7.2	-7.7	-6.7	0.0	-7.7		0.0	
	人 手	-20.0	-20.0	7.1	-20.0	-14.3	0.0	-14.3	-15.4	7.7	-14.3	0.0	7.7	-8.4	-7.2	-8.4	-16.7		-8.4	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	13.3	0.0	28.6	6.7	33.3	28.6	26.7	13.3	28.6	6.7	6.7	7.1	0.0	0.0	30.8	0.0		15.4	
	借入しない/借入の予定なし(%)	86.7	100.0	71.4	93.3	66.7	71.4	73.3	86.7	71.4	93.3	93.3	92.9	100.0	100.0	69.2	100.0		84.6	
	借入難易度	<b>-33.3</b>		<b>-33.3</b>		<b>-21.5</b>		<b>-21.5</b>		<b>-23.1</b>		<b>-21.5</b>		<b>-25.0</b>		<b>-18.2</b>				
有効回答事業所数	15		14		15		15		14		15		13		13					

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月～3月期
	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-7.2	-6.6	-7.1	-7.2	-20.0	-14.3	-13.3	-20.0	-21.4	-13.3	-13.3	-14.3	-7.7	-13.3	-8.3	-15.4		-8.3	
	実施した・予定あり	13.3	6.7	14.3	20.0	13.3	7.1	13.3	13.3	7.1	13.3	21.4	14.3	7.7	14.3	7.7	7.7		23.1	
	事業用土地・建物	50.0	100.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0		-	
	機械・設備の新・増設	-	-	-	33.3	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	33.3	50.0	-	50.0	-	-		-	
	機械・設備の更改	50.0	100.0	50.0	66.7	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	66.7	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0		33.3	
	事務機器	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	100.0	-		-	
	車両	-	-	50.0	33.3	50.0	100.0	50.0	-	-	-	33.3	-	-	50.0	-	-		33.3	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-		33.3	
	実施しない・予定なし	86.7	93.3	85.7	80.0	86.7	92.9	86.7	86.7	92.9	86.7	78.6	85.7	92.3	85.7	92.3	92.3		76.9	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	40.0		28.6		40.0		53.3		64.3		66.7		61.5		61.5			
人手不足		26.7		21.4		13.3		13.3		14.3		6.7		7.7		15.4				
同業者間の競争の激化		33.3		21.4		26.7		33.3		35.7		33.3		38.5		23.1				
輸入品との競争の激化		6.7		7.1		6.7		6.7		7.1		6.7		-		-				
流通経路の変化による競争の激化		6.7		-		6.7		-		7.1		6.7		7.7		-				
合理化の不足		13.3		-		6.7		-		-		6.7		-		-				
小口注文・多頻度配送の増加		6.7		-		-		-		-		-		7.7		7.7				
利幅の縮小		6.7		21.4		20.0		13.3		7.1		20.0		30.8		15.4				
取扱商品の陳腐化		-		-		-		-		-		-		-		-				
販売商品の不足		6.7		-		6.7		13.3		7.1		-		-		7.7				
販売納入先からの値下げ要請		-		7.1		-		-		7.1		6.7		-		-				
仕入先からの値上げ要請		6.7		7.1		13.3		-		14.3		6.7		15.4		7.7				
人件費の増加		-		-		-		-		-		-		7.7		-				
人件費以外の経費の増加		6.7		7.1		6.7		6.7		7.1		-		-		7.7				
取引先の減少		13.3		7.1		13.3		20.0		21.4		13.3		7.7		15.4				
店舗の狭小・老朽化		-		-		6.7		-		-		-		7.7		-				
代金回収の悪化		6.7		-		-		-		-		6.7		-		-				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-				
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		6.7		-		-				
天候の不順		6.7		-		-		-		-		-		7.7		-				
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-				
為替レートの変動		13.3		14.3		13.3		13.3		14.3		13.3		7.7		7.7				
大手企業・工場の縮小・撤退	6.7		14.3		13.3		13.3		7.1		13.3		7.7		7.7					
その他	13.3		35.7		13.3		13.3		21.4		13.3		7.7		15.4					
問題なし	6.7		7.1		6.7		-		-		-		-		-					
重点経営施策(%)	販路を広げる	66.7		50.0		60.0		60.0		78.6		66.7		69.2		69.2				
	経費を節減する	66.7		57.1		60.0		53.3		57.1		60.0		61.5		38.5				
	品揃えを充実する	6.7		-		13.3		6.7		7.1		6.7		-		7.7				
	情報力を強化する	6.7		28.6		26.7		26.7		35.7		33.3		23.1		30.8				
	新しい事業を始める	13.3		7.1		6.7		-		-		6.7		-		-				
	提携先を見つける	13.3		-		-		6.7		-		6.7		7.7		7.7				
	機械化を推進する	-		-		-		-		14.3		-		7.7		-				
	人材を確保する	13.3		-		13.3		13.3		14.3		6.7		15.4		15.4				
	パート化を図る	6.7		-		6.7		6.7		-		-		-		7.7				
	教育訓練を強化する	-		14.3		6.7		13.3		-		6.7		-		-				
	流通経路の見直しをする	6.7		-		6.7		-		14.3		13.3		7.7		7.7				
	取引先を支援する	6.7		7.1		-		6.7		-		6.7		7.7		7.7				
	輸入品の取扱いを増やす	-		7.1		6.7		6.7		-		-		-		-				
	労働条件を改善する	13.3		-		6.7		6.7		7.1		6.7		7.7		7.7				
	不動産の有効活用を図る	6.7		-		6.7		6.7		7.1		-		-		-				
	その他	-		14.3		-		-		-		-		-		-				
特になし	13.3		14.3		13.3		13.3		7.1		6.7		7.7		7.7					
有効回答事業所数	15		14		15		15		14		15		13		13					

小売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年10月～12月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月～3月期		
		1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期				
業 況	良	8.6	5.6	3.0	3.0	5.9	3.1	8.8	2.9	12.1	5.9	6.1	12.1	16.1	3.0	10.0	9.7		6.7
	普	71.4	69.4	30.3	81.8	26.5	37.5	26.5	41.2	36.4	38.2	39.4	30.3	32.3	36.4	46.7	32.3		56.6
	悪	20.0	25.0	66.7	15.2	67.6	59.4	64.7	55.9	51.5	55.9	54.5	57.6	51.6	60.6	43.3	58.0		36.7
	D・I	-11.4	-19.4	-63.7	-12.2	-61.7	-56.3	-55.9	-53.0	-39.4	-50.0	-48.4	-45.5	-35.5	-57.6	-33.3	-48.3		-30.0
	修正値	<b>-12.8</b>	<b>-17.4</b>	<b>-59.3</b>	<b>-14.8</b>	<b>-58.8</b>	<b>-51.4</b>	<b>-55.7</b>	<b>-51.7</b>	<b>-44.4</b>	<b>-48.2</b>	<b>-42.7</b>	<b>-48.8</b>	<b>-32.9</b>	<b>-51.9</b>	<b>-34.1</b>	<b>-47.5</b>	<b>-1.2</b>	<b>-30.8</b>
	傾向値	-20.5		-25.1		-36.2		-44.7		-51.7		-53.3		-48.1		-42.0			
売 上 額	増	8.6	8.3	6.1	14.3	2.9	-	8.8	8.8	12.1	5.9	3.0	6.1	12.9	3.0	13.3	9.7		10.0
	変	74.3	77.8	24.2	71.4	29.4	33.3	26.5	35.3	33.3	41.2	51.5	42.4	41.9	48.5	56.7	48.4		56.7
	減	17.1	13.9	69.7	14.3	67.7	66.7	64.7	55.9	54.6	52.9	45.5	51.5	45.2	48.5	30.0	41.9		33.3
	D・I	-8.5	-5.6	-63.6	0.0	-64.8	-66.7	-55.9	-47.1	-42.5	-47.0	-42.5	-45.4	-32.3	-45.5	-16.7	-32.2		-23.3
	修正値	<b>-4.7</b>	<b>-5.1</b>	<b>-59.1</b>	<b>-1.1</b>	<b>-62.2</b>	<b>-61.0</b>	<b>-56.6</b>	<b>-46.6</b>	<b>-43.1</b>	<b>-46.5</b>	<b>-35.9</b>	<b>-47.7</b>	<b>-29.3</b>	<b>-34.9</b>	<b>-22.1</b>	<b>-32.3</b>	<b>7.2</b>	<b>-26.0</b>
	傾向値	-11.4		-15.7		-29.3		-42.3		-52.5		-54.1		-47.4		-38.4			
収 益	増	2.9	5.6	6.1	8.6	-	-	8.8	8.8	12.1	5.9	3.0	6.1	9.7	3.0	6.7	9.7		6.7
	変	77.1	75.0	24.2	74.3	32.4	39.4	29.4	38.2	33.3	44.1	48.5	42.4	48.4	45.5	63.3	51.6		60.0
	減	20.0	19.4	69.7	17.1	67.6	60.6	61.8	53.0	54.6	50.0	48.5	51.5	41.9	51.5	30.0	38.7		33.3
	D・I	-17.1	-13.8	-63.6	-8.5	-67.6	-60.6	-53.0	-44.2	-42.5	-44.1	-45.5	-45.4	-32.2	-48.5	-23.3	-29.0		-26.6
	修正値	<b>-14.0</b>	<b>-12.8</b>	<b>-59.7</b>	<b>-9.5</b>	<b>-65.8</b>	<b>-55.0</b>	<b>-53.0</b>	<b>-44.4</b>	<b>-44.1</b>	<b>-42.7</b>	<b>-40.2</b>	<b>-47.4</b>	<b>-29.8</b>	<b>-40.0</b>	<b>-26.6</b>	<b>-29.6</b>	<b>3.2</b>	<b>-27.8</b>
	傾向値	-18.7		-24.1		-36.3		-46.5		-53.5		-54.4		-47.7		-39.6			
価 格 動 向	販売価格	-14.3	-11.1	-18.2	-8.5	-23.5	-15.2	-5.9	-8.8	-3.1	-5.9	0.0	-12.1	0.0	0.0	-6.7	0.0		-10.0
	修正値	<b>-12.8</b>	<b>-12.0</b>	<b>-16.1</b>	<b>-7.0</b>	<b>-19.6</b>	<b>-12.8</b>	<b>-8.2</b>	<b>-8.4</b>	<b>-3.3</b>	<b>-6.3</b>	<b>0.0</b>	<b>-10.1</b>	<b>3.2</b>	<b>0.9</b>	<b>-8.0</b>	<b>-0.9</b>	<b>-11.2</b>	<b>-9.5</b>
	傾向値	-4.9		-7.9		-12.5		-15.1		-14.1		-10.4		-5.2		-2.4			
	仕入価格	0.0	5.6	-24.3	0.0	0.0	-15.2	-11.8	5.9	3.0	-5.9	3.0	-3.0	19.4	0.0	6.7	12.9		3.3
	修正値	<b>2.9</b>	<b>5.0</b>	<b>-20.7</b>	<b>4.0</b>	<b>-0.4</b>	<b>-11.7</b>	<b>-11.2</b>	<b>4.1</b>	<b>3.1</b>	<b>-6.1</b>	<b>7.0</b>	<b>-0.8</b>	<b>14.9</b>	<b>3.7</b>	<b>9.0</b>	<b>8.6</b>	<b>-5.9</b>	<b>3.8</b>
	傾向値	5.6		1.5		-3.6		-6.9		-8.7		-4.9		1.0		5.7			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	2.9	-8.3	-9.1	-2.8	3.0	-3.0	11.8	0.0	15.2	8.8	18.2	12.2	9.7	15.2	-6.7	6.5		-6.7
	修正値	<b>2.9</b>	<b>-7.5</b>	<b>-8.5</b>	<b>-2.7</b>	<b>3.5</b>	<b>-3.5</b>	<b>11.5</b>	<b>0.8</b>	<b>12.1</b>	<b>8.8</b>	<b>18.0</b>	<b>9.9</b>	<b>10.4</b>	<b>13.4</b>	<b>-4.8</b>	<b>7.7</b>	<b>-15.2</b>	<b>-4.8</b>
	資金繰り	-17.1	-22.2	-48.4	-20.0	-41.2	-42.5	-44.2	-38.3	-45.5	-41.2	-39.4	-51.6	-35.5	-39.4	-20.0	-32.2		-13.3
	修正値	<b>-17.3</b>	<b>-21.9</b>	<b>-46.7</b>	<b>-19.7</b>	<b>-38.7</b>	<b>-40.1</b>	<b>-43.3</b>	<b>-36.8</b>	<b>-46.2</b>	<b>-40.5</b>	<b>-36.0</b>	<b>-51.0</b>	<b>-33.6</b>	<b>-35.3</b>	<b>-21.6</b>	<b>-31.8</b>	<b>12.0</b>	<b>-17.0</b>
前 年 同 期 比	売上額	-11.4		-63.6		-55.8		-61.7		-66.6		-33.3		-35.5		-6.7			
	収益	-20.0		-60.5		-61.8		-58.8		-66.6		-36.4		-38.7		-10.0			
	販売価格	-8.6		-27.3		-20.6		-2.9		-9.1		-6.1		0.0		-3.4			
雇 用	残業時間	0.0	-5.6	-12.2	2.9	-8.9	-15.2	-14.7	-8.9	-24.2	-20.6	-12.1	-18.1	-12.9	-18.2	0.0	-9.7		0.0
	人手	-11.7	-13.9	-9.4	-20.6	-9.1	-3.1	-14.7	-12.2	-6.1	-20.6	-12.1	-6.0	-12.9	-3.1	-13.4	-16.1		-13.4
	借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	11.4	8.3	18.2	2.9	20.6	18.2	17.6	8.8	12.1	5.9	15.2	9.1	6.5	3.0	10.0	0.0	
借入しない/借入の予定なし(%)	88.6	91.7	81.8	97.1	79.4	81.8	82.4	91.2	87.9	94.1	84.8	90.9	93.5	97.0	90.0	100.0		100.0	
借入難易度	<b>0.0</b>		<b>10.3</b>		<b>7.4</b>		<b>7.4</b>		<b>-8.0</b>		<b>-3.9</b>		<b>-12.5</b>		<b>4.1</b>				
有効回答事業所数		35		33		34		34		33		33		31		30			

項目	調査期	令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対前期比	令和4年 1月～3月期
		1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	-2.9	-5.6	-15.2	-5.9	-5.9	-12.5	-2.9	-5.9	-9.1	-2.9	-9.4	-6.1	-9.7	-9.4	-6.7	-9.7		-6.9
	実施した・予定あり	9.1	2.9	3.0	12.1	5.9	3.0	2.9	5.9	6.3	5.9	6.1	3.2	6.5	3.1	3.3	6.7		0.0
	事業用土地・建物	33.3	-	-	25.0	50.0	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	100.0	50.0		-
	事務機器	33.3	100.0	100.0	50.0	-	-	100.0	-	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	-	50.0		-
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-		-
	その他	33.3	-	-	25.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	90.9	97.1	97.0	87.9	94.1	97.0	97.1	94.1	93.7	94.1	93.9	96.8	93.5	96.9	96.7	93.3		100.0
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	45.7		63.6		64.7		70.6		69.7		54.5		58.1		50.0			
	人手不足	20.0		9.1		14.7		11.8		9.1		18.2		22.6		23.3			
	同業者間の競争の激化	14.3		30.3		26.5		20.6		24.2		36.4		29.0		23.3			
	大型店との競争の激化	34.3		33.3		23.5		26.5		33.3		24.2		16.1		20.0			
	輸入製品との競争の激化	2.9		3.0		2.9		2.9		3.0		3.0		3.2		-			
	利幅の縮小	20.0		18.2		17.6		8.8		15.2		3.0		6.5		10.0			
	取扱商品の陳腐化	-		-		-		5.9		3.0		3.0		3.2		3.3			
	販売商品の不足	-		-		2.9		-		-		-		-		-			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-			
	仕入先からの値上げ要請	14.3		9.1		8.8		5.9		6.1		3.0		6.5		16.7			
	人件費の増加	5.7		3.0		2.9		5.9		6.1		6.1		9.7		10.0			
	人件費以外の経費の増加	-		-		-		-		-		-		-		-			
	取引先の減少	5.7		3.0		-		8.8		9.1		6.1		12.9		3.3			
	商圏人口の減少	-		3.0		-		2.9		6.1		-		3.2		16.7			
	商店街の集客力の低下	28.6		12.1		17.6		14.7		18.2		21.2		19.4		33.3			
	店舗の狭小・老朽化	11.4		6.1		5.9		5.9		-		9.1		19.4		3.3			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		-		5.9		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	2.9		3.0		8.8		2.9		9.1		3.0		6.5		3.3			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		3.3			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		3.0		-		3.3			
	その他	-		12.1		8.8		2.9		9.1		12.1		6.5		6.7			
問題なし	2.9		6.1		-		-		-		-		-		3.3				
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	37.1		42.4		41.2		35.3		33.3		33.3		19.4		10.0			
	経費を削減する	31.4		36.4		44.1		50.0		39.4		33.3		38.7		36.7			
	宣伝・広告を強化する	14.3		18.2		20.6		29.4		39.4		33.3		32.3		33.3			
	新しい事業を始める	2.9		-		-		2.9		-		-		3.2		-			
	店舗・設備を改装する	8.6		12.1		11.8		8.8		9.1		6.1		9.7		6.7			
	仕入先を開拓・選別する	11.4		3.0		2.9		5.9		6.1		3.0		3.2		6.7			
	営業時間を延長する	2.9		-		-		-		3.0		-		3.2		6.7			
	売れ筋商品を取り扱う	22.9		21.2		17.6		11.8		21.2		12.1		12.9		3.3			
	商店街事業を活性化させる	22.9		18.2		14.7		14.7		9.1		12.1		16.1		33.3			
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		3.0		6.5		6.7			
	人材を確保する	14.3		9.1		8.8		11.8		15.2		15.2		22.6		23.3			
	パート化を図る	8.6		3.0		5.9		-		-		3.0		-		-			
	教育訓練を強化する	-		-		2.9		8.8		3.0		-		-		3.3			
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	2.9		-		5.9		-		3.0		3.0		3.2		3.3			
	その他	-		-		-		-		3.0		3.0		-		-			
	特になし	5.7		12.1		2.9		2.9		3.0		9.1		6.5		16.7			
有効回答事業所数	35		33		34		34		33		33		31		30				

サービス業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年10月～12月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月～3月期
	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期						
業 況	良	21.2	14.3	3.1	12.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	6.3	12.9	3.1	6.5	9.7		6.5	
	普	54.6	68.6	40.6	63.7	40.6	48.4	43.8	46.9	59.4	46.9	49.9	56.2	48.4	59.4	48.3	54.8		61.2	
	悪	24.2	17.1	56.3	24.2	56.3	48.4	53.1	50.0	37.5	50.0	43.8	37.5	38.7	37.5	45.2	35.5		32.3	
	D・I	-3.0	-2.8	-53.2	-12.1	-53.2	-45.2	-50.0	-46.9	-34.4	-46.9	-37.5	-31.2	-25.8	-34.4	-38.7	-25.8		-25.8	
	修正値	-2.1	-0.2	-49.9	-10.2	-51.8	-42.4	-49.4	-46.7	-36.3	-45.2	-34.5	-30.9	-25.1	-32.2	-37.8	-26.2	-12.7	-24.2	
	傾向値	-0.4		-7.8		-21.4		-34.0		-43.8		-45.7		-40.4		-35.5				
売 上 額	増	18.2	17.1	3.1	12.1	6.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	6.3	12.9	3.1	12.9	12.9		16.7	
	変	57.6	62.9	37.5	63.7	31.3	50.0	40.6	50.0	53.1	53.1	49.9	59.3	54.8	71.9	51.6	61.3		56.6	
	減	24.2	20.0	59.4	24.2	62.4	46.9	56.3	46.9	43.8	43.8	43.8	34.4	32.3	25.0	35.5	25.8		26.7	
	D・I	-6.0	-2.9	-56.3	-12.1	-56.1	-43.8	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7	-37.5	-28.1	-19.4	-21.9	-22.6	-12.9		-10.0	
	修正値	-2.7	0.2	-53.8	-9.7	-55.0	-42.4	-51.6	-42.4	-39.1	-38.5	-34.8	-26.3	-20.9	-20.9	-22.8	-13.5	-1.9	-9.5	
	傾向値	1.9		-7.3		-23.4		-37.0		-47.2		-49.2		-42.3		-33.9				
収 益	増	12.1	11.4	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	3.1	12.9	3.1	6.5	9.7		10.0	
	変	63.7	65.7	40.6	75.8	37.5	46.9	40.6	50.0	53.1	53.1	49.9	59.4	51.6	71.9	58.0	64.5		63.3	
	減	24.2	22.9	56.3	21.2	59.4	50.0	56.3	46.9	43.8	43.8	43.8	37.5	35.5	25.0	35.5	25.8		26.7	
	D・I	-12.1	-11.5	-53.2	-18.2	-56.3	-46.9	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7	-37.5	-34.4	-22.6	-21.9	-29.0	-16.1		-16.7	
	修正値	-10.1	-8.8	-51.8	-16.0	-53.1	-45.9	-52.1	-41.6	-39.4	-38.5	-36.2	-32.2	-20.2	-22.1	-29.5	-15.7	-9.3	-15.2	
	傾向値	-5.7		-13.2		-25.8		-37.8		-47.3		-48.9		-42.7		-35.5				
価 格 動 向	料	6.1	5.7	-9.3	3.0	-6.2	-6.2	-9.4	-6.2	-9.4	-3.2	0.0	-9.4	0.0	3.1	0.0	0.0		-3.4	
	"	7.0	3.9	-9.4	5.9	-4.0	-6.9	-9.9	-5.4	-8.9	-5.1	-2.0	-6.9	0.3	0.1	-0.4	-0.7	-0.7	-4.5	
	"	3.6		2.8		-0.2		-3.2		-6.6		-7.4		-5.5		-3.5				
	材	12.1	11.4	-3.1	9.1	15.6	0.0	6.3	15.6	3.1	6.3	6.3	3.1	3.3	6.3	12.9	3.3		16.7	
	"	17.8	12.3	-3.2	10.9	13.2	1.3	6.3	13.0	4.8	6.8	7.3	3.9	1.9	9.4	12.3	1.0	10.4	14.5	
	"	14.6		12.0		9.1		8.4		6.6		6.7		6.3		5.6				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資	-6.1	-2.9	-43.8	-9.1	-31.3	-34.4	-21.8	-21.9	-18.8	-9.3	-9.4	-21.9	-9.6	-6.2	-19.4	-6.4		-10.0	
	"	-2.2	-3.6	-43.5	-6.3	-29.4	-34.1	-23.9	-20.8	-18.1	-12.2	-10.5	-19.4	-8.1	-7.6	-20.5	-6.2	-12.4	-12.4	
前 年 同 期 比	売	-3.0		-59.4		-62.5		-56.3		-53.2		-40.6		-22.6		-25.8				
	収	-15.1		-59.4		-62.5		-56.3		-53.2		-40.6		-22.6		-29.0				
雇 用	残	-3.2	0.0	-25.0	0.0	-15.7	-26.7	0.0	-12.5	-18.8	-3.1	-9.4	-15.6	-6.4	-6.3	-9.7	-3.2		-6.5	
	人	-25.0	-26.5	-9.3	-24.2	-3.2	-10.0	-6.2	-3.2	6.2	-3.1	0.0	6.2	-12.9	0.0	-12.9	-12.9		-12.9	
借 入 金	借	12.1	14.7	25.0	18.2	28.1	16.1	25.0	15.6	21.9	12.5	12.5	15.6	16.1	6.3	9.7	3.2		9.7	
	借	87.9	85.3	75.0	81.8	71.9	83.9	75.0	84.4	78.1	87.5	87.5	84.4	83.9	93.7	90.3	96.8		90.3	
	借	17.3		23.1		40.0		32.0		23.1		15.4		8.0		8.3				
有効回答事業所数		33		32		32		32		32		32		31		31				

サービス業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年10月～12月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月～3月期	
	1月～3月期	4月～6月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	11月～12月期	12月～1月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	2.9	0.0	0.0	6.3	0.0	3.1	6.3	6.5	3.1	3.1	6.5	0.0	3.1	-6.5	0.0			-6.5	
	実施した・予定あり	15.2	11.8	12.5	9.4	3.1	13.3	0.0	6.5	3.1	0.0	15.6	3.2	12.9	18.8	13.3	12.9			16.7	
	事業用土地・建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-			-
	機械・設備の新・増設	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	20.0	100.0	50.0	16.7	-	50.0	-			-
	機械・設備の更改	40.0	50.0	25.0	66.7	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0			20.0	
	事務機器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			20.0
	車両	60.0	50.0	75.0	33.3	100.0	75.0	-	100.0	-	-	80.0	-	25.0	83.3	50.0	25.0			60.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
	実施しない・予定なし	84.8	88.2	87.5	90.6	96.9	86.7	100.0	93.5	96.9	100.0	84.4	96.8	87.1	81.2	86.7	87.1			83.3	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	30.3		53.1		53.1		53.1		56.3		62.5		61.3		51.6				
人手不足		30.3		15.6		12.5		18.8		12.5		6.3		19.4		16.1					
同業者間の競争の激化		36.4		31.3		34.4		31.3		46.9		40.6		29.0		29.0					
大企業との競争の激化		12.1		6.3		9.4		6.3		9.4		-		3.2		-					
合理化の不足		-		-		3.1		3.1		-		-		3.2		-					
利幅の縮小		21.2		21.9		9.4		6.3		15.6		12.5		12.9		12.9					
取扱事務の陳腐化		3.0		-		-		-		-		-		-		-					
材料価格の上昇		6.1		6.3		6.3		6.3		6.3		9.4		6.5		9.7					
料金の値下げ要請		6.1		-		3.1		3.1		-		-		6.5		3.2					
人件費の増加		12.1		9.4		12.5		9.4		6.3		9.4		6.5		12.9					
人件費以外の経費の増加		-		-		-		-		3.1		3.1		-		3.2					
技術力の不足		3.0		-		-		-		-		-		-		-					
取引先の減少		-		-		-		3.1		3.1		9.4		6.5		6.5					
商圏人口の減少		-		-		-		-		3.1		-		3.2		6.5					
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-					
駐車場の確保難		-		-		-		-		3.1		-		-		-					
店舗・設備の狭小・老朽化		6.1		-		-		-		-		-		-		-					
代金回収の悪化		3.0		3.1		3.1		3.1		-		-		-		-					
天候の不順		-		6.3		6.3		3.1		-		-		-		-					
地場産業の衰退		3.0		-		-		-		-		-		-		-					
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-		3.2			
その他		-		12.5		3.1		15.6		9.4		15.6		16.1		9.7					
問題なし		9.1		9.4		9.4		9.4		9.4		9.4		9.7		19.4					
重点経営施策(%)	販路を広げる	36.4		34.4		46.9		53.1		46.9		50.0		48.4		51.6					
	経費を節減する	45.5		50.0		53.1		53.1		53.1		56.3		48.4		51.6					
	宣伝・広告を強化する	18.2		18.8		21.9		18.8		25.0		31.3		25.8		22.6					
	新しい事業を始める	3.0		3.1		3.1		6.3		6.3		6.3		3.2		3.2					
	店舗・設備を改装する	6.1		-		-		-		-		-		-		-					
	提携先を見つける	9.1		6.3		6.3		3.1		6.3		-		6.5		-					
	技術力を強化する	15.2		15.6		9.4		6.3		6.3		18.8		16.1		12.9					
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-					
	人材を確保する	24.2		21.9		15.6		18.8		18.8		12.5		12.9		12.9					
	パート化を図る	3.0		-		-		-		-		-		3.2		6.5					
	教育訓練を強化する	12.1		6.3		6.3		3.1		6.3		3.1		-		6.5					
	労働条件を改善する	3.0		3.1		3.1		-		-		-		-		-					
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-					
	その他	-		3.1		-		-		-		-		-		-					
特になし	12.1		18.8		18.8		3.1		6.3		6.3		9.7		16.1						
有効回答事業所数	33		32		32		32		32		32		31		31						

建設業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年10月～12月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月～3月期
	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期																
業 況	良	30.8	24.0	4.0	16.7	3.7	-	3.7	3.7	4.0	7.4	19.2	4.2	11.5	3.8	19.2	7.7		15.4	
	普	61.5	64.0	36.0	75.0	66.7	50.0	63.0	63.0	48.0	48.2	53.9	45.8	65.4	53.9	61.6	65.4		65.4	
	悪	7.7	12.0	60.0	8.3	29.6	50.0	33.3	33.3	48.0	44.4	26.9	50.0	23.1	42.3	19.2	26.9		19.2	
	D・I	23.1	12.0	-56.0	8.4	-25.9	-50.0	-29.6	-29.6	-44.0	-37.0	-7.7	-45.8	-11.6	-38.5	0.0	-19.2		-3.8	
	修正値	19.7	13.4	-51.6	4.0	-20.4	-45.1	-30.4	-24.9	-44.2	-34.1	-2.3	-47.3	-7.9	-32.9	-4.6	-19.3	3.3	-4.8	
	傾向値	21.2		13.6		-2.0		-15.0		-30.5		-32.8		-25.0		-19.5				
売 上 額	増	34.6	26.9	-	19.2	3.7	4.0	14.8	14.8	3.7	3.7	19.2	22.2	15.4	19.2	23.1	7.7		15.4	
	変	57.7	61.6	32.0	65.4	63.0	48.0	51.9	59.3	55.6	51.9	50.0	37.0	50.0	46.2	42.3	61.5		61.5	
	減	7.7	11.5	68.0	15.4	33.3	48.0	33.3	25.9	40.7	44.4	30.8	40.8	34.6	34.6	34.6	30.8		23.1	
	D・I	26.9	15.4	-68.0	3.8	-29.6	-44.0	-18.5	-11.1	-37.0	-40.7	-11.6	-18.6	-19.2	-15.4	-11.5	-23.1		-7.7	
	修正値	18.7	12.3	-63.8	2.9	-25.5	-37.3	-18.3	-9.7	-40.1	-39.8	-0.8	-20.4	-14.9	-8.7	-13.4	-24.1	1.5	-4.4	
	傾向値	18.4		8.8		-6.8		-17.1		-30.3		-31.2		-22.9		-20.7				
受 注 残	増	26.9	19.2	-	11.5	7.4	8.0	18.5	11.1	7.4	3.7	19.2	22.2	11.5	15.4	26.9	7.7		19.2	
	変	65.4	73.1	36.0	73.1	55.6	48.0	48.2	55.6	51.9	51.9	57.7	40.8	53.9	50.0	38.5	61.5		57.7	
	減	7.7	7.7	64.0	15.4	37.0	44.0	33.3	33.3	40.7	44.4	23.1	37.0	34.6	34.6	34.6	30.8		23.1	
	D・I	19.2	11.5	-64.0	-3.9	-29.6	-36.0	-14.8	-22.2	-33.3	-40.7	-3.9	-14.8	-23.1	-19.2	-7.7	-23.1		-3.9	
	修正値	14.3	9.4	-60.3	-2.4	-25.7	-30.2	-15.5	-19.9	-35.1	-39.2	1.8	-15.8	-18.4	-15.5	-10.6	-22.4	7.8	-2.1	
	傾向値	22.3		10.7		-6.8		-17.6		-28.9		-27.9		-19.6		-17.9				
施 工 高	増	30.8	15.4	4.0	15.4	7.4	-	18.5	18.5	7.4	7.4	19.2	18.5	7.7	15.4	26.9	7.7		23.1	
	変	61.5	76.9	40.0	69.2	59.3	60.0	55.6	55.6	55.6	59.3	57.7	51.9	61.5	53.8	50.0	69.2		65.4	
	減	7.7	7.7	56.0	15.4	33.3	40.0	25.9	25.9	37.0	33.3	23.1	29.6	30.8	30.8	23.1	23.1		11.5	
	D・I	23.1	7.7	-52.0	0.0	-25.9	-40.0	-7.4	-7.4	-29.6	-25.9	-3.9	-11.1	-23.1	-15.4	3.8	-15.4		11.6	
	修正値	16.2	4.1	-45.9	0.0	-22.5	-33.4	-9.7	-6.2	-32.4	-26.6	6.2	-13.4	-18.3	-8.0	-2.4	-17.2	15.9	9.3	
	傾向値	15.4		8.8		-3.3		-11.7		-22.1		-22.7		-16.4		-14.6				
収 益	増	15.4	19.2	-	11.5	3.7	4.0	18.5	14.8	11.1	3.7	19.2	14.8	7.7	11.5	23.1	7.7		15.4	
	変	73.1	65.4	44.0	69.3	59.3	56.0	48.2	55.6	51.9	55.6	53.9	51.9	65.4	57.7	53.8	69.2		65.4	
	減	11.5	15.4	56.0	19.2	37.0	40.0	33.3	29.6	37.0	40.7	26.9	33.3	26.9	30.8	23.1	23.1		19.2	
	D・I	3.9	3.8	-56.0	-7.7	-33.3	-36.0	-14.8	-14.8	-25.9	-37.0	-7.7	-18.5	-19.2	-19.3	0.0	-15.4		-3.8	
	修正値	3.5	2.4	-52.0	-5.1	-29.3	-30.1	-17.7	-17.6	-25.9	-35.5	-2.5	-16.8	-14.2	-14.0	-7.3	-19.4	6.9	-3.2	
	傾向値	12.7		3.2		-11.0		-20.3		-28.8		-26.5		-18.7		-15.1				
価 格 動 向	請	15.4	-3.9	-28.0	11.5	-18.5	-20.0	-7.4	-3.7	-11.1	-11.1	0.0	-18.5	-7.7	-7.7	7.7	-7.7		-3.9	
	修正値	16.8	-2.8	-26.2	12.1	-19.2	-19.4	-5.4	-5.0	-11.5	-8.4	-0.4	-17.3	-8.0	-7.8	8.1	-10.6	16.1	-0.1	
	傾向値	8.2		5.6		-3.1		-8.2		-12.9		-12.8		-7.9		-4.7				
	材	42.3	42.3	0.0	27.0	7.4	0.0	22.2	7.4	7.4	14.8	-3.8	7.4	23.1	-7.7	50.0	15.4		38.5	
	修正値	38.8	43.7	4.7	25.5	12.6	2.5	22.6	13.3	3.5	14.7	0.3	3.2	26.6	-4.4	44.0	19.0	17.4	34.5	
	傾向値	40.1		35.9		27.7		21.0		13.6		8.8		10.3		15.7				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在	-7.7	-3.9	-20.0	-7.7	-11.1	-12.0	-3.7	-11.1	-3.7	3.7	-3.9	-3.7	-7.7	-3.9	-3.9	-3.8		-7.7	
	修正値	-5.1	-3.5	-19.0	-8.1	-9.7	-9.0	-4.1	-11.6	-2.4	2.4	-2.9	-3.8	-6.1	0.4	-6.1	-3.5	0.0	-9.7	
	資	3.9	-3.9	-28.0	-3.9	-11.1	-16.0	-7.4	-11.1	0.0	0.0	7.7	-3.7	0.0	3.8	-7.7	3.9		0.0	
	修正値	2.9	-7.1	-25.5	-4.7	-7.7	-15.2	-10.0	-7.8	-5.0	-4.9	8.5	-6.6	1.5	2.2	-7.7	5.4	-9.2	-1.2	
前 年 同 期 比	売	15.4		-64.0		-29.6		-25.9		-33.4		-11.6		-11.5		-11.6				
	収	0.0		-56.0		-29.6		-14.8		-22.3		-15.4		-19.3		-11.5				
雇 用	残	3.8	0.0	-36.0	4.2	-14.8	-20.8	3.7	-4.0	0.0	3.7	0.0	0.0	-7.7	7.7	-3.9	-3.9		0.0	
	人	-38.5	-28.0	-20.0	-47.8	-18.5	-25.0	-18.5	-28.0	-11.1	-18.5	-7.7	-14.8	-15.4	-19.3	-20.0	-15.4		-28.0	
借 入 金	借	38.5	30.8	32.0	24.0	48.1	45.8	46.2	26.9	25.9	23.1	23.1	7.4	23.1	8.0	15.4	15.4		11.5	
	借	61.5	69.2	68.0	76.0	51.9	54.2	53.8	73.1	74.1	76.9	76.9	92.6	76.9	92.0	84.6	84.6		88.5	
	借	20.0		8.4		11.5		19.2		7.7		12.0		4.0		0.0				
有効回答事業所数	26		26		27		27		27		27		26		26					

建設業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年10月～12月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		対前期比	令和4年 1月～3月期
		1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	-4.2	0.0	-8.0	-4.3	-7.4	-8.0	-3.8	-7.4	0.0	-3.8	0.0	0.0	-4.0	0.0	-4.0	-4.0		-4.0
	実施した・予定あり	21.7	20.8	20.0	30.4	22.2	16.0	18.5	18.5	18.5	18.5	19.2	14.8	19.2	15.4	24.0	19.2		20.0
	事業用土地・建物	40.0	20.0	-	28.6	16.7	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	16.7	20.0		20.0
	機械・設備の新・増設	60.0	20.0	20.0	42.9	16.7	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	16.7	20.0		20.0
	機械・設備の更改	20.0	40.0	40.0	14.3	50.0	50.0	60.0	40.0	20.0	40.0	40.0	25.0	60.0	50.0	33.3	60.0		20.0
	事務機器	20.0	40.0	60.0	42.9	16.7	25.0	20.0	40.0	-	40.0	20.0	25.0	60.0	50.0	33.3	20.0		20.0
	車両	20.0	40.0	20.0	42.9	50.0	50.0	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	50.0	20.0	25.0	50.0	20.0		60.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	78.3	79.2	80.0	69.6	77.8	84.0	81.5	81.5	81.5	81.5	80.8	85.2	80.8	84.6	76.0	80.8		80.0
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	23.1		34.6		37.0		40.7		44.4		37.0		42.3		30.8		
人手不足		50.0		34.6		29.6		25.9		29.6		18.5		19.2		34.6			
大手企業との競争の激化		11.5		11.5		11.1		11.1		14.8		18.5		7.7		15.4			
同業者間の競争の激化		23.1		26.9		33.3		37.0		44.4		33.3		26.9		23.1			
親企業による選別の強化		-		-		-		-		-		3.7		-		-			
合理化の不足		-		7.7		3.7		3.7		3.7		7.4		7.7		3.8			
利幅の縮小		7.7		15.4		18.5		14.8		14.8		14.8		23.1		15.4			
材料価格の上昇		30.8		19.2		22.2		22.2		18.5		25.9		30.8		50.0			
下請の確保難		23.1		19.2		7.4		7.4		11.1		11.1		3.8		3.8			
駐車場・資材置場の確保難		3.8		-		-		-		-		-		-		-			
人件費の増加		15.4		23.1		25.9		29.6		22.2		18.5		11.5		3.8			
人件費以外の経費の増加		-		-		3.7		-		-		-		3.8		3.8			
技術力の不足		-		-		-		7.4		-		7.4		-		3.8			
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-			
天候の不順		7.7		3.8		3.7		-		3.7		3.7		7.7		-			
地場産業の衰退		3.8		-		-		7.4		-		-		-		-			
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-			
その他	-		11.5		7.4		3.7		-		3.7		-		-				
問題なし	11.5		7.7		7.4		7.4		14.8		14.8		19.2		11.5				
重点経営施策(%)	販路を広げる	38.5		38.5		37.0		29.6		37.0		33.3		38.5		30.8			
	経費を節減する	53.8		42.3		44.4		51.9		51.9		55.6		46.2		50.0			
	情報力を強化する	11.5		7.7		14.8		14.8		18.5		22.2		26.9		23.1			
	新しい工法を導入する	7.7		11.5		14.8		18.5		22.2		7.4		3.8		7.7			
	新しい事業を始める	-		3.8		-		-		-		-		-		-			
	技術力を高める	26.9		19.2		25.9		33.3		25.9		18.5		26.9		38.5			
	人材を確保する	46.2		38.5		40.7		40.7		37.0		33.3		34.6		34.6			
	パート化を図る	-		-		-		3.7		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	3.8		15.4		11.1		14.8		14.8		11.1		15.4		3.8			
	労働条件を改善する	15.4		11.5		3.7		14.8		7.4		7.4		7.7		3.8			
	不動産の有効活用を図る	7.7		-		3.7		3.7		7.4		3.7		3.8		3.8			
	その他	-		3.8		-		-		-		-		-		-			
特になし	7.7		7.7		7.4		3.7		7.4		11.1		11.5		15.4				
有効回答事業所数	26		26		27		27		27		27		26		26				

不動産業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年10月~12月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和4年 1月~3月期	
	1月~3月期	4月~6月期	4月~6月期	7月~9月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期					
業 況	良 い	22.2	5.9	5.6	-	5.9	-	5.6	5.9	11.1	-	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6		5.6
	普 通	72.2	82.3	38.9	94.4	70.6	41.2	66.6	70.6	72.2	77.8	77.7	72.2	66.6	83.3	72.2	72.2		66.6
	悪 い	5.6	11.8	55.5	5.6	23.5	58.8	27.8	23.5	16.7	22.2	16.7	22.2	27.8	11.1	22.2	22.2		27.8
	D・I	16.6	-5.9	-49.9	-5.6	-17.6	-58.8	-22.2	-17.6	-5.6	-22.2	-11.1	-16.6	-22.2	-5.5	-16.6	-16.6		-22.2
	修正値	<b>7.6</b>	<b>-7.1</b>	<b>-43.1</b>	<b>-7.4</b>	<b>-15.8</b>	<b>-54.8</b>	<b>-21.2</b>	<b>-14.6</b>	<b>-14.0</b>	<b>-23.4</b>	<b>1.8</b>	<b>-19.9</b>	<b>-20.4</b>	<b>0.3</b>	<b>-14.1</b>	<b>-12.9</b>	<b>6.3</b>	<b>-19.0</b>
	傾向値	10.8		3.5		-7.1		-14.8		-21.1		-19.0		-14.7		-14.6			
売 上 額	増 加	22.2	16.7	16.7	5.6	11.8	11.1	5.9	-	11.1	11.1	-	5.6	5.6	5.6	11.1	16.7		11.1
	変 ら ず	66.7	61.1	22.2	88.8	58.8	33.3	58.8	70.6	61.1	66.7	61.1	61.1	50.0	66.6	50.0	66.6		61.1
	減 少	11.1	22.2	61.1	5.6	29.4	55.6	35.3	29.4	27.8	22.2	38.9	33.3	44.4	27.8	38.9	16.7		27.8
	D・I	11.1	-5.5	-44.4	0.0	-17.6	-44.5	-29.4	-29.4	-16.7	-11.1	-38.9	-27.7	-38.8	-22.2	-27.8	0.0		-16.7
	修正値	<b>4.5</b>	<b>-6.7</b>	<b>-36.0</b>	<b>-2.3</b>	<b>-16.1</b>	<b>-36.6</b>	<b>-28.7</b>	<b>-26.6</b>	<b>-21.9</b>	<b>-13.4</b>	<b>-28.1</b>	<b>-30.6</b>	<b>-37.2</b>	<b>-13.1</b>	<b>-25.8</b>	<b>1.4</b>	<b>11.4</b>	<b>-15.7</b>
	傾向値	10.7		2.1		-9.1		-16.4		-23.6		-26.3		-28.3		-30.8			
収 益	増 加	22.2	16.7	11.1	11.1	5.9	11.1	5.6	-	-	11.1	-	5.6	11.1	5.6	11.1	11.1		16.7
	変 ら ず	66.7	61.1	38.9	83.3	70.6	50.0	61.1	70.6	72.2	66.7	61.1	61.1	50.0	66.6	61.1	66.7		61.1
	減 少	11.1	22.2	50.0	5.6	23.5	38.9	33.3	29.4	27.8	22.2	38.9	33.3	38.9	27.8	27.8	22.2		22.2
	D・I	11.1	-5.5	-38.9	5.5	-17.6	-27.8	-27.7	-29.4	-27.8	-11.1	-38.9	-27.7	-27.8	-22.2	-16.7	-11.1		-5.5
	修正値	<b>5.2</b>	<b>-5.8</b>	<b>-31.0</b>	<b>1.5</b>	<b>-15.0</b>	<b>-19.7</b>	<b>-27.0</b>	<b>-26.6</b>	<b>-30.6</b>	<b>-12.1</b>	<b>-30.7</b>	<b>-31.5</b>	<b>-27.0</b>	<b>-16.0</b>	<b>-16.2</b>	<b>-7.7</b>	<b>10.8</b>	<b>-5.5</b>
	傾向値	7.9		0.0		-9.9		-15.5		-23.1		-28.0		-29.3		-29.2			
価 格 動 向	販売価格	11.1	5.6	-22.2	0.0	-18.8	-11.1	-11.1	-18.8	-11.1	-11.1	-5.5	-11.1	0.0	0.0	5.9	5.5		0.0
	修正値	<b>11.3</b>	<b>5.0</b>	<b>-17.8</b>	<b>4.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-8.8</b>	<b>-9.0</b>	<b>-18.1</b>	<b>-12.8</b>	<b>-11.4</b>	<b>-1.6</b>	<b>-9.7</b>	<b>-0.3</b>	<b>2.2</b>	<b>7.8</b>	<b>3.7</b>	<b>8.1</b>	<b>1.2</b>
	傾向値	5.7		2.1		-4.4		-8.9		-13.0		-13.7		-9.3		-4.8			
	仕入価格	16.7	0.0	-11.1	11.1	-12.5	-11.1	0.0	-12.5	0.0	0.0	16.6	0.0	5.6	11.1	17.6	-5.5		5.9
	修正値	<b>17.1</b>	<b>2.6</b>	<b>-8.9</b>	<b>12.2</b>	<b>-9.0</b>	<b>-7.5</b>	<b>1.4</b>	<b>-11.7</b>	<b>-1.0</b>	<b>0.5</b>	<b>16.7</b>	<b>0.2</b>	<b>9.7</b>	<b>14.5</b>	<b>19.4</b>	<b>-2.6</b>	<b>9.7</b>	<b>6.5</b>
	傾向値	13.5		8.3		1.2		-1.7		-3.8		-2.4		3.3		7.8			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-22.2	-16.6	-16.7	-22.2	-29.4	-16.7	-17.6	-29.4	-11.1	-23.5	-22.2	-11.1	-11.1	-22.2	5.5	-16.6		5.5
	修正値	<b>-20.0</b>	<b>-15.8</b>	<b>-17.6</b>	<b>-23.9</b>	<b>-26.5</b>	<b>-18.9</b>	<b>-17.3</b>	<b>-23.3</b>	<b>-10.8</b>	<b>-22.1</b>	<b>-21.3</b>	<b>-13.5</b>	<b>-8.9</b>	<b>-22.4</b>	<b>2.0</b>	<b>-11.1</b>	<b>10.9</b>	<b>3.7</b>
	資金繰り	0.0	-5.6	0.0	0.0	-5.9	-5.6	-5.6	0.0	11.1	-5.6	0.0	11.1	-5.5	0.0	-5.5	-5.5		-5.5
修正値	<b>-2.4</b>	<b>-6.0</b>	<b>-2.4</b>	<b>-2.6</b>	<b>-0.8</b>	<b>-5.5</b>	<b>-3.4</b>	<b>4.3</b>	<b>8.0</b>	<b>-4.6</b>	<b>-1.5</b>	<b>6.2</b>	<b>0.7</b>	<b>1.1</b>	<b>-1.6</b>	<b>0.2</b>	<b>-2.3</b>	<b>-2.1</b>	
前 年 同 期 比	売上額	5.5		-33.4		-29.4		-49.9		-44.4		-38.9		-50.0		-27.8			
	収益	-5.5		-27.8		-41.2		-44.4		-44.4		-38.9		-33.3		-27.8			
雇 用 人 手	残業時間	5.6	0.0	-33.3	0.0	0.0	-16.6	-11.1	0.0	-16.7	-11.1	-16.7	-11.1	-22.2	-16.7	-11.1	-16.7		-11.1
	人手	-27.7	-16.6	-17.6	-27.7	-17.6	-17.6	-11.1	-17.6	-22.2	-16.6	-16.7	-16.7	-16.6	-11.1	-11.1	-11.1		-16.7
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	38.9	33.3	27.8	27.8	47.1	33.3	38.9	17.6	22.2	16.7	33.3	22.2	23.5	27.8	38.9	22.2		22.2
	借入しない/借入の予定なし(%)	61.1	66.7	72.2	72.2	52.9	66.7	61.1	82.4	77.8	83.3	66.7	77.8	76.5	72.2	61.1	77.8		77.8
	借入難易度	<b>13.4</b>		<b>26.7</b>		<b>21.4</b>		<b>12.5</b>		<b>18.8</b>		<b>25.0</b>		<b>18.8</b>		<b>14.3</b>			
有効回答事業所数	18		18		18		18		18		18		18		18				



---

## 杉並区 中小企業の景況

令和3年度第3四半期（令和3年10月～12月）

令和4年2月 発行

登録印刷物番号
---------

03-0015 (4)
-------------

【発行】 杉並区 産業振興センター  
杉並区上荻 1-2-1 Daiwa 荻窪タワー2 階  
TEL：03（5347）9077

【調査機関】 一般社団法人 東京都信用金庫協会  
中央区京橋 3-8-1 信用金庫会館 京橋別館 12F  
TEL：03（6228）8556

【分析委託業者】 株式会社 サーベイリサーチセンター

---